

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	R u b y C i t y M A T S U E プロジェクト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	Ruby人材の育成とIT企業の集積を促進することで、市場競争力のある新たなソフトウェアや新技術、新商品の開発につなげ、IT産業の振興と雇用拡大を図るとともに、IT産業発の地域経済好循環を実現する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		市内企業Ruby売上高（百万円）	1,610	1,700	1,790	2,330
		市内Rubyエンジニア数（人）	350	385	419	419
	目標（何を達成するのか） ・Ruby人材の育成、裾野拡大 ・育成した人材の地元企業への就職拡大 ・地元IT産業の持続的なレベルアップ ・Ruby City MATSUEプロジェクト2.0の推進	IT従事者数（人）	1,200	1,225	1,250	1,250

事業概要	（数値目標の目標年度） 市内企業Ruby売上高：2029（R11）年度、市内Rubyエンジニア数：2023（R5）年度 IT従事者数：2023（R5）年度
	地域再生の活路を見出すため、本市に蓄積する知的財産や地域資源を活かした取組として本市発のプログラミング言語「Ruby」を核とした「Ruby City MATSUE プロジェクト」を展開し、「Rubyのまち」としての地域ブランド創生を目指す。 産・学・官で構成される団体を核とした地域資源プラットフォームを形成し、地域価値創造に取組み、「Ruby」を活用した地域ブランド戦略化を図るとともに、人材育成を行いながら、本市IT産業の振興に繋げていく。 また今後、地元IT企業の更なる成長、地元他業種企業と連携による相互成長、成長性評価の企業誘致、起業・新ビジネス創出、地元企業のDX化（デジタル技術による経営革新）を推進する施策を加えて推進する。

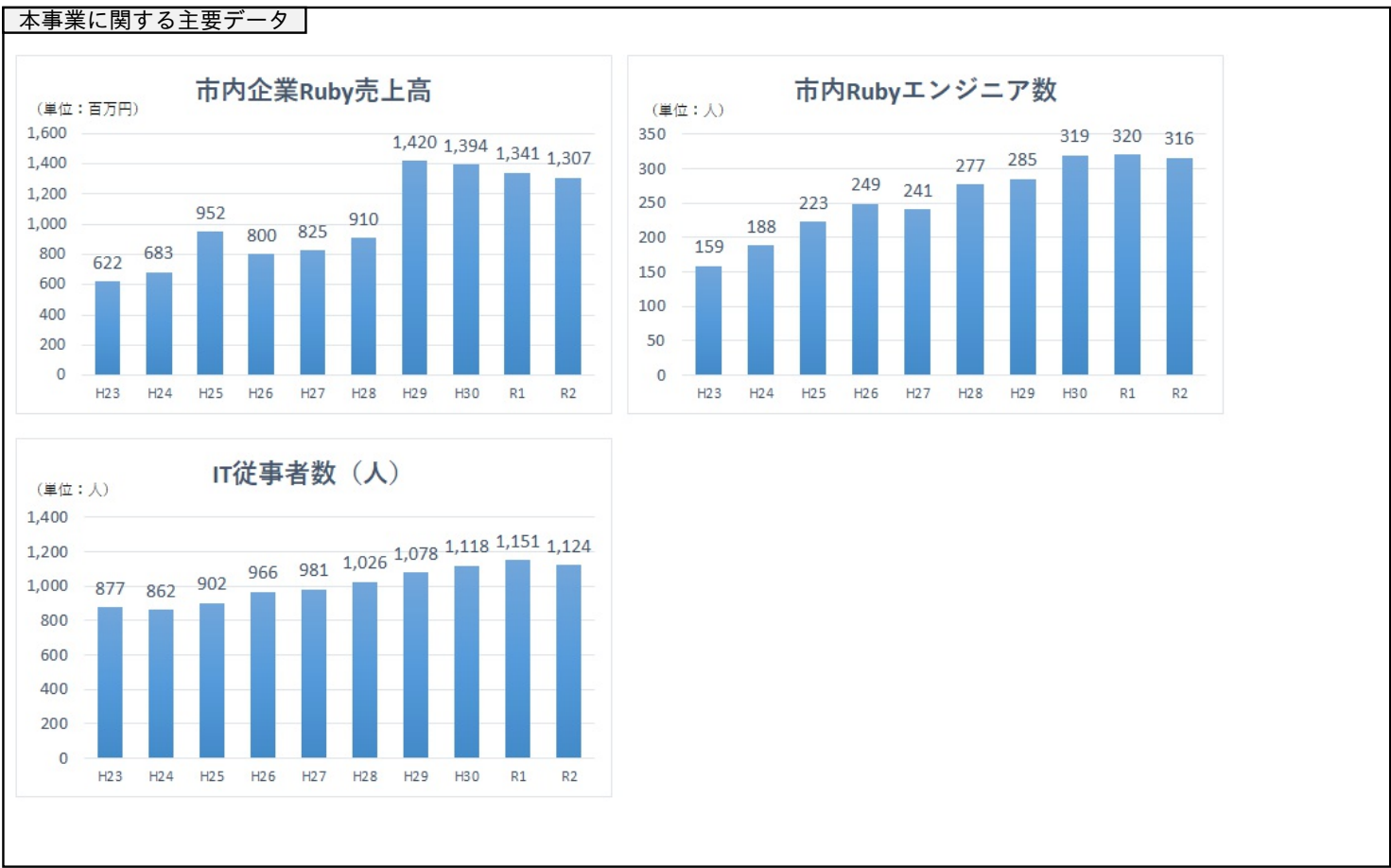
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	●情報発信(5,700千円) RubyWorldConference（オンライン）開催、RubyPrize（オンライン）開催 ●人材育成(4,849千円) Ruby人材育成補助金(島大・高専)、技術者認定資格取得助成、学生向けハッカソン開催、松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト開催 ●全市立中学校、一部の小学校でRuby授業実施	●情報発信(5,700千円) RubyWorldConference開催、RubyPrize開催 ●人材育成(4,718千円) Ruby人材育成補助金(島大・高専)、技術者認定資格取得助成、学生向けハッカソン開催、松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト開催 ●全市立中学校、小学校の一部でRuby授業実施 ●Ruby City MATSUEプロジェクト2.0計画を策定	●Ruby City MATSUEプロジェクト2.0計画に基づき施策を実施
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		10,549	18,143
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	10,549	18,143
歳入合計		10,549	18,143

課題	●15年にわたるプロジェクト実施により「Rubyのまち」としての評価は定着し、人材育成・企業誘致・雇用創出の好循環が生まれ、県外からの進出企業・ソフト系IT企業の従業者数、開発件数、売り上げは増加してきたものの、近年は微減に転じている。 ●IT技術者の人材不足は緩和傾向にあるとはいえ、依然として求める人材を十分に提供できていない。 ●コロナ禍により従来のコミュニティ活動やイベントの中止、オンライン化が続いており、コロナ禍にも対応したIT人材の交流方法が求められている。 ●IT企業と他産業との交流や連携が十分とは言えず、企業の成長や新ビジネス創出にまで至るケースが少ない。	方向性	●松江オープンソースラボを拠点としながら、コロナ禍に対応する新しいスタイルでの交流の場づくり、イベントやメディアを通じた情報の発信など「Rubyのまち」としてのシティプロモートを継続する。 ●人材の裾野を広げるため、教育機関と連携し、プログラミング教育の充実に向けた環境整備、地元IT企業との交流機会の増加など、人材の育成と地元定着を図る。 ●従来の取り組みに、IT産業の成長を地元他産業の成長や新ビジネスの創出に波及させる施策加えた次代のプロジェクトを展開する。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	Ruby City MATSUEプロジェクト事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	島根大学、松江高専での人材育成	12月	松江City Hack!!
	4～3月	小中学校でのRubyを活用した授業	2月	ビジネスプランコンテスト
	7月	次期プロジェクト2.0計画策定開始	2月	松江Kosen Hack!!
	11月	RubyWorldConference、RubyPrize		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	216		
旅費	45		
需用費	5		
使用料及び賃借料	95		
負担金補助及び交付金	10,057		
事業費計		10,418	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	アクションプラン推進事業費（新型コロナウイルス対策事業）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、国内外に強い競争力を持つ中小企業群を実現することを目的に、ものづくり産業の振興を図り、雇用の増加や地域経済の発展・成長につなげていく。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		新分野チャレンジ支援件数（件／年）		2		6
	目標（何を達成するのか）	設備導入支援件数（件／年）	9	25		30
	●新市場開拓・生産性向上 ●新ビジネス創出					
		IT等導入支援件数（件／年）		10		15

事業概要	（数値目標の目標年度） 新分野チャレンジ：2029（R11）年度、設備導入・IT等導入：2024（R6）年度 ※R4計画、目標値は「アクションプラン推進事業費」分も含む。R5計画は事業実施未定のため未記載。
	事業者が、新型コロナウイルス対策も含めて「第4期松江市ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づく「生産性向上・新市場開拓」「新ビジネス創出」等に取り組む場合に、「アクションプラン推進事業（新型コロナウイルス対策事業）」の支援対象とし、補助率や補助上限額を拡大して支援を行う。
	●本事業対象となる支援 【生産性向上・新市場開拓】設備導入、人材育成・確保、現場改善（感染症対策）、IT等導入、販路開拓（Web商談） 【新ビジネス創出】プロジェクト連携、新製品・新分野チャレンジ

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	【参考】※別の細々目で支援 ・「製造業緊急販路拡大等支援事業費（新型コロナウイルス対策事業費）」「製造業緊急現場改善支援事業費（新型コロナウイルス対策事業費）」について令和2年度繰越事業として支援を実施。 【支援実績】 66件、84,397千円 ・「ものづくりアクションプラン（新型コロナウイルス感染症特別対策版）」に基づき、コロナ禍に対応した「新市場開拓」「人材育成」等について支援。 【支援実績】 41件、50,245千円		●事業者が、新型コロナウイルス対策も含めて以下に取り組む場合、補助率や補助上限額を拡大して支援する。 (1)設備導入 (2)人材育成・確保 (3)現場改善（感染症対策） (4)IT等導入 (5)販路開拓（Web商談） (6)プロジェクト連携 (7)新製品・新分野チャレンジ 【実績見込み（計画）】 42件、62,000千円	
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費		62,000
	国・県支出金		62,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	0
歳入合計		0	62,000

課題	●引き続きコロナ禍の不透明な状況が続くとなると考えられており、今後取組んでいく「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」の支援策でも新規設備導入や展示会出展等について、市内製造業の経営者が慎重になっているとみられる。 ●当面感染拡大が続くリスクを前提とした経営手法が求められ、市内製造業毎の実情にあわせた支援が必要。	方向性	●「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」の取組目標「アフターコロナを見据えた『変化に強い企業づくり』」に基づき、市内製造業毎の実情にあわせた柔軟な支援を進めていく。 ●コロナ禍に対応した設備導入等については、補助率や補助上限額を拡大して支援を実施する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	ものづくりアクションプラン推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	各補助金随時募集		

本事業に関する主要データ			
■令和2年度 製造業緊急販路拡大等事業（緊急コロナ対策）			
№	事業名	R2実績	R3実績 （※R2繰越事業）
		件数	件数
1	緊急販路拡大支援	24	49
2	緊急現場改善支援	12	17
合 計		36	66
■令和3年度 製造業競争力強化事業（新型コロナウイルス特別対策）			
№	事業名	R3実績	
		件数	
1	新市場開拓支援	18	
2	現場改善支援	22	
3	人材育成支援	0	
4	プロジェクト連携支援	1	
合 計		41	

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	62,000		
事業費計		62,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	アクションプラン推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国内外に強い競争力を持つ中小企業群を実現することを目的に、ものづくり産業の振興を図り、雇用の増加や地域経済の発展・成長につなげていく。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		新分野チャレンジ支援件数（件／年）		2	4	6
	目標（何を達成するのか）	設備導入支援件数（件／年）	9	25	30	30
	●新市場開拓・生産性向上 ●新ビジネス創出 ●小規模事業者の事業継続	IT等導入支援件数（件／年）		10	15	15

事業概要	（数値目標の目標年度） 新分野チャレンジ：2029（R11）年度、設備導入・IT等導入：2024（R6）年度 ※R4計画数値は「アクションプラン推進事業費（新型コロナウイルス対策事業）」分も含む。
	ものづくり産業の振興を図るため、「第4期松江市ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づき、「アフターコロナを見据えた『変化に強い企業づくり』」を取組目標として、(1)生産性向上・新市場開拓、(2)新ビジネス創出、(3)小規模事業者事業継続などについて補助支援を行う。 ●第4期松江市ものづくりアクションプラン（2022～2024）の補助支援制度 （1）生産性向上・新市場開拓：設備導入、人材育成・確保、現場改善、IT等導入、販路開拓 （2）新ビジネス創出：プロジェクト連携、新製品・新分野チャレンジ （3）小規模事業者事業継続：小規模事業者支援

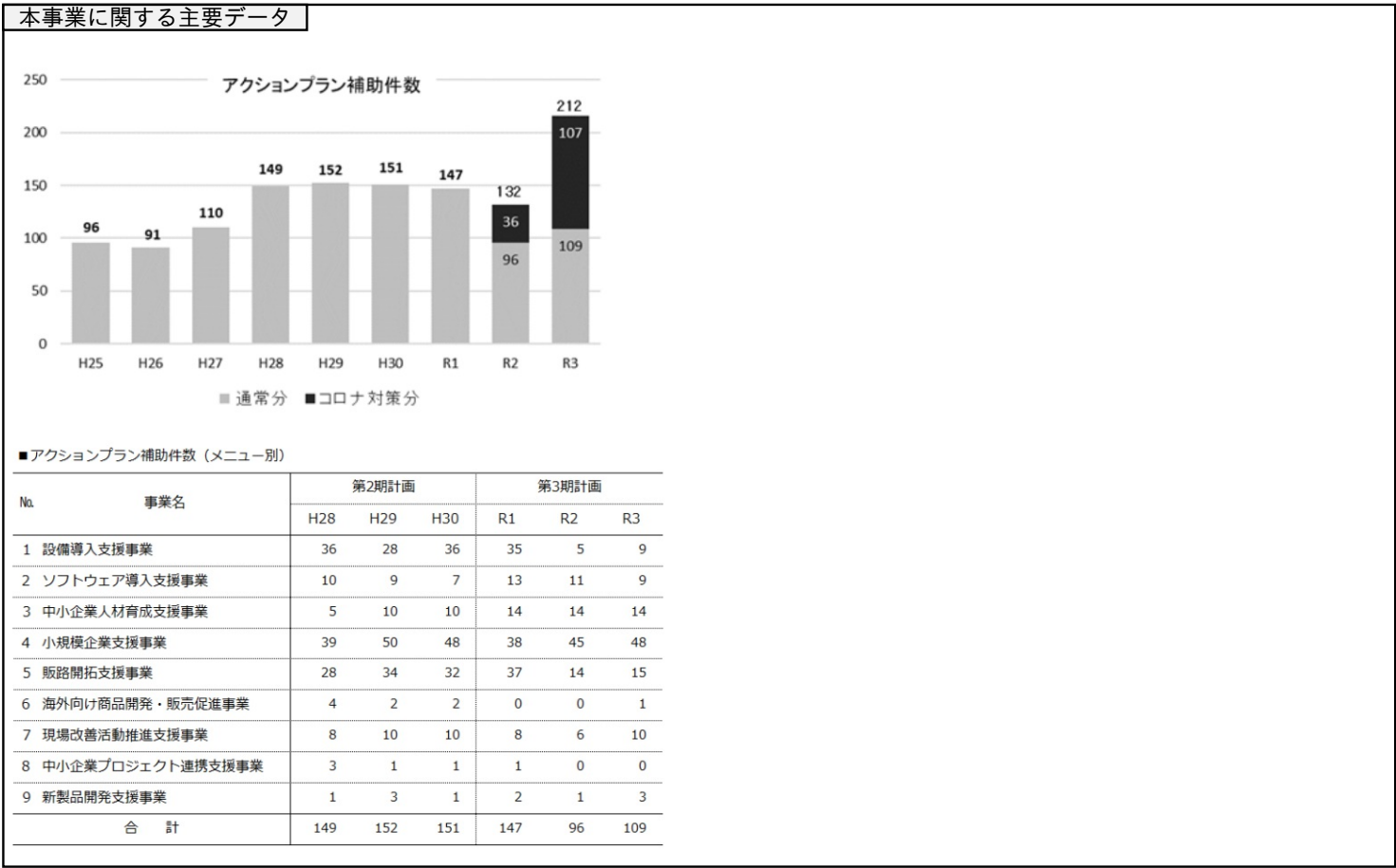
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	●「第3期ものづくりアクションプラン(2019～2021)」に基づき、『地域を支える生産性の高い企業づくり』を目標に、設備導入、ソフトウェア導入等を支援（3年目）。 【支援実績】 109件、35,194千円。 ※※参考※※ ・別の細々目で、新型コロナウイルス対策の支援を実施	●「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて『アフターコロナを見据えた変化に強い企業づくり』を目標に、以下の取り組みを支援。 （1）生産性向上・新市場開拓 （2）新ビジネス創出 （3）小規模事業者事業継続 【実績見込み（計画）】 100件、40,000千円 ●あわせて「ものづくり企業・IT企業連携」「IT活用アドバイザー派遣」「工場見学相総合相談」「外国人雇用相談」などに取り組み、IT化や人材確保などを支援	●「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて、引き続き支援策を実施する。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		35,202	40,229
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		30,000
	一般財源	35,202	10,229
歳入合計		35,202	40,229

課題	●引き続きコロナ禍の不透明な状況が継続すると考えられており、今年度より取り組む「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」の支援策でも新規設備導入や展示会出展等について、市内製造業の経営者が慎重になっているとみられる。 ●当面感染拡大が続くリスクを前提とした経営手法が求められ、市内製造業毎の実情にあわせた支援が必要。	方向性	●企業訪問をベースに「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づき、市内製造業毎の実情にあわせた柔軟な支援を進めていく。 ●本事業とは別にコロナ禍に対応した設備導入やWeb商談事業等については、「ものづくりアクションプラン（新型コロナウイルス対策事業）」により実施していく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	ものづくりアクションプラン推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	各補助金随時募集		
	10月・3月	ものづくり振興会議（2回）		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	213		
旅費	5		
使用料及び賃借料	11		
負担金補助及び交付金	40,000		
事業費計		40,229	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	M A T S U E 起業エコシステム推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	起業や新ビジネスの創出環境や魅力的な就業環境を整え、雇用や新産業を生み出し、地域経済の好循環、若い世代の定住やUIターンにつなげ、地方創生を実現する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		創業数（新設法人数）（社）	134	105	110	145
	目標（何を達成するのか）	創業相談支援件数（件）	720	770	870	1,470
	起業や新ビジネス創出を志す者の挑戦を、地域の産学官金がノウハウを提供しあいながら実現まで支援する環境「MATSUE起業エコシステム」を形成する。					
		起業等の事業化件数（件）		2	5	9

事業概要	（数値目標の目標年度） 創業数：2030（R12）年度、創業支援相談件数：2029（R11）年度、 起業等の事業化件数：2024（R6）年度
	(1)コンソーシアム設立・運営 エコシステム推進主体となる「（仮称）MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」を産学官金の関係機関で設立・運営
	(2)コミュニティ運営・起業等相談支援・支援機関教育 コンソーシアム内に設置する起業・新ビジネス創出の支援チーム「M I X（ミックス）」で実施
	(3)アントレプレナーシップ（起業家精神）教育 コンソーシアム内に設置する実行委員会で高校生・大学生を対象に実施 (4)プロモーション 「『挑戦したい』を応援する松江」として市内外に情報発信 ※エコシステム：起業や新ビジネスの連続的な創出と循環を、産学官金連携で支援する仕組み

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		1. コンソーシアム設立・運営 2. コミュニティ運営・起業家相談支援・支援機関研修 （1）コミュニティ運営：HP運営、Webプラットフォーム構築 （2）起業家相談支援：相談支援、講演会・交流会企画 （3）支援機関研修：起業家支援のノウハウを学ぶ支援機関向け研修 3. アントレプレナーシップ教育・起業・新ビジネス創業体験プログラム（高校生・大学生別） 4. プロモーション・動画制作、Web・メディア活用	●R4結果を基に下記をブラッシュアップして実施 1. コンソーシアム運営 2. コミュニティ運営・起業等相談支援・支援機関研修 （1）コミュニティ運営：HP運営、Webプラットフォーム構築 （2）起業家相談支援：相談支援、講演会・交流会企画 （3）支援機関研修：起業家支援のノウハウを学ぶ支援機関向け研修 3. アントレプレナーシップ教育・起業・新ビジネス創業体験プログラム（高校生・大学生別） 4. プロモーション・Web、メディア等を活用して情報発信
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			20,000
財源内訳	国・県支出金		10,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	10,000
歳入合計		0	20,000

課題	●支援機関がそれぞれで起業支援しており、窓口や支援が一本化されていない。支援姿勢やノウハウにばらつきがある。 ●先輩の起業家や支援者に「出会う」「相談する」コミュニティ、仲間づくりができるコミュニティがない。 ●地域にアントレプレナーシップ（起業家精神）やそれを支援する機運が未醸成。	方向性	●チャレンジャーファーストを基本姿勢として、「産官学金が連携したノウハウ」「気軽に良質なコミュニティ」「チャレンジが特別でないカルチャー」を提供する社会システムを整える

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	MATSUE起業エコシステム推進事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	コンソーシアム設立の検討開始	通年	MIX運営
	4月	アントレプレナーシップ教育事業開始	通年	プロモーション
	5月	MIXPoC事業開始		
	今秋	コンソーシアム設立		



共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	12,000		
負担金補助及び交付金	8,000		
事業費計		20,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出に繋げる。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		展示商談会における商談成立者数(増加分)	0	5	5	22
	目標（何を達成するのか）	クラフトフェア参加の作家人数(増加分)	52	30	30	100
	・地域商社立ち上げに向けた人材育成とネットワーク構築 ・松江工芸のブランディング ・工芸品を知って購入する機会づくり ・異業種ネットワークによる付加価値創出					
		工芸品販売額(千円)	3,949	5,370	6,495	13,300

事業概要	①プロデュース・流通・販売を一貫して担う地域商社の創出を目指して、地域内外のクリエイティブ人材・作り手・地域おこし協力隊が連携する体制を作る ＊かんべの里工芸ショップの企画・運営を通した人材育成（アドバイザー招致） ②松江工芸のブランドコンセプトを明確にして発信し、作り手によるブランドマークの活用を促進する ③クラフトフェア、販売店舗の増加、手仕事マップで回遊性を高め、認知度と経済力をアップ ④異業種交流や付加価値創出を目指したワークショップの開催により、情報交換や作り手をサポートできる人材とのマッチング（数値目標の事業年度） 項目名 展示商談会における商談成立者数(増加分)：2024(R6)年度、項目名 クラフトフェア参加の作家人数(増加分)：2023(R5)年度、項目名 出雲かんべの里工芸ショップ及びクラフト展（丘のクラフト展、新規クラフトフェア）での工芸品販売額：2029(R11)年度
------	--

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	R2から引き続き、首都圏に販路をもつディレクターを配置し、工芸作家への情報提供・助言・販路開拓サポートを実施（セミナー、工房訪問等）。松江工芸のブランドコンセプトを明確とするコンセプト文・ロゴの作成と、魅力を発信するWEBサイトが完成。出雲かんべの里内ショップの立ち上げから運営、商品セレクト、販売等のサポートを実施。新規クラフトフェア（CRANUMA）では、36名の作家の作品が興雲閣に集まり、約750名のお客様にご来場いただいた。		○人材育成とネットワークの構築 ○松江工芸のブランディング ○クラフトフェアの開催 ○手仕事マップの作成 ○異業種ネットワークによる付加価値創出	○人材育成とネットワークの構築 ○クラフトフェアの開催 ○手仕事マップの作成 ○異業種ネットワークによる付加価値創出
	達成度			
	2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		4,900	4,900
財源内訳	国・県支出金	2,450	2,450
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,450	2,450
歳入合計		4,900	4,900

課題	①付加価値を付けて使う人に渡す「繋ぎ」の機能が不足しているため工芸の地域商社が必要 ②個々で活動していることから地域産業としての認知度が低い ③展示販売する場所が市内にないため認知されず経済的に厳しいため知ってもらい、買ってもらう場の増加が必要 ④情報交換や相談する仕組みがないことがコロナ禍で一層深刻なため、新たな発想を生む情報交換や繋ぎの場・異業種のサポートが必要。	方向性	・伝統を誇りに感じながら新たな挑戦を重ねる若い作り手を増やす ・作り手と使い手を繋ぐ場や商品開発をプロデュースできる事業者を増やす ・工芸品や、クラフトフェアが松江の新たな魅力となるよう取り組む ・工芸の魅力を観光誘客につなげる ・作り手を目指す人や工芸に関連する人材の松江移住へつなげる
----	--	-----	--

産業経済部商工企画課 松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	松江工芸の魅力発信と担い手育成事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ネットワークの構築		
	随時	ブランドコンセプトのPR		
	12月	クラフトフェアの開催		
	5月～3月	異業種とのコラボレーションによる新商品開発		

本事業に関する主要データ	
	かんべの里工芸ショップ (いろは舎) オープニングセレモニーの様子
	新規クラフトフェア (CRANUMA) 当日の様子

共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,900		
事業費計		4,900	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	商業活性化支援事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	人口減少やネット通販の発達など地元商業者にとって厳しい商業環境であるが、意欲ある商業者に対し支援することで、商業機能の維持・拡大を図る。	項目（成果指標） 空き店舗等への新規出店件数	R3実績見込 11	R4計画 10	R5計画 10	目標値 10
	目標（何を達成するのか）					
	・空店舗の解消による商業機能の維持・向上 ・地域経済の活性化 ・買物不便地域の解消					

事業概要	地域において工夫した商業の新たな仕組みづくりや地域商業の活性化、商業機能の維持・向上などの積極的な取り組みを支援することによって地域経済の活性化と商業の振興に寄与する。 ①松江市中心市街地活性化基本計画（以下、基本計画）で設定された区域内や商工会管内の一部地域の空店舗に出店する際の家賃等への補助（チャレンジショップ事業） ②買物不便地域解消につながる取り組みへの補助（買物支援事業） （数値目標の目標年度） 項目名 空き店舗等への新規出店件数：2029(R11) 年度
------	---

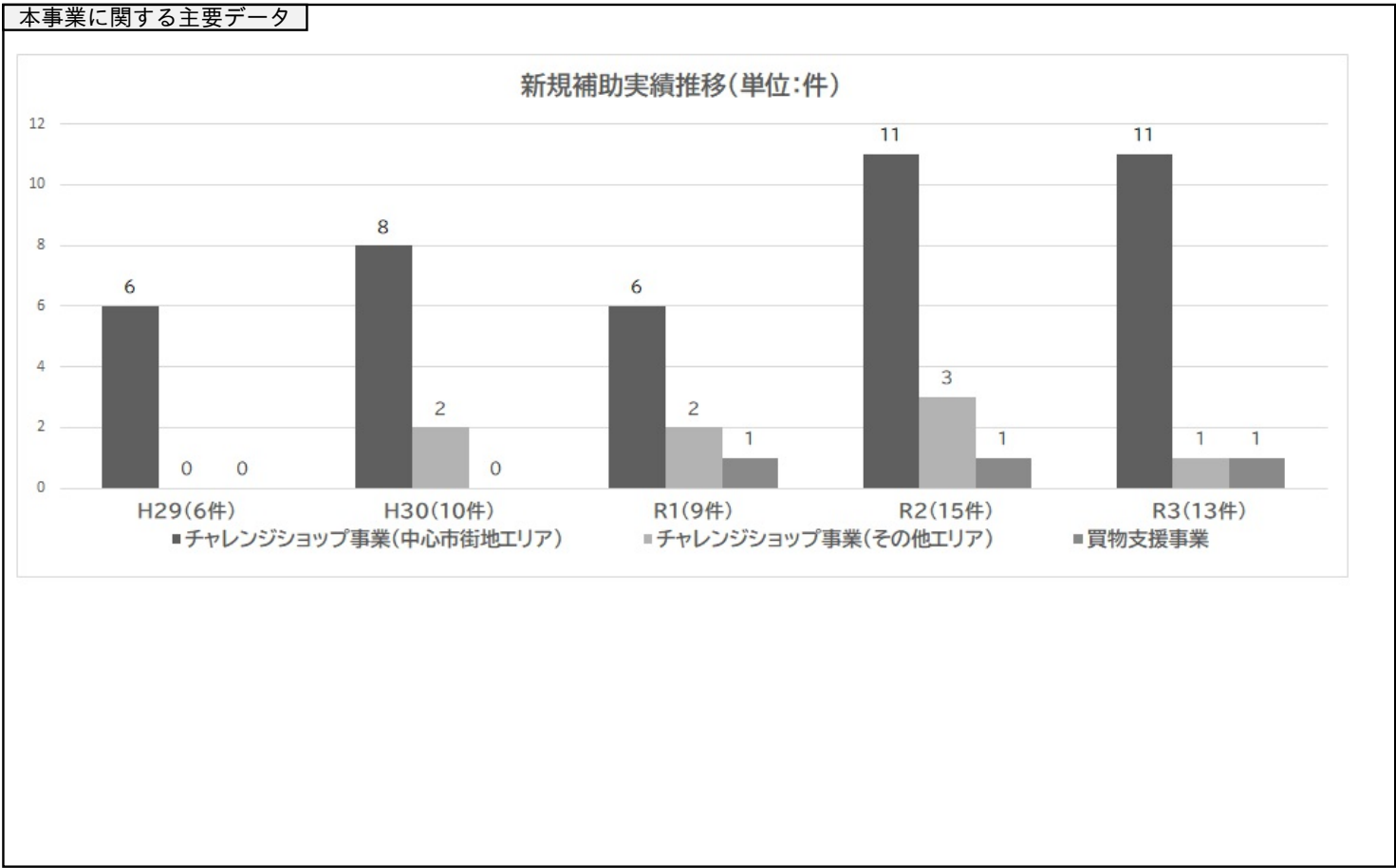
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	チャレンジショップ事業は新規で12事業者、継続で6事業者に対して補助。 買物支援事業は1事業者に対して補助。		・「まちのRe-project事業」と連携を図り、遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。		・「まちのRe-project事業」と連携を図り、遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		14,552	21,000
財源内訳	国・県支出金	7,269	10,500
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	7,283	10,500
歳入合計		14,552	21,000

課題	補助対象エリアや地域商業機能の維持に必要とされる業種の認定等、制度の見直しを逐次図っていくことで、新規出店者への支援を実施し、地域商業機能の維持に一定の役割を果たした。一方で支援した事業者が地域に定着し、持続的に地域商業の活性化に寄与できるように、事業の定着率向上へ向けたサポートを実施していく必要がある。	方向性	新規出店する事業者や空き店舗を抱える商店街等のニーズを把握しながら、より使いやすい支援内容となるよう、随時検討していく。 また、支援した事業者の定着率向上に向け、出店当初の計画作成から事業着手後のフォローについても引き続き商工会議所・商工会等と連携しサポートを行っていく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R4年10月	補助金交付		
	R5年3月	県補助金請求		
	R5年4月	補助金交付		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	21,000		
事業費計		21,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部建築住宅課	空き家利活用・適正管理促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	○利活用や適正管理が行われていない空き家の減少を図ることで、地域の活性化及び安心して暮らし続けられる住環境を確保する。 ○老朽空家等の周辺の生活環境を回復し、安全に安心して生活できる環境を確保する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		空き家バンク新規登録件数（件）	5	30	30	30
		空き家バンク等による活用件数（件）	14	44	44	44
		老朽空家等に対する措置（件）	3	6	6	6

事業概要	【数値目標の目標年度】 空き家バンク新規登録件数：2029(R11)年度、空き家バンク等に活用件数：2026(R8)年度、老朽空家等に対する措置：2026(R8)年度
	【事業内容】 ○空き家に関する総合相談支援事業（空き家に関する様々な相談にワンストップで対応できる相談窓口を設置する。） ○空き家バンク事業(空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行う。) ○中古木造住宅改修及び除却支援事業（中古木造住宅の取得者が行う改修や除却に対しその費用の一部を補助する。） ○老朽空家等改善指導及び除却支援事業（老朽空家等の所有者に対し、必要な措置を講ずるよう指導等を行う。また、所有者が除却をする際の除却費の一部を補助する。） ○空き家再生等推進事業（空き家を地域活性化のための交流施設などに活用に対する改修費の一部を補助する。） ○小規模住宅団地整備補助事業（（小規模団地の開発者に対して開発道路整備費や既存空き家除却費の一部を補助する。R2年度からは、中心市街地のみならず、郊外拠点部も対象とする。） ○空き家対策総合支援事業（空き家を除却し跡地を地区の交流スペースや防災空地の利用に対する除却費の一部を補助する。） ○松江市空家等対策協議会（本市に必要な施策等について協議する。）

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○空き家バンク事業 登録 5件、成約4件 ○中古住宅改修・除却補助金 改修 10件、建替除却 10件 ○老朽空家等の除却支援 3件 ○空家等対策計画策定	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数50件 ○空き家バンク事業 登録 30件、成約26件 ○中古住宅改修・除却補助金 改修 18件、建替除却20件 ○老朽空家等の除却支援 6件 ○空き家再生等推進事業3件 ○小規模住宅団地整備事業 整備支援3件 ○空き家対策総合整備事業 整備支援2件	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数50件 ○空き家バンク事業 登録 30件、成約26件 ○中古住宅改修・除却補助金 改修 18件、建替除却20件 ○老朽空家等の除却支援 6件 ○空き家再生等推進事業3件 ○小規模住宅団地整備事業 整備支援3件 ○空き家対策総合整備事業 整備支援2件
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		29,169	29,421
財源内訳	国・県支出金	6,167	9,983
	地方債		
	その他	1,000	1,000
	一般財源	22,002	18,438
歳入合計		29,169	29,421

課題	(1)「空き家バンク」登録物件の成約率は80%以上と高いが、登録件数が少ないため、登録物件を増やし、空き家や中古住宅の流通を促進する必要がある。 (2)「空き家バンク」を含め各補助事業の周知が不足している。	方向性	(1) 空き家バンクの成約数を伸ばして利活用を促進するため、「①総合相談窓口での相談者や出前講座・終活セミナーなどの受講者への働きかけ」、「②空き家の利活用に関する冊子の作成・配布」などを行っていく。 (2) 市ホームページや市報での広報のほか、各地区の実情に合った情報発信を行っていく。

都市整備部建築住宅課 空き家利活用・適正管理促進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	空き家バンク及び各種補助金事業		
	通年	空き家に関する総合相談支援		
	通年	利用可能な空き家の活用促進（所有者等への活用案内等）		
	通年	老朽空家等の所有者への除却等を含む管理に対する指導等		

本事業に関する主要データ														
空き家バンク事業の実績														
(単位：件)														
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3 年度					合計
登録件数 (売買)	2	26	14	6	4	8	9	7	5					81
成約件数 (売買)	0	12	13	14	7	7	7	6	4					70
中古木造住宅取得等支援事業補助金交付実績														
(単位：件)														
	H21～ H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3 年度					合計
改修	131	2	0	17	18	7	11	11	10					207
建替除却	46	4	0	8	7	11	11	10	10					107
計	177	6	0	25	25	18	22	21	20					314

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,172	負担金補助及び交付金	24,500
職員手当等	395		
共済費	377		
旅費	24		
需用費	230		
役務費	91		
委託料	1,632		
事業費計		29,421	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部都市政策課	まちのR e − p r o j e c t 事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	都市マスタープランに位置付ける「既存ストックの有効活用」に向けて、地域の人材と遊休資産の活用を図り、潜在的な地域の魅力が見える化することで、まちなかの再生と市域全体の活性化を目指す。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		都市再生推進法人の認定数【累計値】	0	1	2	3
	目標（何を達成するのか）	空き店舗等への新規出店数【単年度値】	9	10	10	10
	エリアリノベーションの推進により、実在の遊休不動産を活用する実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。					

事業概要	リノベーションまちづくりとは、空き家や空き店舗などのまちの潜在資源を活用して、民間主導で地域の経営課題を解決するまちづくり手法である。「リノベーションまちづくりガイドライン」を印刷製本し、大学や個人事業者、個店等へ配布するほか、プロモーション動画を作成し、広く周知を図ることで、リノベーションまちづくりへの理解と関心を深め、取り組みやすい環境づくりを進める。
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	・遊休不動産所有者への活用意向の調査 ・リノベーションスクール事前講演会の開催（2回開催） ・リノベーションスクールの開催（2ユニット） ・リノベーションまちづくりガイドラインの策定 ・リノベーションスクール案件の実事業化に向けた支援	・ガイドラインの印刷製本・配布 ・プロモーション動画の制作 ・ガイドラインや動画による周知・啓発 ・遊休不動産の掘り起こし ・不動産オーナーへの協力依頼 ・金融機関との連携 ・フラットな情報共有の場づくり	・遊休不動産の掘り起こし ・不動産オーナーへの協力依頼
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		15,292	1,933
財源内訳	国・県支出金	7,564	0
	地方債		
	その他	65	0
	一般財源	7,663	1,933
歳入合計		15,292	1,933

課題	・中心市街地等のまちなかの不動産が空き家、空き店舗として遊休化したり、駐車場として低未利用化するスポンジ化が進行 ・建築物の除却・新築を中心とする市街地再開発はリスクを伴うため、既存のストックを活用した再生手法への転換が必要	方向性	・中心市街地を主要なエリアとして遊休不動産活用による起業や居住の促進を図る ・遊休不動産を活用しエリアに必要なコンテンツの創出を図る ・小規模な民間投資を連鎖的に呼び込むことにより雇用の創出を図るとともに、エリアの不動産価値の上昇による魅力向上を目指す
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	業務委託の発注・契約（印刷製本、動画制作）	9月	先進地への視察
	6月～7月	ガイドラインの印刷製本	12月～3月	冊子及び動画を利用しての啓発活動
	6月～3月	ガイドライン（冊子）の配布による啓発活動		
	6月～12月	プロモーション動画の制作		

本事業に関する主要データ

リノベーションまちづくりの進め方

エンジン：実践を創出するプログラム
例：リノベーションスクール

シャシ：松江市リノベーションまちづくりガイドライン（戦略的都市政策）

車輪：家守会社（エリアマネジメント）

※(株)リノベリング提供資料をもとに編集

スケジュール

2022～

遊休不動産調査 & 不動産オーナーへの意向調査・協力依頼

プロモーション強化、推進体制の構築

○プロモーション強化

- ・リノベーションまちづくりの理解と関心を深める

○推進体制の構築

- ・フラットな情報共有の場づくり
- ・金融機関との連携
- ・都市再生推進法人の認定

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	18		
需用費	929		
委託料	986		
事業費計		1,933	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	職人商店街創出事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地商店街の活性化	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		数値目標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
	中心市街地に多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出					

事業概要	職人商店街の創出を目指し、事業推進組織を設立し、ものづくり職人や商店街などへの働きかけや調整を行い事業推進を図る。
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	職人商店街調査検討事業を実施。 ・伝統的手づくり技術の調査として、文献調査、識者への聞き取り調査を実施。 ・商店街の状況把握調査として、4 商店街へ聞き取り調査を実施。 ・職人等の意向把握調査として、12名の市内職人等へ調査を実施。 ・プロデュース人材把握調査として、域外のプロデューサーへの聞き取り調査を実施。オンラインセミナーを開催。 事業を推進する仕組みの構築にあたっての課題が見えてきた。	○事業を推進する仕組みの構築 ○事業推進組織の立ち上げ、事業推進 ・既存店舗のリノベーション促進 ・空き家や空き店舗を活用した拠点づくり	○事業推進組織による事業推進
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,995	17,950
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,995	17,950
歳入合計		1,995	17,950

課題	職人や商店街の現況を踏まえた課題の洗い出しや事例研究に基づく成功要因分析を行い、必要な取組を把握することが必要	方向性	令和3年度に実施した調査結果を踏まえて、事業を推進する仕組みを構築し、事業推進に必要な事業を検討、実施していく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	商店街、店舗訪問		
	7月～3月	既存店舗リノベーション、拠点候補選定		

本事業に関する主要データ	
○事業を推進する仕組みの構築【事業費 350万円】 ・プロデュース人材の配置 ・事業を推進するための民間主体の協議会の設置 ・必要な環境整備や支援等の検討・実施	
<協議会で実施する支援> ・既存店舗のリノベーション促進【事業費 750万円】 和菓子、お茶、地酒、蕎麦、染物、工芸などの老舗の職人の技を見て、体験して楽しむための、店舗改装の支援 ・空き家や空き店舗を活用した拠点づくり【事業費 695万円】 意欲のある工芸作家の製作・体験・販売などの活動拠点整備	

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,500		
負担金補助及び交付金	14,450		
事業費計		17,950	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	多面的機能支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域が共同で行う多面的機能を支える農地維持活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る資源向上活動を支援することで、集落環境の保全・維持、集落の活性化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		対象農用地面積（ha）	2,412	2,413	2,450	2,487
		第1次産業新規就業者数（人）	29	35	70	280
	目標（何を達成するのか）					

事業概要	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費について、面積に応じて一定額を交付する。
	（数値目標の目標年度）
	項目名 対象農用地面積（ha）：2024（R6）年度 項目名 第1次産業新規就業者数（人）：2029（R11）年度 ※農林水産業の新規就業者数の2022（R4）年度からの累計

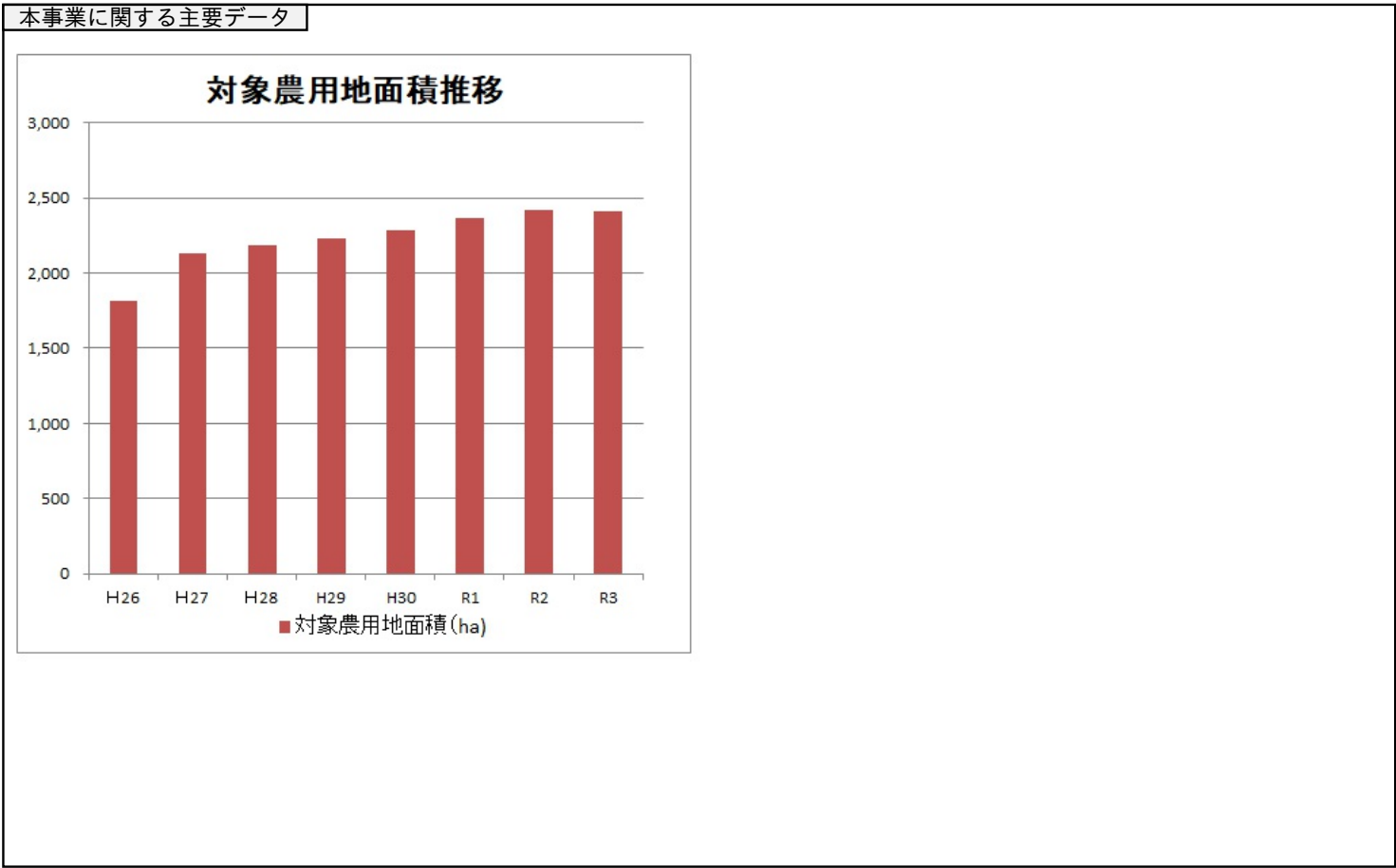
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	【活動組織数】 農地維持支払74件 資源向上支払（共同）62件 資源向上支払（長寿命）37件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,412ha 資源向上支払（共同）2,190ha 資源向上支払（長寿命）1,518ha		【活動組織数】 農地維持支払74件 資源向上支払（共同）63件 資源向上支払（長寿命）37件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,413ha 資源向上支払（共同）2,222ha 資源向上支払（長寿命）1,518ha		【活動組織数】 農地維持支払75件 資源向上支払（共同）64件 資源向上支払（長寿命）38件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,450ha 資源向上支払（共同）2,256ha 資源向上支払（長寿命）1,541ha	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			164,633
財源内訳	国・県支出金		123,702
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	40,931
歳入合計		0	164,633

課題	活動組織構成員の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	農地の維持保全、集落機能の活性化などを行うために、引き続き事業の推進を図るとともに活動組織の広域化を進め、活動の効率化や組織力の強化を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	各組織から前年度実績報告	2月	補助金の交付（第2回）
	6月	新規活動組織の活動計画書提出		
	8月	補助金の交付（第1回）		
	9月～12月	対象農地の確認、面積の精査		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	438	負担金補助及び交付金	163,718
職員手当等	179		
共済費	101		
旅費	11		
需用費	128		
役務費	57		
委託料	1		
事業費計		164,633	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	中山間地域等直接支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続し、農地及び農村の保全を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		対象農用地面積（ha）	247	248	250	259
	目標（何を達成するのか）	第1次産業新規就業者数（人）	29	35	70	280
	農地の維持保全、集落機能の活性化などを行うために、対象農用地面積の拡大を図る。また多面的機能支払交付金と組み合わせた事業推進を進める。					

事業概要	中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための協定を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する。 事業期間：令和2年度～令和6年度（第5期対策） （数値目標の目標年度） 項目名 対象農用地面積（ha）：2024（R6）年度 項目名 第1次産業新規就業者数（人）：2029（R11）年度 ※農林水産業の新規就業者数の2022（R4）年度からの累計
------	--

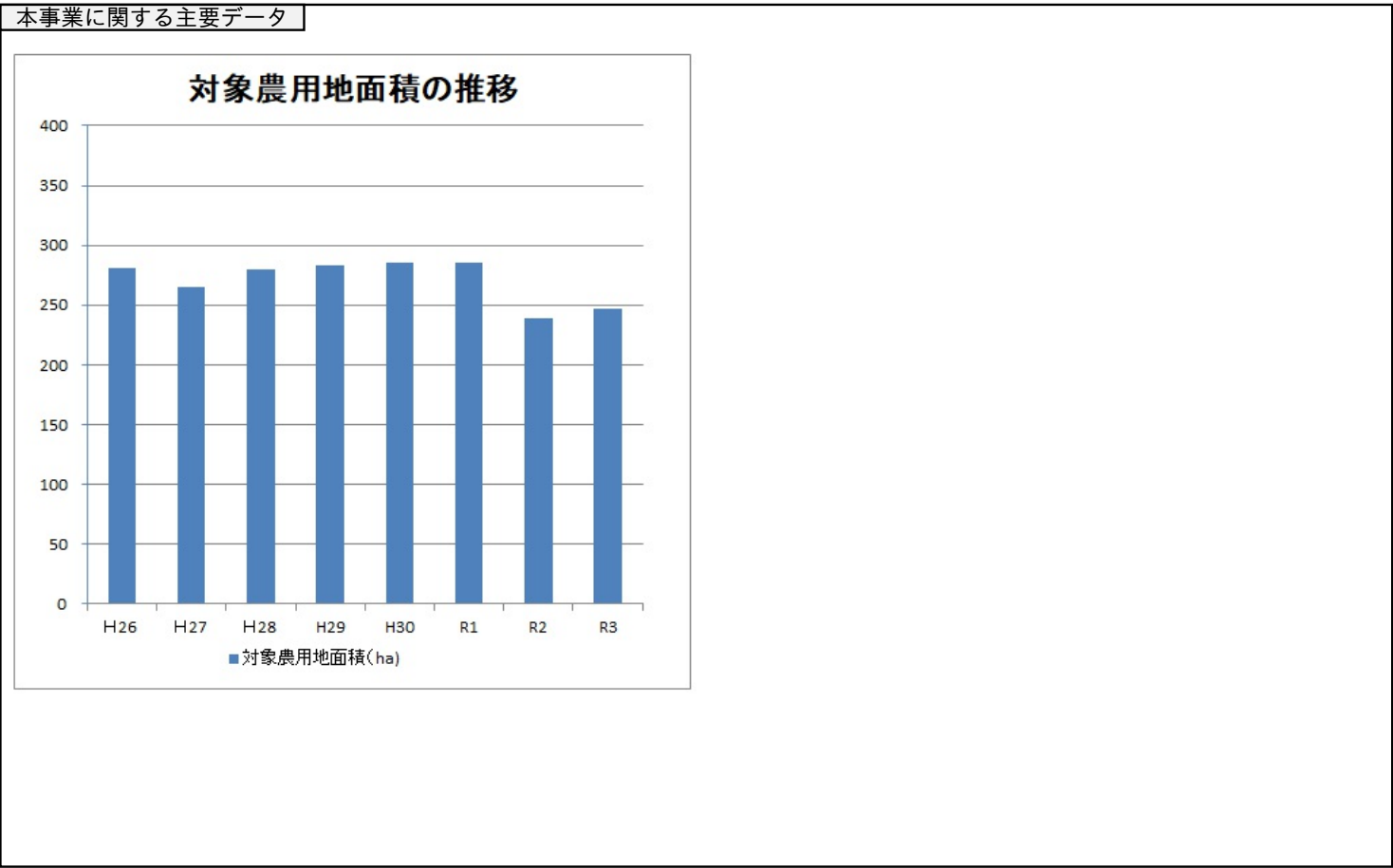
事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	・事業の継続、多面的機能支払交付金と組合わせた事業推進を進める。 活動組織数 47件 対象農用地面積 247ha		・事業の継続、多面的機能支払交付金と組合わせた事業推進を進める。 活動組織数 47件 対象農用地面積 248ha	・事業の継続、多面的機能支払交付金と組合わせた事業推進を進める。 活動組織数 47件 対象農用地面積 250ha
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		43,090	44,780
財源内訳	国・県支出金	29,881	31,160
	地方債		
	その他		0
	一般財源	13,209	13,620
歳入合計		43,090	44,780

課題	中山間地域における農業者の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	本事業の実施により、農業生産活動等を継続するための課題について話し合いを行う場を設けることで、課題の解決に取り組み、農用地の維持・管理や農業生産活動の継続を図る。
----	-------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	現地傾斜測定	10月	現地確認
	6月	事業計画申請	1月	交付金支払（2回目）
	7月	事業計画認定		
	7月	交付金支払（1回目）		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	34		
役務費	48		
委託料	330		
負担金補助及び交付金	44,368		
事業費計		44,780	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	新規就農施設等整備事業費（ハード）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新規就農者等の早期営農安定及び活動促進を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		新規自営就農者数（人）	2	3	4	32
	目標（何を達成するのか）	第1次産業新規就業者数（人）	29	35	70	280
	必要な施設等整備を行う事業に対し、支援をすることにより、農業の担い手の育成確保を行う。					

事業概要	県単事業で、新規就農者等が施設・機械整備を行うことについて支援するもの。 補助率：1/2（県1/3＋市1/6）
	（数値目標の目標年度）
	項目名 新規自営就農者数（人）：2029（R11）年度 ※目標値については、R4からR11までの累計値とする。
	項目名 第1次産業新規就業者数（人）：2029（R11）年度 ※農林水産業の新規就業者数の2022（R4）年度からの累計

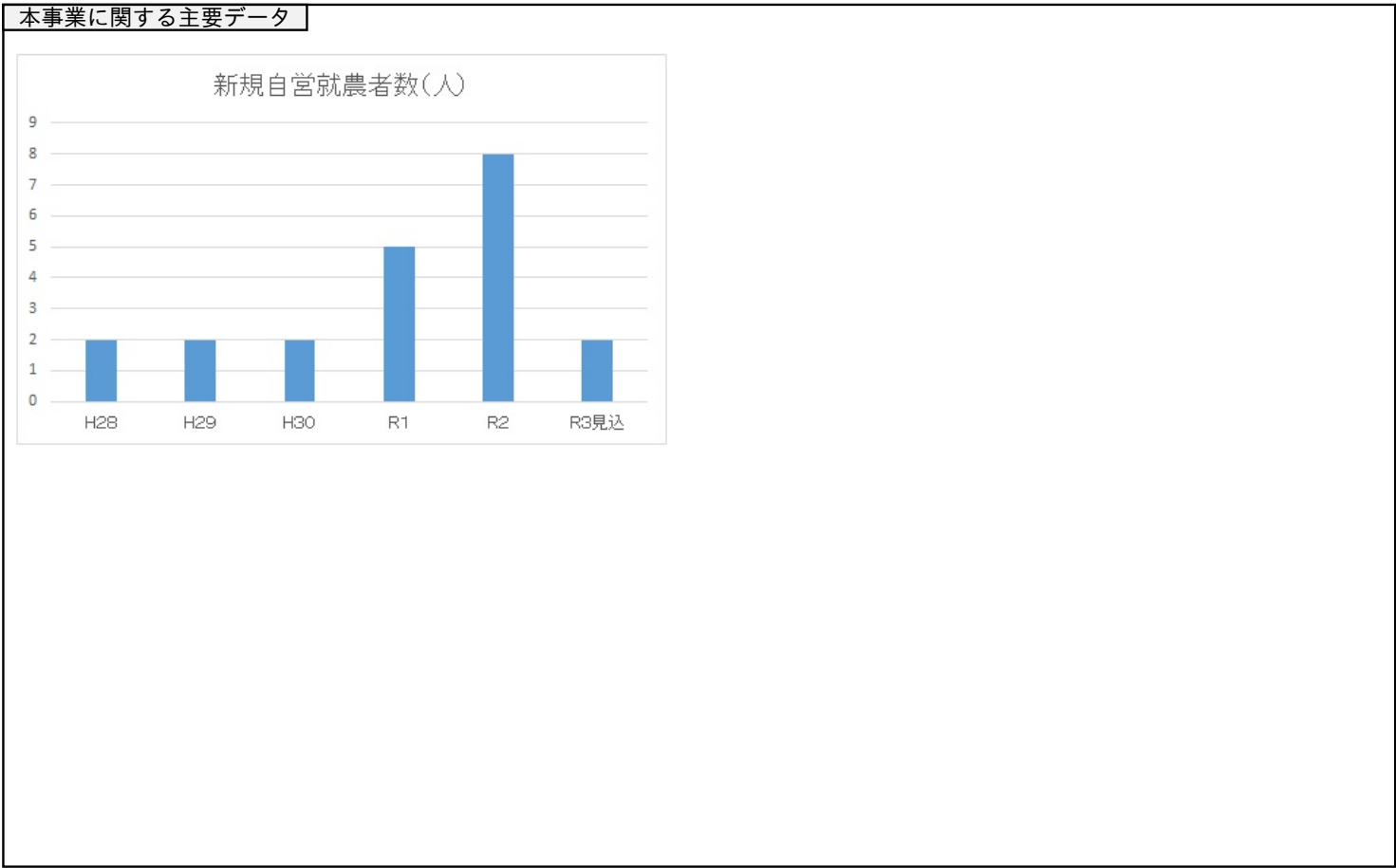
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	認定新規就農者等の就農計画（5カ年）に従って整備予定の設備等補助を行う。		認定新規就農者等の就農計画（5カ年）に従って整備予定の設備等補助を行う。		認定新規就農者等の就農計画（5カ年）に従って整備予定の設備等補助を行う。	
	4経営体	補助額 6,884千円	4経営体	補助額 10,748千円		
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		6,884	10,748
財源内訳	国・県支出金	4,587	7,166
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,297	3,582
歳入合計		6,884	10,748

課題	農業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、新規自営就農者の確保・育成が求められている中で、経営開始に伴う初期投資が負担となっている。	方向性	新規就農者が経営開始期に必要な設備投資を助成し、初期投資に係る負担軽減を図る。併せて、県やＪＡなど関係機関と連携し、就農者に対し栽培技術指導などを行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	内報通知		
	6月	交付申請・交付決定		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	10,748		
事業費計		10,748	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部水産振興課	担い手対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の水産業を推進し、漁家所得の向上や安定化、漁村地域の活性化により、将来にわたって漁業の持続的な発展を図るもの。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		漁獲量（t）（海面・宍道湖・中海）	8,460	8,773	9,086	9,400
		漁業就業者数（人）	907	926	945	964
	目標（何を達成するのか）					
	・漁業就業者数の増加 ・漁村地域の活性化					

事業概要	①新規漁業者の漁船、漁業用機械・機器等の購入に必要な経費への補助（松江市水産業振興事業補助金交付要綱 補助率：事業費の1/2以内、限度額：3年間で300万円） ②自営漁業者自立給付金（認定新規漁業者へ生活費の一部として給付金を交付する。給付金は、市から県と市の給付金合計額を交付するもの）補助率：県1/2 市1/2 給付額：50歳未満1,200千円×5年間 50歳以上65歳未満600千円×2年間（松江市自営漁業者自立給付金交付要綱） ③沿岸漁業スタートアップ事業補助金（松江市沿岸漁業スタートアップ事業補助金交付要綱 認定新規漁業者が漁船等を整備する際にその経費の一部を助成するもの。補助金は市から県と市の合計額を交付する。補助率：県1/3（上限1,000千円）市1/3（上限1,000千円）
------	---

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	自営漁業者自立給付金（4件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（1件） 新規漁業者向けPR動画作成業務委託		自営漁業者自立給付金（5件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（2件）	予算要求時期（9月）に漁協等へ聞き取りのうえ策定予定。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	7,298	10,000
	国・県支出金	3,400	5,000
	地方債		
	その他	3,898	5,000
	一般財源	0	0
歳入合計		7,298	10,000

課題	・漁業者の高齢化、資源量の減少などにより、漁獲量は年々減少し、漁家所得の不安定さは増々深刻な問題となっている。漁業就業者を増やすため、安定的な経営に向け、対策を講じる必要がある。	方向性	・若手漁業者の参入に対し、安心して着業できるよう、初期の設備投資などに対する支援を充実させていく。 ・漁業の複合経営により安定的な経営及び所得の向上が期待できるため、新たに養殖漁業等の複合経営に取り組むための経費について支援を行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	自営漁業者自立給付金		
	4月～3月	沿岸漁業スタートアップ補助金		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	10,000		
事業費計		10,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	ハウス等整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業における担い手の確保及び生産拡大を推進する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		整備するハウスの棟数（棟）	1	1	3	7
	目標（何を達成するのか）	第1次産業新規就業者数（人）	29	35	70	280
	新規自営就農者や認定農業者の経営発展に必要な農業用ハウスを整備する。					

事業概要	農業用ハウス（リースを含む。）の整備に係る初期投資の軽減を図ることで、担い手を確保し、生産を拡大する。 補助率 2/3（県1/3+市1/3）
	※リースハウス事業 JAしまね くにびき地区本部が事業主体となり、県の補助事業を活用して農業用ハウスを整備し、生産者にリースする。当該ハウスはリース期間終了後、生産者に譲渡される。
	（数値目標の目標年度）
	項目名 整備するハウスの棟数（棟）：2024（R6）年度 ※目標値については、R4からR6までの累計値とする。 項目名 第1次産業新規就業者数（人）：2029（R11）年度 ※農林水産業の新規就業者数の2022（R4）年度からの累計

事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	ブドウ栽培用リースハウス1棟を整備する。		ブドウ栽培用リースハウス1棟を整備する。		農業用ハウス3棟を整備する。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	4,667	5,514
	国・県支出金	2,333	2,757
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,334	2,757
歳入合計		4,667	5,514

課題	新規自営就農者や認定農業者の経営発展に必要な農業用ハウスの整備に要する初期投資が負担となっている。	方向性	県の補助事業を活用し、農業用ハウスを整備をするとともに県、JAと連携して、就農者に対し栽培技術指導などを行う。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	内報通知		
	6月	交付申請・交付決定		

本事業に関する主要データ



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,514		
事業費計		5,514	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	新規就農者経営発展支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新規就農者を支援し、若い担い手の育成・確保を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		新規自営就農者数（人）	2	3	4	32
	目標（何を達成するのか）	第1次産業新規就業者数（人）	29	35	70	280
	経営開始資金及び機械・施設等の導入を支援することで、新規就農者の早期経営確立を図る。					

事業概要	○経営開始資金 新たに経営を開始する者に対して資金を助成。 対象者：経営開始時に49歳以下の認定新規就農者。 支援額：12.5万円／月（150万円／年）、最長3年間。
	○経営発展支援事業 就農後の経営発展のための機械・施設等の導入に対する支援。 対象者：49歳以下で令和4年度に新たに農業経営を開始する認定新規就農者。 支援額：補助対象事業費上限1000万円（経営開始資金の交付対象者は、500万円） 補助率：3／4（国1／2＋県1／4）
	（数値目標の目標年度） 項目名 新規自営就農者数：2029（R11）年度 ※目標値については、R4～R11までの累計値とする。
	項目名 第1次産業新規就業者数（人）：2029（R11）年度 ※農林水産業の新規就業者数の2022（R4）年度からの累計

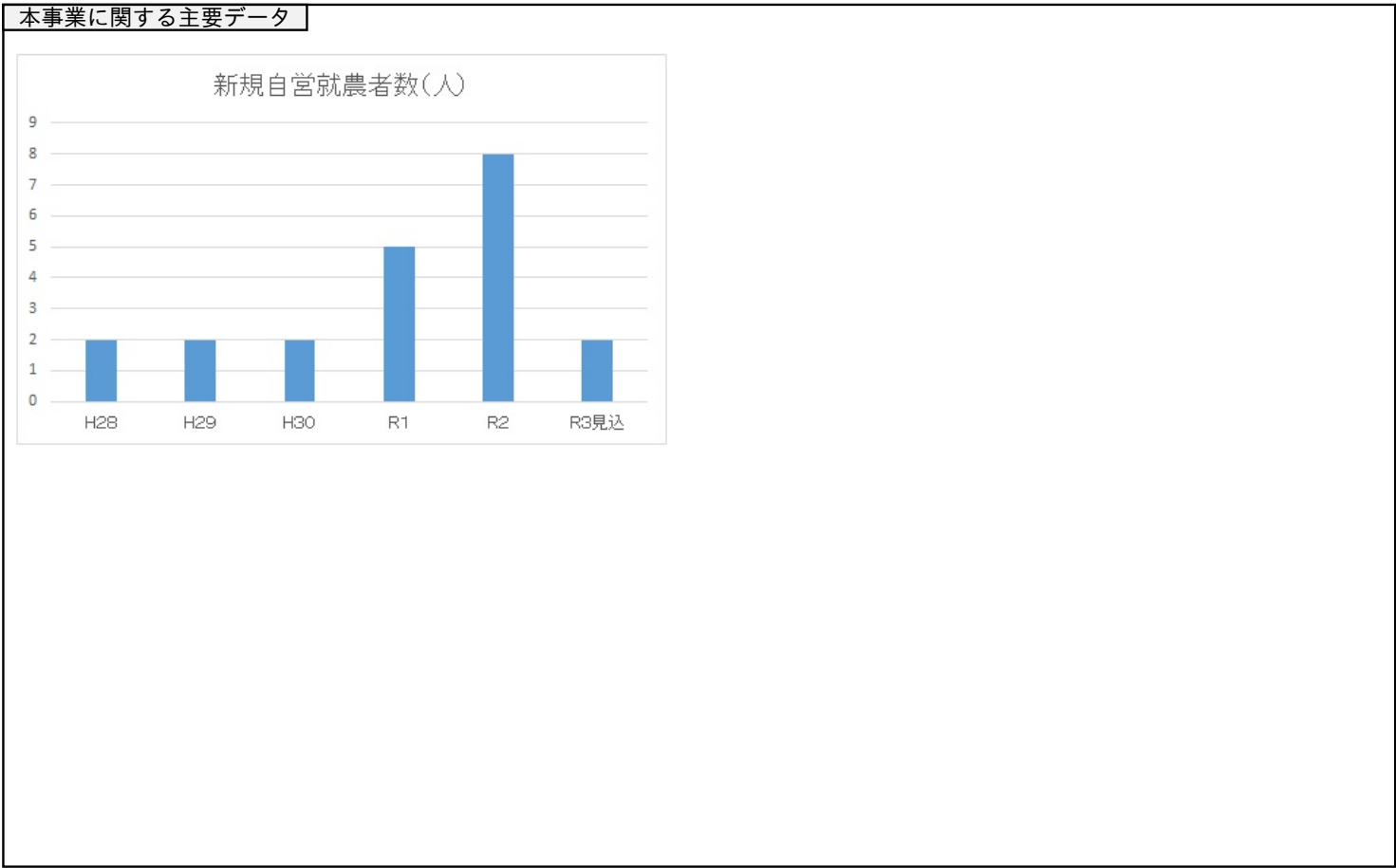
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		経営開始資金 2名 経営発展支援事業 3名 事業費総額 18,000千円	新規自営就農予定者（4名）に対し、早期経営確立に向けた支援を行う。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	0	18,000
	国・県支出金		18,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	0
	歳入合計	0	18,000

課題	農業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、新規自営就農者の確保・育成が求められている中で、経営開始に伴う初期投資が負担となっている。	方向性	経営開始資金の支援などを行い、早期の経営確立を図るとともに県、JAと連携して、就農者に対し栽培技術指導などを行う。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	内報通知		
	6月	交付申請・交付決定		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	18,000		
事業費計		18,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地域ブランド産地育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	項目（成果指標） そば収穫量（t）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
			22	70	75	80
	目標（何を達成するのか）	大豆作付面積（ha） 産直販売額(億円）	45	50	55	60
	松江産農産物の西条柿やそば、加工原材料の大豆等の生産拡大及び販路拡大に取り組む。					
			7.6	7.6	7.8	8.2

事業概要	○目標達成のため各種事業を行う。 【そば】：刈り取り作業に係る経費の一部を補助する。 【大豆】：味噌の加工に使用される出荷量に応じ補助する。 【西条柿】：国内外の販路拡大等の取組を補助する。 （数値目標の目標年度） 項目名 「そば」の収穫量（t）、「大豆」の作付面積（ha）：2024（R6）年度 項目名 産直販売額（億円）：2029（R11）年度、出典：松江市総合計画
------	---

事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	【そば】天候等の影響が大きく、昨年より収量が大幅に減少した。 【大豆】天候等の影響が大きく、収量が例年より減少した。 【西条柿】天候等の影響が大きく、収量は例年より減少したが、販売単価が上がる見込み。		【そば】作付面積の増加並びに、反当収量の増加を図る。 【大豆】作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外の販路拡大を図る。		【そば】作付面積の増加並びに、反当収量の増加を図る。 【大豆】作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外の販路拡大を図る。	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		9,960	9,431
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債		
	その他	0	8,000
	一般財源	9,960	1,431
歳入合計		9,960	9,431

課題	【そば】天候の影響が大きく、収量と質が不安定。 【大豆】作付面積の減少。 【西条柿】国内外の消費者への販路の拡大。	方向性	【そば】そばの収量を上げるため、作付面積の増加や質の向上を図る。 【大豆】国産大豆の需要は増加しており、作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外への販路拡大等を支援する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	そば、大豆、西条柿の補助金申請		
	2月	そば、大豆実績報告		
	3月	西条柿実績報告、そば、大豆、西条柿補助金交付		

本事業に関する主要データ						
【そば・大豆・西条柿の生産状況推移】						
そば	H29	H30	R1	R2	R3見込	R4計画
作付面積(ha)	176	157	155	150	135	140
収穫量(t)	49.8	35.8	35.8	70.6	22.0	70.0
大豆	H29	H30	R1	R2	R3見込	R4計画
作付面積(ha)	42	35	38	35	45	50
収穫量(t)	70	50	60	52	37	75
西条柿	H29	H30	R1	R2	R3見込	R4計画
生産戸数(戸)	153	149	144	144	144	144
作付面積(ha)	40	40	40	40	40	40
販売額(百万円)	87	72	62	74	65	75

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,127		
職員手当等	435		
共済費	415		
旅費	24		
負担金補助及び交付金	6,430		
事業費計		9,431	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江大根島牡丹振興対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江大根島牡丹の産地維持・振興を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		産出額（百万円）	184	184	182	190
		生産戸数（戸）	63	63	65	65
	目標（何を達成するのか）	第一次産業産出額（億円）	94	94	95	102
	・ 販路拡大による農家所得の向上。 ・ 新規就農者の早期経営安定。					

事業概要	松江大根島牡丹の生産振興を図るため、以下の事業を実施する。 ・ 国内外の販路拡大に向けた取組を支援。 ・ 土壌病害虫対策として、消毒剤の購入に対する支援。 ・ 新規就農者への苗の供給に対する支援。
	（数値目標の目標年度）
	項目名 産出額（百万円）、生産戸数（戸）：2024（R6）年度 項目名 第一次産業産出額（億円）：2030（R12）年度

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。		販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③新規就農者の早期経営安定の取組を支援。	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③新規就農者の早期経営安定の取組を支援。
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		3,122	3,868
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,122	3,868
歳入合計		3,122	3,868

課題	・ 高齢化、後継者不足により生産戸数、出荷量とも減少傾向。 ・ 収益向上、所得の安定、新規就農者の掘り起こしに向けた取組が必要。	方向性	・ 国内外の販路拡大の取組を支援する。 ・ 研修生の受け入れなど、就農しやすい環境づくりを進め、新規就農者の獲得・定着を支援する。 ・ 組織的な生産・販売体制の構築等、産地維持に向けた取組を支援する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	牡丹切花品評会助成	9月～2月	首都圏・関西圏販路拡大支援
	6月～11月	土壌病害虫対策確立支援	6月、9月	京都東寺牡丹花壇栽培指導
	4月～3月	輸出販路拡大支援（台湾、ロシア）		
	8月～12月	新規就農者経営早期安定対策支援		

本事業に関する主要データ

【松江大根島牡丹 生産戸数推移】 ※松江大根島牡丹協議会会員数

	H30	R1	R2	R3	R4計画	目標値
生産戸数(戸)	73	68	63	63	63	65

松江大根島牡丹 産出額推移

	H30	R1	R2	R3見込	R4計画
産出額（百万円）	225	225	184	184	184

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	981		
需用費	15		
役務費	97		
委託料	50		
負担金補助及び交付金	2,725		
事業費計		3,868	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地場農産物生産・消費拡大推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地産地消の推進および契約栽培農家の経営安定を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		学校給食全品目地場産比率（％）	41.4	43.0	44.0	44.0
	目標（何を達成するのか）	産直販売額（億円）	7.6	7.6	7.8	8.2
	・ 学校給食における地場産比率向上。 ・ 契約栽培の拡大。 ・ 食育の推進。					

事業概要	地産地消を推進し生産者の経営安定を図ることを目的に、契約栽培による納入について価格補填を行う。
	（数値目標の目標年度）
	項目名 学校給食全品目地場産比率（％）：2024（R6）年度 項目名 産直販売額（億円）：2029（R11）年度、出典：松江市総合計画

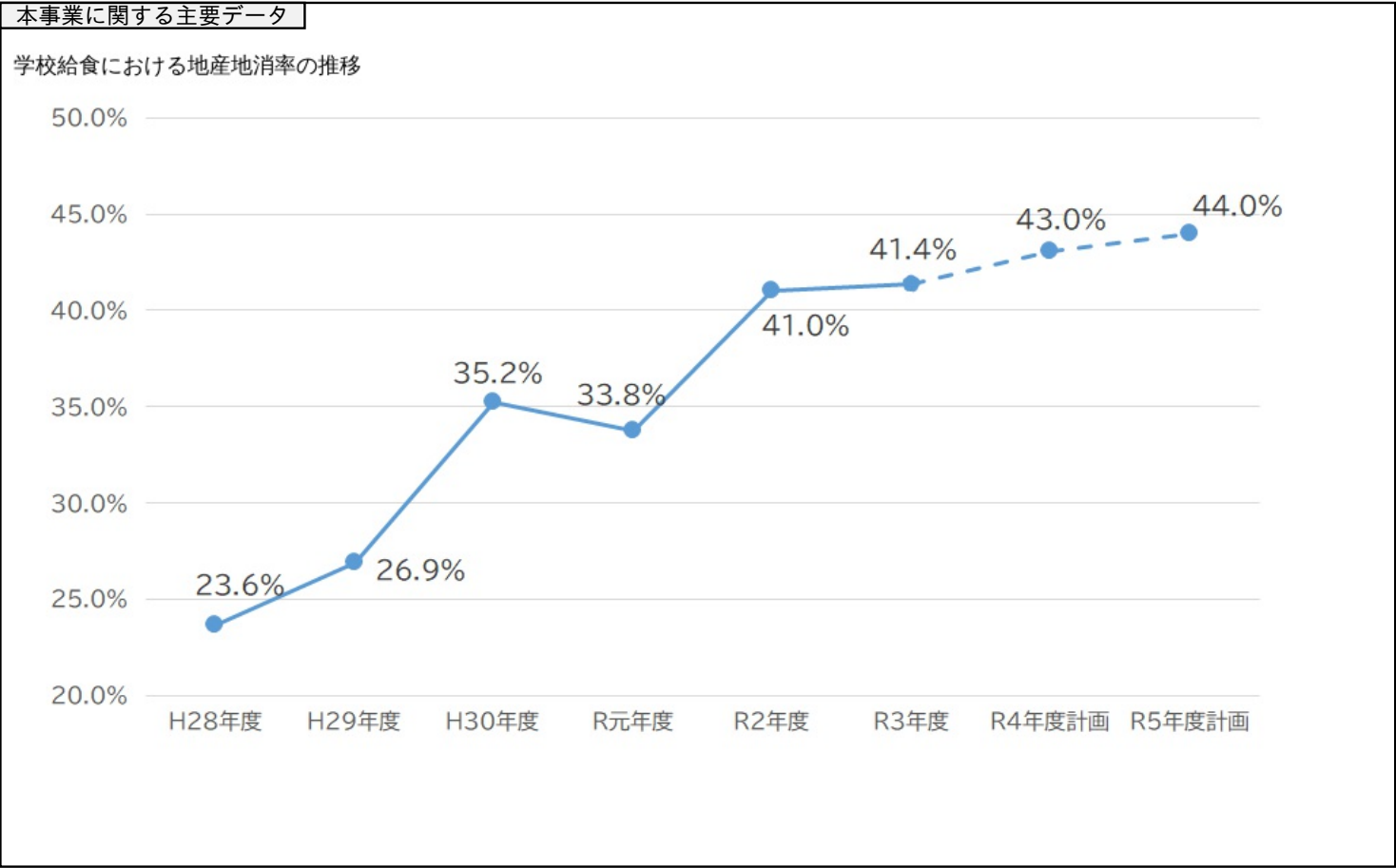
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	・契約栽培を拡大し、地場産比率向上を図るため、新たにきゅうりの契約栽培を実施した。 ・キャベツ、ブロッコリー等の圃場視察及び生産者との意見交換を実施した。	・契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。	・契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	5,283	4,862
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,283	4,862
歳入合計		5,283	4,862

課題	・納入規格を満たす契約栽培野菜の収量の確保。 ・契約栽培野菜の保存方法が確立されていないため、供給期間の拡大が図れない。	方向性	・栽培指導等による収量拡大を図る。 ・学校給食全品目の地場産比率向上に向け、契約栽培品目の拡大を図る。 ・関係機関で意見交換などにより課題を共有し、課題解決を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学校給食会とJAの物資納入契約協議		
	通年	契約栽培の維持拡大に向けた生産者へのアプローチ		
	通年	契約栽培打ち合わせ会		
	通年	規格目合わせ・意見交換会		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,862		
事業費計		4,862	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江市重点推進品目奨励事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市の重点推進品目の生産拡大を中山間地域を含めた市内全域で推進し、産地化を図ることで、小規模農家の所得向上、地産地消の推進に繋げ、農村地域の維持活性化を図る	項目（成果指標） 「南瓜」の販売額（千円）	R3実績見込 10,622	R4計画 13,708	R5計画 21,000	目標値 24,300
	目標（何を達成するのか）	産直販売額（億円）	7.6	7.6	7.8	8.2
	・「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大による産地化					
	・小規模農家の所得向上 ・地産地消の推進					

事業概要	市の重点推進品目である「南瓜（ブラックのジョー）」を中山間地域を含めた市内全域で生産拡大し、産地化を図るため、JAを通じて市場出荷する農家に対し、出荷箱数に応じて奨励金を交付する。 (数値目標の目標年度) 項目名 「南瓜」の販売額（千円）：2024（R6）年度 項目名 産直販売額（億円）：2029（R11）年度、出典：松江市総合計画
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	【R3年】 栽培面積828 a 販売額10,622千円 ※栽培面積は、昨年度から拡大し、828 aとなったが、7月の豪雨被害により、想定の半分の収穫量となった。R 4年度に向け、圃場環境、適正栽培本数、栽培管理等の改善策を生産者へ徹底していく。	R 3年度に引き続き、中山間地域の小規模農家でも取り組みやすく、市場評価も高く需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大を図り特産化を推進していく。 【R4年】 栽培面積849 a 販売額13,708千円	R4年度に引き続き、中山間地域の小規模農家でも取り組みやすく、市場評価も高く需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大を図り特産化を推進していく。 【R5年】 栽培面積960 a 販売額21,000千円
	達成度		
	3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		2,430	4,150
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	
	その他	1,500	0
	一般財源	930	4,150
歳入合計		2,430	4,150

課題	・地域農業の持続性の確保が危惧される中、引き続き、農地の集積・集約化による大規模な担い手育成を継続しながら、中山間地域を中心とした採算性が厳しい地域への支援が必要である。 ・小規模農家の多い中山間地域では、担い手の高齢化、担い手不足、遊休農地の増加といった課題が年々深刻さを増し、このままでは地域としての維持も困難になることが危惧される。	方向性	・中山間地域など規模拡大がむずかしい環境にある小規模農家や家族経営、兼業農家でも取り組みやすく、需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」を市内全域で生産拡大し、小規模農家の所得向上、地産地消の推進に繋げていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R4. 3月	JA栽培講習会の実施	R4. 12月	栽培者反省会の実施（改善事項の説明）
	R4. 6月	出荷目合わせ会の実施	R5. 1月	補助金変更交付申請、変更交付決定
	R4. 6月	補助金交付申請、交付決定、着手届	R5. 3月	実績報告、確定通知、補助金支払
	R4. 7～8月	JA現地講習会の実施		

本事業に関する主要データ			
松江市重点推進品目の生産振興について 1. 品目名 かぼちゃ（品種：ブラックのジョー） 2. かぼちゃの魅力 国内で流通する「かぼちゃ」のほとんどは、ニュージーランド産やメキシコ産の外国産です。国内産は、北海道産や九州産で占められています。このことから、国内産又は島根県産のニーズは高く、有利に取り引きできます。 3. かぼちゃ栽培のメリット (1) 水稲と競合作業が少ない (2) 他の野菜と比較し栽培管理の労力が少ない (3) 松江市全域で取り組むことができる (4) 計画的に出荷作業ができる (5) 生産から販売までの支援体制が整っている (6) 市場評価が高く、需要の見込める品目 ブラックのジョー 黒い皮がおいしさの証「ブラックのジョー」新登場！ ☆ 甘き濃厚 ☆ ホクホク食感 ☆ 皮がやわらかくサクッと切れる JALまねくにびき地区本部			
JAくにびき 「南瓜（ブラックのジョー）」生産状況			
年度	生産者数（人）	栽培面積（a）	販売額（千円）
H30	16	200	1,713
R1	38	320	5,713
R2	50	450	11,861
R3（見込み）	50	828	10,622
R4（計画）	55	849	13,708

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,150		
事業費計		4,150	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部水産振興課	アワビ陸上養殖推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	鹿島・島根栽培漁業振興センターで生産された種苗を活用した陸上養殖事業を推進するため、半循環方式（取水）システムの陸上養殖の実用化に取り組み、栽培漁業の活性化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		アワビ種苗市内出荷数	47,900	63,400	63,400	291,600
	目標（何を達成するのか）					
	陸上養殖事業者の誘致を行い、地域の活性化（産業の創出・雇用の創出）を行う。					

事業概要	（数値目標の目標年度）アワビ種苗市内出荷数：2029（R11） 鹿島・島根栽培漁業振興センターで生産された、種苗を活用した陸上養殖事業を推進するため、海水取水施設を整備するもの。 ○アワビ種苗・稚貝の市場性・ニーズ調査（出口戦略） ○半循環システムを活用した種苗増産施設設計 ○アワビ種苗生産施設拡張工事（生産目標：140万個） ○民間陸上養殖誘致方法検討
------	---

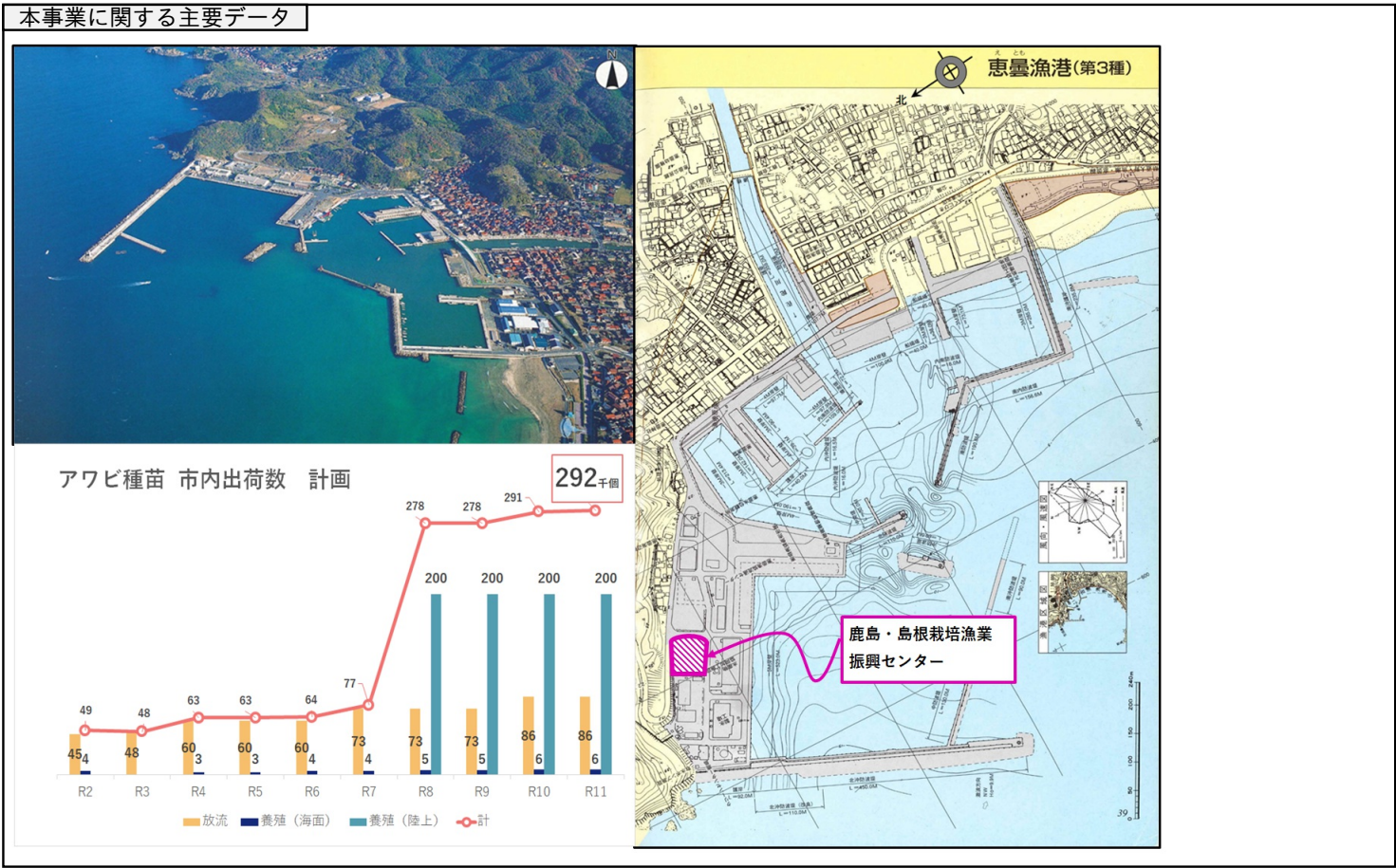
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		【事前調査】 ・視察（企業訪問） ・アワビ種苗・稚貝の市場性・ニーズ調査 【施設設計】 ・半循環システムを活用した種苗増産施設設計	【設計及び発注】 ・施設実施設計 ・施設工事発注 ・民間陸上養殖誘致方法検討
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			20,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		20,000
	一般財源	0	0
歳入合計		0	20,000

課題	沿岸部については、3地域が過疎地域指定を受け、過疎化が深刻な状況である。また、主要産業である水産業については、担い手不足も深刻であり、人口減少に歯止めがきかない。 また、センターで生産されたアワビ種苗は松江市内での利用が約一割であり、市内での利用を増やす取り組みが必要である。	方向性	気象の影響を受けにくく安定した養殖環境を構築できる陸上養殖事業誘致を推進し、アワビ種苗市内出荷数を増やすとともに、鹿島町内の産業創出や新たな雇用創出につなげる。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～10月	視察（企業訪問）		
	6月～3月	アワビ種苗・稚貝の市場性・ニーズ調査（出口戦略）		
	8月～3月	半循環システムを活用した種苗増産施設設計		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	462		
委託料	19,538		
事業費計		20,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	国・県土地改良事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産性向上により農業所得の増大を実現し、農業農村の活性化を図るため県営土地改良事業を着実に遂行する。	項目（成果指標） 県営土地改良事業件数（件）	R3実績見込 12	R4計画 8	R5計画 7	目標値 8
	目標（何を達成するのか）					
	県営土地改良事業で農業生産基盤を整備することにより農業生産性の向上を実現し、農業所得の増大を目指す。そのための事業費に対し、応分の負担をする。					

事業概要	事業化となった県営土地改良事業について、国の示す負担割合のガイドラインに基づき応分の事業負担金を支出するもの。 （県営基幹水利施設管理事業、県営ため池等整備事業、県営水利施設等保全高度化事業、県営農業競争力強化農地整備事業、県営農地中間管理機構関連農地整備事業等）
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	水利施設等保全高度化事業 ・西潟ノ内地区 ・損屋第二地区 経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・西谷上地区 ・古曽志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・井頭2号地区 ・寺領地区 県単基幹水利施設緊急修繕事業 ・西浜佐陀地区 ・東潟ノ内地区 ・損屋干拓水源機場地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定	水利施設等保全高度化事業 ・西潟ノ内地区 経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・西谷上地区 ・古曽志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・井頭2号地区 ・寺領地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定	水利施設等保全高度化事業 ・西潟ノ内地区 経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・西谷上地区 ・古曽志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・小谷奥池 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	255,308	225,090
	国・県支出金	5,542	5,534
	地方債	178,300	153,000
	その他	65,226	52,450
	一般財源	6,240	14,106
歳入合計		255,308	225,090

課題	【ほ場整備】 県全体で20地区以上の整備要望があり、今後の新規採択要件に適応するためには県推進6品目の栽培を強化する必要がある。 【ため池整備】 整備要件の見直しで追加となった防災重点ため池の豪雨・耐震の調査をした結果、改修が必要なため池が増加したため、優先順位を付けて計画的に改修する必要がある。	方向性	農業生産基盤の整備により、農業生産性の向上および農業所得の増大を実現するため、県営事業を積極的に活用しながら整備や老朽化した施設の更新を進めていく。
----	--	-----	--

産業経済部農林基盤整備課 国・県土地改良事業負担金

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～7月	島根県との費用負担協議、同意		
	10月	前期負担金の納付		
	3月	県工事完了、後期負担金の納付		

本事業に関する主要データ									
【県営事業 一覧表】									
補助事業	地区名	工種	事業期間	R1	R2	R3	R4	R5	R6
県営水利施設等保全高度化事業	西潟ノ内	排水機場整備	H30～R5	調査・設計・工事					
	損屋第二	用水加圧ポンプ 改修	H30～R3	調査・設計・工事					
経営体育成基盤整備事業 （農業競争力強化農地整備事業、 農地中間管理機構関連農地整備事業）	新庄	ほ場整備	H30～R7	調査・設計・工事					
	西谷上		H30～R6	調査・設計・工事					
	古曽志		R2～R7		調査・設計・工事				
	大野		R3～R8			調査・設計・工事			
	西長江		R6～						調査・設計・工事
県営ため池等整備事業	井頭2号	ため池改修	R1～R4	調査・設計・工事					
	寺領		R2～R6		調査・設計・工事				
	小谷奥		R5～R7					調査・設計・工事	
	高畑下		R6～R8						調査・設計・工事
	義王		R6～R8						調査・設計・工事
	山崎		R6～R8						調査・設計・工事
県単基幹水利施設緊急修繕事業	東潟ノ内	排水機修繕	H29,R1,R3	工事		工事			
	西潟ノ内	排水機修繕	R1～R6	工事					
	西浜佐陀	用水機修繕	R1	工事					
	損屋加圧機3号	加圧ポンプ 修繕	R2		工事				
	昭和新田	排水機修繕	R2		工事				
	西浜佐陀	パイプライン修繕	R3			工事			
国営造成施設管理事業 （基幹水利施設管理事業）	損屋干拓水源機場	水源ポンプ 修繕	R3			工事			
	損屋	排水機場管理	H26～R8	排水機場管理					

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	225,090		
事業費計		225,090	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	ふるさと農道緊急整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産物及び農業用資材の輸送・運搬時間短縮による農業経営の合理化と生活道路ならびに緊急避難道路として整備することによる生活環境の改善を図るため。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		上根尾上農道整備延長（m）	24	95	80	900
	目標（何を達成するのか）	上根尾上農道整備率（%）	23.4	34.0	42.9	100
	農業生産性の向上と市民生活の安心・安全の確保					

事業概要	集落間の狭小な農道を整備し、農作物輸送と農業用資材運搬の時間短縮による農業経営基盤の合理化を図るとともに、生活道路・緊急時の避難道路として整備し、生活環境の改善と市民生活の安心・安全の確保に資するもの。 上根尾上農道 全整備延長L＝900m 笠白農道 全整備延長L＝257m（R1完成）
------	---

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	上根尾上農道 ：改良工事L＝24m		上根尾上農道（R4年度） ：埋蔵文化財調査 ：改良工事L＝95m	上根尾上農道（R6早着） ：改良工事L＝100m
	達成度		上根尾上農道（R5早着） ：埋蔵文化財調査報告書作成 ：改良工事L＝80m	
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		25,830	47,489
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	23,200	33,100
	その他	0	0
	一般財源	2,630	14,389
歳入合計		25,830	47,489

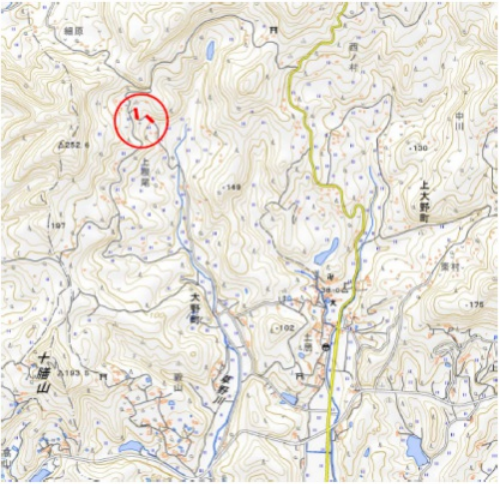
課題	上根尾上農道は、地すべり区域内での事業であり、現場状況に応じ、対策をとりながらの施工となることから、工期の延伸と事業費の増加が想定される。	方向性	工事の安全性を確保しながら、早期の全線開通に努める。
----	---	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

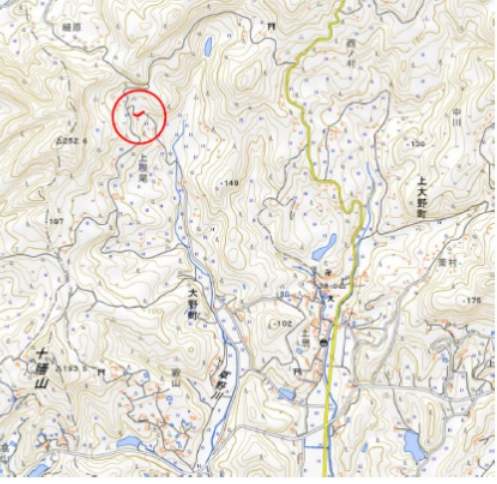
R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	工事発注		
	11月	工事完了		
	1月	埋蔵文化財調査		
	3月	工事発注（早着）		

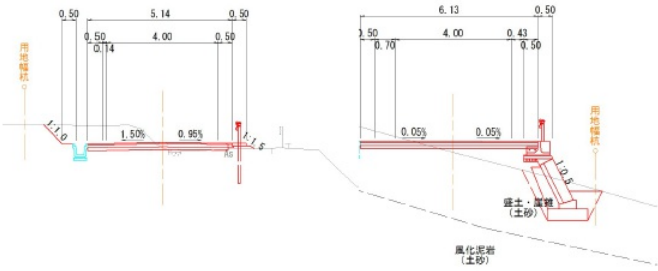
本事業に関する主要データ

工事名：上根尾上農道改良その5工事



工事名：上根尾上農道改良その6工事





共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	10,669		
工事請負費	36,820		
事業費計		47,489	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	有害鳥獣駆除対策補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	有害鳥獣から農作物を守り、被害を減少させる。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		有害鳥獣イノシシの捕獲頭数（頭）	1,224	706	1,000	1,000
	目標（何を達成するのか）	鳥獣侵入防護柵設置延長（m）	34,442	32,000	36,000	36,000
	イノシシ、ニホンジカなど有害鳥獣の捕獲（個体数調整）、および耕作地の被害防護柵の設置を行い、農作物被害を減少させる。					
		農作物の被害額（千円）	5,830	4,420	3,978	3,978

事業概要	イノシシ・ニホンジカ・アナグマ等の有害鳥獣による農作物被害を防止 ①捕獲（駆除）員に捕獲（駆除）の活動依頼 ②捕獲（駆除）員による有害鳥獣捕獲奨励金 ③農業従事者が設置する防護柵の設置支援 ④松江市鳥獣被害対策実施隊の活動支援 ⑤捕獲（駆除）員になるための狩猟免許取得支援 松江市有害鳥獣捕獲事業補助金交付要綱 松江市有害鳥獣被害防除施設整備事業補助金交付要綱 松江市鳥獣被害対策実施隊活動事業補助金交付要綱 松江市狩猟免許取得促進事業補助金交付要綱
------	--

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	有害鳥獣捕獲 イノシシ1224頭、ニホンジカ30頭、アナグマ156頭。 防護柵購入補助 新規83件、延長18,544m 狩猟免許取得促進16人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長15,898m		有害鳥獣捕獲 イノシシ706頭、ニホンジカ25頭、アナグマ143頭。 防護柵購入補助 新規84件、延長19,000m 狩猟免許取得促進12人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長13,000m	イノシシ1000頭、ニホンジカ35頭、アナグマ200頭。 防護柵購入補助 新規90件、延長16,000m 狩猟免許取得促進12人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置10か所、延長20,000m
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		26,623	20,608
財源内訳	国・県支出金	5,516	4,294
	地方債		
	その他		0
	一般財源	21,107	16,314
歳入合計		26,623	20,608

課題	有害鳥獣による農作物被害は、市全域に広がりを見せている。 被害防除、捕獲駆除対策をしているが農作物の被害報告は無くならない。	方向性	引き続き、有害鳥獣の捕獲と防護柵の設置に対する支援を行い、併せて、国の交付金を利用した広域防護柵の設置を地域住民と協議しながら行っていく。また、今後は地域研修会を通じ、住民に鳥獣被害対策への意識を高め、地域の対策リーダーや捕獲員の人材確保、育成を行う。さらに捕獲した有害鳥獣の利活用として、イノシシ肉の資源化の普及啓発に力を入れる。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～9月	個人設置防護柵受付	6月～12月	個人設置防護柵補助金支払
	4～10・3月	有害鳥獣捕獲確認	3月	狩猟免許取得促進事業補助金支払
	随時	広域防護柵受付		
	随時	鳥獣被害相談対応		

本事業に関する主要データ

被害金額

年度	被害金額
H30被害金額	6,300
R1被害金額	4,100
R2被害金額	4,600
R3被害金額	5,800

鳥獣別被害

鳥獣種別	被害金額
イノシシ	6,300
カル	5,200
スズメ	100
カラス	100
シカ	100
タヌキ	100
スーテリヤ	100
アナグマ	100
その他	100

【鳥獣被害防止地域研修会】

【ジビエ普及イベント】

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	20,608		
事業費計		20,608	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	県営事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林整備計画に基づき、林業専用道上来待線の開設により、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		林業専用道上来待線完成延長（累計）（m）	319.3	448.2	1,348.2	8,360
	目標（何を達成するのか）					
	・森林資源の開発 ・地域における生活環境の整備					

事業概要	森林資源の開発と地域における生活環境の整備のため、県営林道北山線及び県営林業専用道上来待線に係る経費の１０％を負担するもの。
	林業専用道上来待線 総延長8.36km 幅員3.5m 内訳）1工区3.20km 2工区1.90km 3工区3.26km

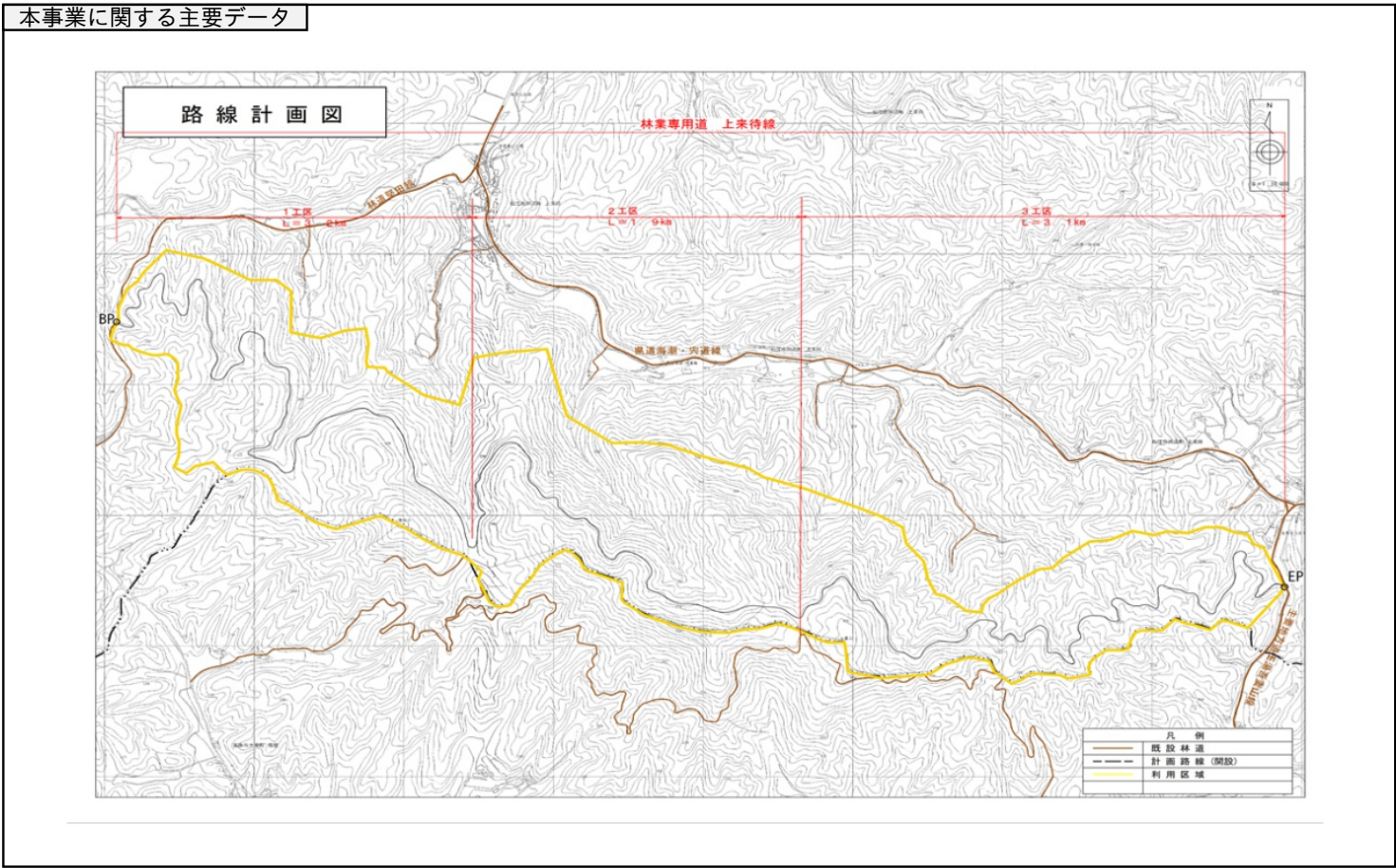
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	・林業専用道上来待線（3工区） 単年L=102.0m、累計L=319.3m（開設工事）	・林業専用道上来待線（3工区） 単年L=128.9m、累計L=448.2m（開設工事）	・林業専用道上来待線（3工区） 単年L=900m、累計L=1,348.2m（開設工事）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	4,000	4,000
	国・県支出金	0	0
	地方債	4,000	4,000
	その他	0	0
	一般財源	0	0
歳入合計		4,000	4,000

課題	林道整備の促進により、森林整備面積を計画的に増加させることが求められる。	方向性	林業専用道上来待線において、計画的な整備を実施し、R11年度までに全線開通を目指す。林道の供用開始区間により計画的に森林資源の活用を図る。
----	--------------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	当該年度実施承諾		
	10月	負担金第1回支払い		
	3月	負担金第2回支払い		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計		4,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	林道開設事業費（補助）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	林道及び林業専用道を開設することにより、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		林業専用道朝酌大海崎線累計完成延長（m）	0	0	800	3,400
	目標（何を達成するのか）	林業専用道朝酌大海崎線開設（W=3.6m）全延長3,400m				

事業概要	松江市森林整備計画に基づき実施する。 林業専用道を開設することにより、効率的な林業の施業を可能とし、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。 林業専用道朝酌大海崎線 事業計画期間R3～R9 延長L=3,400m 幅員W=3.6m
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	・ 詳細設計 L=3,400m	・ 環境調査業務 N＝一式 ・ 補償調査業務 N＝一式 ・ 用地測量業務 N＝一式	・ 開設工事 L=800m
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	38,380	50,500
	国・県支出金	19,000	25,000
	地方債	17,400	22,900
	その他	0	0
	一般財源	1,980	2,600
歳入合計		38,380	50,500

課題	当該地内には適正伐期齢を迎える良質な材木資源が存在するが、森林施業を効果的かつ効率的に実施するための路網が存在せず大型機械の山林内への進入が困難なため、コスト増及び材木資源の安定供給が困難である。	方向性	朝酌町と大海崎町を結ぶ林業専用道を開設することで、大型機械を導入し集約化と路網整備を進展させて低コスト化を図り、効果的かつ効率的な森林経営の確立及び市産材の安定供給体制の構築に資する。
----	--	-----	--

産業経済部農林基盤整備課 林道開設事業費（補助）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～8月	測量調査設計業務	2月	R5年度事業ヒヤリング
	8月	林野庁設計協議、地元説明	3月	補助金検査
	8月～11月	用地調査業務		
	11月～2月	立木調査業務、環境調査業務		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	41		
需用費	459		
委託料	50,000		
事業費計		50,500	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	林道点検診断・保全整備事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	個別施設計画を策定し、林道施設の適切な維持管理を図るため。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		橋梁点検診断（橋）	0	1	1	30
	目標（何を達成するのか）	トンネル点検診断（箇所）	0	0	0	2
	既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画に基づき、点検診断、補修及び更新等を実施する。					
		保全整備事業（橋、トンネル）	2	0	0	

事業概要	既設林道の橋梁やトンネル等について、個別施設計画を策定するための点検診断、並びに個別施設計画に基づき実施される点検診断及び補修、更新等を実施するもの。
	林道橋梁・トンネル点検診断（対象：橋梁4m以上、トンネル、その他重要な施設）
	林道橋梁 全35橋 うち対象30橋
	トンネル 全2箇所 うち対象2箇所
	令和元年度：点検診断（2橋、2トンネル）、保全整備（諸喰橋1橋） 令和2年度：点検診断（5橋）、個別施設計画策定 令和3年度：保全整備（新馬見谷橋 1橋、諸喰トンネル 1箇所） 令和4年度予定：点検診断（雲津大橋1橋）

事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	保全整備 ・橋梁保全整備工事 N=1橋 ・トンネル保全整備工事 N=1箇所		点検診断 ・雲津大橋点検診断業務委託 N=1橋		点検診断 ・雲津大橋点検診断業務委託 N=1橋（継続）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	5,599	4,200
	国・県支出金	2,754	2,100
	地方債	2,700	0
	その他	0	0
	一般財源	145	2,100
歳入合計		5,599	4,200

課題	整備後50年以上経過する橋梁が増加しており、耐久性、安全性の面で対策が必要になってきている。また、海風の影響を受けやすく、環境条件によっても老朽化の早さが異なるため、個別施設計画に基づいたそれぞれの条件に合う適切な維持管理が必要である。	方向性	林道の安全な通行を確保するため、個別施設計画に基づいて、林道施設の適切な維持管理を行い、長寿命化を図る。
----	--	-----	--

産業経済部農林基盤整備課 林道点検診断・保全整備事業

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	補助申請	2月～3月	事業完了検査（県）
	5月～6月	業務発注準備		
	7月～12月	点検業務 積算、発注、入札、契約		
	2月	R5年度事業ヒヤリング		

本事業に関する主要データ

林道橋梁・トンネル点検 スケジュール表	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	4,5,6	7,8,9	10,11,12	1,2,3	4,5,6	7,8,9	10,11,12	1,2,3	4,5,6	7,8,9	10,11,12	1,2,3	4,5,6	7,8,9	10,11,12	1,2,3
橋梁 対象30橋		点検 1橋 (※上部のみ)			点検 6橋 (※このうち1橋は下部のみ)					点検 11橋				点検 13橋		
				まとめ				まとめ				まとめ			個別施設計画更新	
トンネル 対象2ヶ所										点検 2ヶ所					個別施設計画更新	
												まとめ				

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,200		
事業費計		4,200	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	農業用ため池改良事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ため池堤防決壊等の事故から人命、財産を守るとともに農業用水の安定供給の確保のため、計画的に老朽ため池の改修と廃止を行い、適切な維持管理を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		ため池改修・補修工事数（池）	0	4	1	2
		ため池廃止工事数（池）	2	4	7	5
	目標（何を達成するのか）					
	ため池の破損個所の改修、不要となった池の廃止を行うことによる住民の安心・安全の確保と用水の安定供給を図る。					

事業概要	県営、団体営事業の対象とならない老朽ため池を県単ため池安全確保事業で整備する。決壊した場合に、下流の人家や公共施設等に影響を与える恐れがあるため池を農業水路等長寿命化・防災減災事業等により整備及び廃止する。
------	---

事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	(R3当初) 【ため池廃止】 2 池 ・炭焼谷池（東出雲町）工事 ・ダメ池（東出雲町）工事		【ため池廃止】 1池 ・古志池（古志原三丁目）境界確定 【ため池改修・修繕】 3池 ・長坂池（美保関町）工事 ・光谷池（鹿島町）工事 ・納田池（鹿島町）設計 (R3繰越分) 【ため池廃止】 10池 ・柿廻下池（古志町）設計＋工事 ・柿廻上池（古志町）設計 ・古道 2 号池（宍道町）工事 ・トサキ池（八雲町）設計 ・金山池（東出雲町）設計＋工事 ・トビガス池（宍道町）設計 ・清蔵池（八雲町）設計 ・宍道池（宍道町）設計 ・樋ノ口池（宍道町）設計 ・鏡谷池（東持田町）設計 【ため池改修・修繕】 3池 ・宇出下池（鹿島町）工事 ・一丁田池（玉湯町）設計 ・柴尾池（西尾町）工事	【ため池廃止】 7 池 ・トサキ池（八雲町）工事 ・トビガス池（宍道町）工事 ・柿廻上池（古志町）工事 ・宍道池（宍道町）工事 ・清蔵池（八雲町）工事 ・鏡谷池（東持田町）工事 ・樋ノ口池（宍道町）工事 【ため池改修・修繕】 1 池 ・一丁田池（玉湯町）工事
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		8,779	89,398
財源内訳	国・県支出金	8,770	50,011
	地方債	0	10,900
	その他	0	627
	一般財源	9	27,860
歳入合計		8,779	89,398

課題	整備・廃止の必要箇所が多数あり、優先順位をつけて実施する。 市街化区域内のため池は決壊による下流域への被害が大きく、早急な対応が必要であるが、廃止後の維持管理や跡地利用などの検討課題が多いため、市単独費により廃止を実施する必要がある。	方向性	ため池の健全度、決壊時の下流域への影響度等を考慮し、優先順位を決め各年度 2 池程度を目途に改修・修繕する。 ため池廃止は地元調整が整い、周辺の土地に影響を及ぼさない池から随時実施する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	交付申請	3月	改修工事完了
	6月	交付決定、廃止工事・廃止測量設計発注		
	7月	改修工事発注		
	10月	廃止工事完了、廃止測量設計完了		

本事業に関する主要データ	
【ため池廃止】 1池 ・古志池（古志原三丁目）境界確定 【ため池改修・修繕】 3池 ・長坂池（美保関町）工事 ・光谷池（鹿島町）工事 ・納田池（鹿島町）設計 (R3繰越分) 【ため池廃止】 10池 ・柿廻下池（古志町）設計＋工事 ・柿廻上池（古志町）設計 ・古道 2 号池（宍道町）工事 ・トサキ池（八雲町）設計 ・金山池（東出雲町）設計＋工事 ・トビガス池（宍道町）設計 ・清蔵池（八雲町）設計 ・宍道池（宍道町）設計 ・樋ノ口池（宍道町）設計 ・鏡谷池（東持田町）設計 【ため池改修・修繕】 3池 ・宇出下池（鹿島町）工事 ・一丁田池（玉湯町）設計 ・柴尾池（西尾町）工事	【ため池廃止工事施工例】（堤体開削） 

共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	30,821		
工事請負費	58,577		
事業費計		89,398	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	森林環境譲与税関連事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林の公益的機能の保全と林業の成長産業化	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江森林組合新規作業員（人/年）	1	2	1	1
	目標（何を達成するのか）	新植及び保育面積（ha/年）	55	97	90	90
	・民有林（私有林・市有林）整備の促進 ・木材の有効利用促進 ・林業を支える人材育成・担い手の確保 ・林業の普及啓発	森林経営管理制度再委託（件/年）	1	1	1	1

事業概要	温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された森林環境譲与税を活用し、松江市内の森林整備、林業担い手の育成・確保、木材の利用促進、林業の普及啓発に関する事業を実施する。
	○森林管理運営費・・・地域林政アドバイザー雇用経費や森林経営推進センターへの森林経営管理制度サポート業務委託経費、また、航空レーザ計測による森林資源解析業務及び森林経営管理制度施業区域調査選定業務委託など。 ○地域林業振興費・・・民有林整備の促進や林業の担い手育成・確保、木材有効利用促進、林業の普及啓発事業等への補助金など。
	○森林整備費・・・森林経営管理制度による私有林整備促進のための補助金など。 松江市の民有林面積 A=29, 028ha、うち人工林7, 422ha

事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金などの林業関係事業補助金の支出 ・航空レーザ計測による森林資源解析事業の実施 ・森林経営管理制度に基づく施業区域調査選定業務の実施（意向調査の実施） ・森林経営管理制度説明会の実施 ・森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託の実施（1件） ・森林学習の開催（小学校4校） ・木育活動（市内幼稚園・保育園へのクリスマスツリー配布）		・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金などの林業関係事業補助金の支出 ・航空レーザ計測による森林資源解析の実施 ・航空レーザ計測結果を活用した森林経営管理制度経営管理意向調査の実施 ・森林経営管理制度説明会の実施 ・森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託の実施 ・森林学習の開催（小学校5校） ・木育活動（市内幼稚園・保育園へのクリスマスツリー配布）		・林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金などの林業関係事業補助金の支出 ・航空レーザ計測による森林資源解析の実施 ・航空レーザ計測結果を活用した森林経営管理制度経営管理意向調査の実施 ・森林経営管理制度説明会の実施 ・森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託の実施 ・森林学習の開催（小学校4校） ・木育活動（市内幼稚園・保育園へのクリスマスツリー配布）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		63, 729	77, 389
財源内訳	国・県支出金	14, 049	0
	地方債	0	0
	その他	21	14, 062
	一般財源	49, 659	63, 327
歳入合計		63, 729	77, 389

課題	戦後からこれまで植栽されてきた人工林において、木材価格の低迷や担い手の減少、高齢化等により適切な森林整備が行われず、荒廃森林が増加することで、森林の公益的機能が損なわれている。その結果、山腹崩壊など、自然災害を招く一因となっている。	方向性	・森林経営管理制度を利用した私有林整備の促進。 ・森林環境譲与税を活用した森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発事業を行うことにより、「森林の公益的機能保全と林業の成長産業化」を図る。 ・森林環境譲与税の活用による新たな成果を積み上げていく。（例：林業事業体雇用数の増、森林整備面積、木材搬出材積の増、路網整備、普及啓発イベント回数等）。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	各種補助金申請受付、審査、交付決定、確認検査、支払い	12月	市内幼稚園、保育園へのクリスマスツリー配布
	4月～3月	森林経営管理制度対象森林調査選定、森林所有者交渉、事務手続き	5月	森林環境譲与税 事業費残額の基金積立
	4月～3月	航空レーザ計測による森林資源解析		
	9月～12月	市内小学校での森林学習開催		

本事業に関する主要データ						
森林環境譲与税 松江市配分額の推移						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6～
配分額（千円）	23,708	50,380	50,420	65,080	65,080	79,870
森林環境譲与税を活用した事業						
						
新植		間伐		松江バイオマス発電		
						
高性能林業機械		森林学習		クリスマスツリー配布事業		

共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1, 812	積立金	12
職員手当等	370		
共済費	354		
旅費	20		
需用費	47		
委託料	35, 434		
負担金補助及び交付金	39, 340		
事業費計		77, 389	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	農（水産）商工連携推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農林水産業者と商工業者の業種を超えた連携を促し、地域資源を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みの支援、経済の域内循環促進等により、地域産業活性化に資するもの。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		農水商工連携（新商品開発数）	84	87	90	103
	目標（何を達成するのか）					
	①事業者連携による新商品開発と販売促進 ②地場産品を素材とした商品の創出育成 ③地産地消、地産外商の推進 ④食・産業・体験の新たな観光素材づくり					

事業概要	①農林水産業（生産品）と中小商工企業（技術）を有機的に結びつけ、新商品の開発及び販売促進活動の支援を行う。 ②地域資源・地域産業を担う企業を知る取り組み、高校・大学と連携した新商品開発等を通じ、地域産業を担う人材の育成・交流を行う。 ③地産地消・地産外商推進に向けたPR、イベント出店などのほか、観光客による消費に着目した「食と観光」の素材づくりを行う。 （数値目標の目標年度） 項目名 農水商工連携（新商品開発数）：2029（R11）年度
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○マッチングの取組み ・地元生産者と商工業者とのマッチング ○新商品開発・販路拡大支援 ・松江トマトエール（クラフトビール）など7品目に対して開発費用を助成 ・マスコミに対し完成披露会やHPへの掲載などによる商品PR ・これまで開発支援した商品について、BtoB向けのパンフレットを作成 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、異業種交流会やイベント出展等を見合わせた。	○異業種間連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など） ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など） ○開発商品のPR（ホームページ、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など） ○開発商品販売事業者へのヒアリングによる既存の開発商品のブラッシュアップ	○異業種間連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など） ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など） ○開発商品のPR（ホームページ、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など） ○開発商品販売事業者へのヒアリングによる既存の開発商品のブラッシュアップ
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,800	2,234
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,800	2,234
歳入合計		1,800	2,234

課題	①開発した商品の販売や販路開拓の支援強化（「できたものを売る」から「求められるものを売る」への転換） ②地域産業活性化のため、新商品開発、販売促進、生産振興、担い手育成、6次産業化、食と観光等を一体的に調整、推進する体制の構築	方向性	①消費者ニーズや最新技術、トレンドの把握等のほか、事業者及び職員のスキルアップの機会の提供に努めるとともに、従来からの支援方法の見直し・検討を進めていく。 ②商品開発にあたり、販売店や専門家などのアドバイスを受けられる体制を検討する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	6次産業化や農水商工連携による地域経済の活性化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	協議会総会	通年	産学官連携支援
	11月	事業者研修会・交流会		
	通年	異業種連携支援、新商品開発支援		
	通年	物販イベント出展（市内外）		

本事業に関する主要データ

【農(水産)商工連携事業について】

★生産者
農家・漁師etc.

★商工業者
製造業・小売業etc.

異業種間の連携

高付加価値の新商品の開発

○新たな市場の創出
○農林水産業・商工業の経営向上
○地域の雇用・就業機会の拡大

地域経済の活性化

マッチング、商品開発支援、販路拡大支援 等

まつえ農水商工連携事業推進協議会

【協議会が開発支援した商品について(例)】

赤貝カレー

中海漁協 X カレー工房ダーニャ

くにびきカボチャパンプキンエール

JAくにびき X 大根島醸造所

福のかき

まる福農園 X 福田屋

共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	434		
負担金補助及び交付金	1,800		
事業費計		2,234	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光宣伝広告経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の多彩な観光素材を活用した情報発信を通して観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江観光大使制度を活用した観光PR、県外PR活動、観光パンフレット作成、キャラクター「松江の吉田くん」を活用したPRなどを実施。

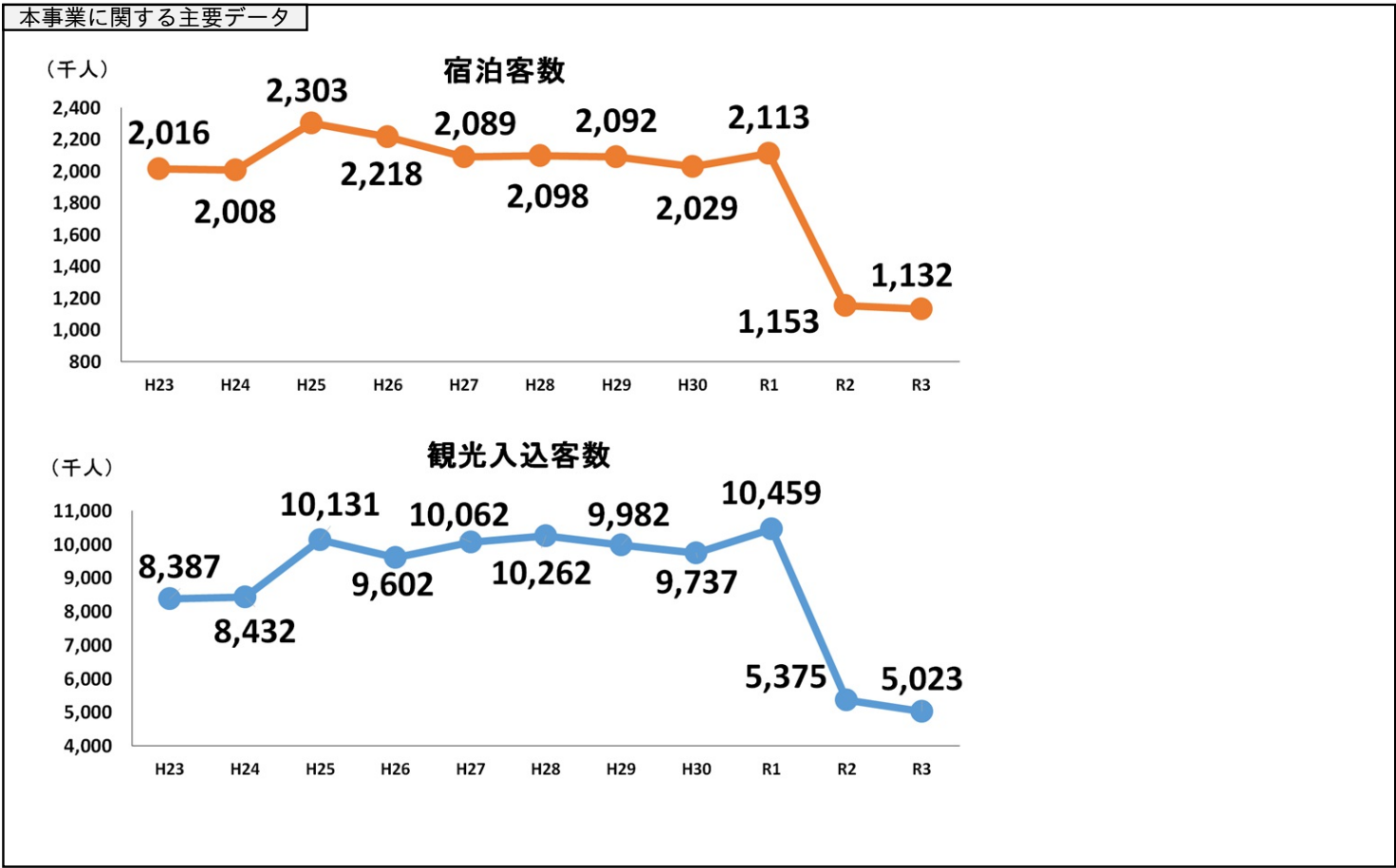
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		4,190	4,965
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,190	4,965
歳入合計		4,190	4,965

課題	○観光大使制度の効果的な活用を検討する必要がある	方向性	○観光大使に松江市との関わりを深めていただく仕組みを検討する

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	「松江らしさ」を活かしたプロモーション		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	343		
需用費	2,575		
役務費	1,038		
委託料	397		
使用料及び賃借料	612		
事業費計		4,965	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光協会運営補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の観光振興を図る為、国宝松江城など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施し、本市と連携しての事業推進を行う。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	本市の観光振興を目的とする（一社）松江観光協会に対し、事業及び人件費の補助を行う。 ホームページ、SNSによる情報発信や、旅行会社への商品造成の働きかけ、県外イベントへの出展などのプロモーションを強化する。 様々な施策を観光協会と連携して実施し、観光消費額の拡大、観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人の実現を目指していく。

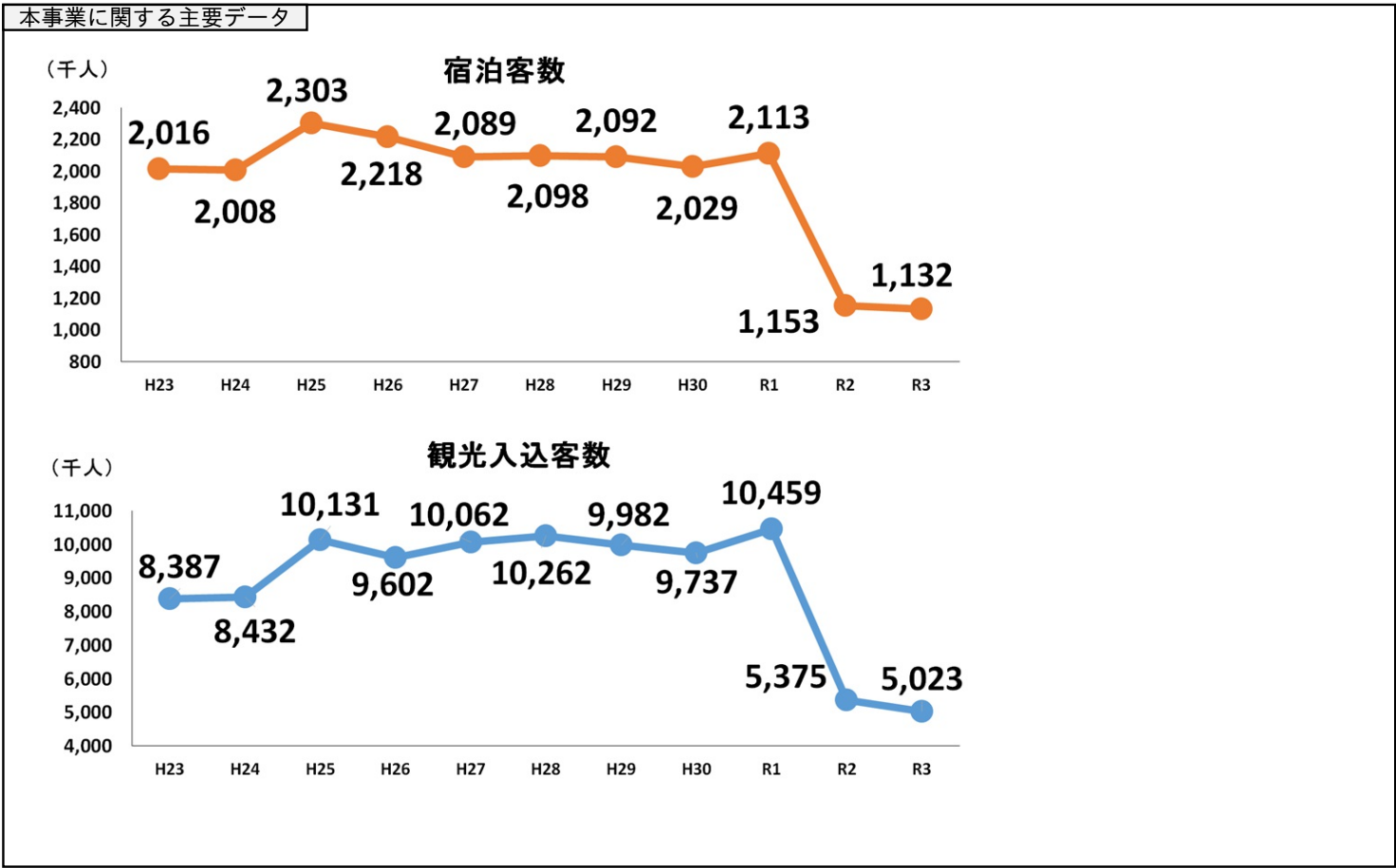
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行商品造成、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド・観光客おもてなし事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営 ○郷土行事運営事業	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行商品造成、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド・観光客おもてなし事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営 ○郷土行事運営事業	○情報発信・宣伝広告事業 ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 ・観光情報説明会への参加、旅行商品造成、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド・観光客おもてなし事業 ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 ・松江水燈路等各種イベントの運営 ○郷土行事運営事業
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		115,380	135,202
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	90,000	100,000
	一般財源	25,380	35,202
歳入合計		115,380	135,202

課題	○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行っていくため、統計データに基づくマーケティング機能など組織強化が求められる。 ○行政と観光協会の役割分担を明確化し、自立性を高めていく必要がある。	方向性	○松江市の観光推進体制のあり方についての検討を進め、組織と機能強化につなげていく。 ○コロナ感染症の影響下においても持続可能な観光イベント、観光客受入のあり方を研究し実現していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	情報発信、観光プロモーション、郷土行事、受入体制の整備		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	135,202		
事業費計		135,202	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光需要V字回復事業費（新型コロナ対策事業）（観光文化課分）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要のV字回復を目指し、地域の再活性化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	コロナ禍の2年間は本市の観光事業者の事業継続と早期回復を目指し、即効性のある宿泊割引などを中心に施策展開をしてきた。令和4年度は、引き続き、コロナ禍の状況を見極めながら即効性のある施策を展開するとともに、交通機関や旅行業界と連携したプロモーション、旅館組合が行う誘客企画への支援、メディアを活用した情報発信を実施し、観光需要のV字回復を目指す。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		【即効性のある宿泊割引キャンペーン】 ○ネット系旅行会社を活用した情報発信と宿泊割引 ○姉妹都市と連携した市民限定宿泊割引とPR 【誘客強化対策プロモーション】 ○観光マーケティング・包括プロモーション ○JATA（日本旅行業協会）連携プロモーション ○交通機関連携プロモーション ○旅館ホテル組合の独自誘客企画の助成 ○魅力発信動画制作事業 ○フィルムコミッション連携事業	
	達成度		

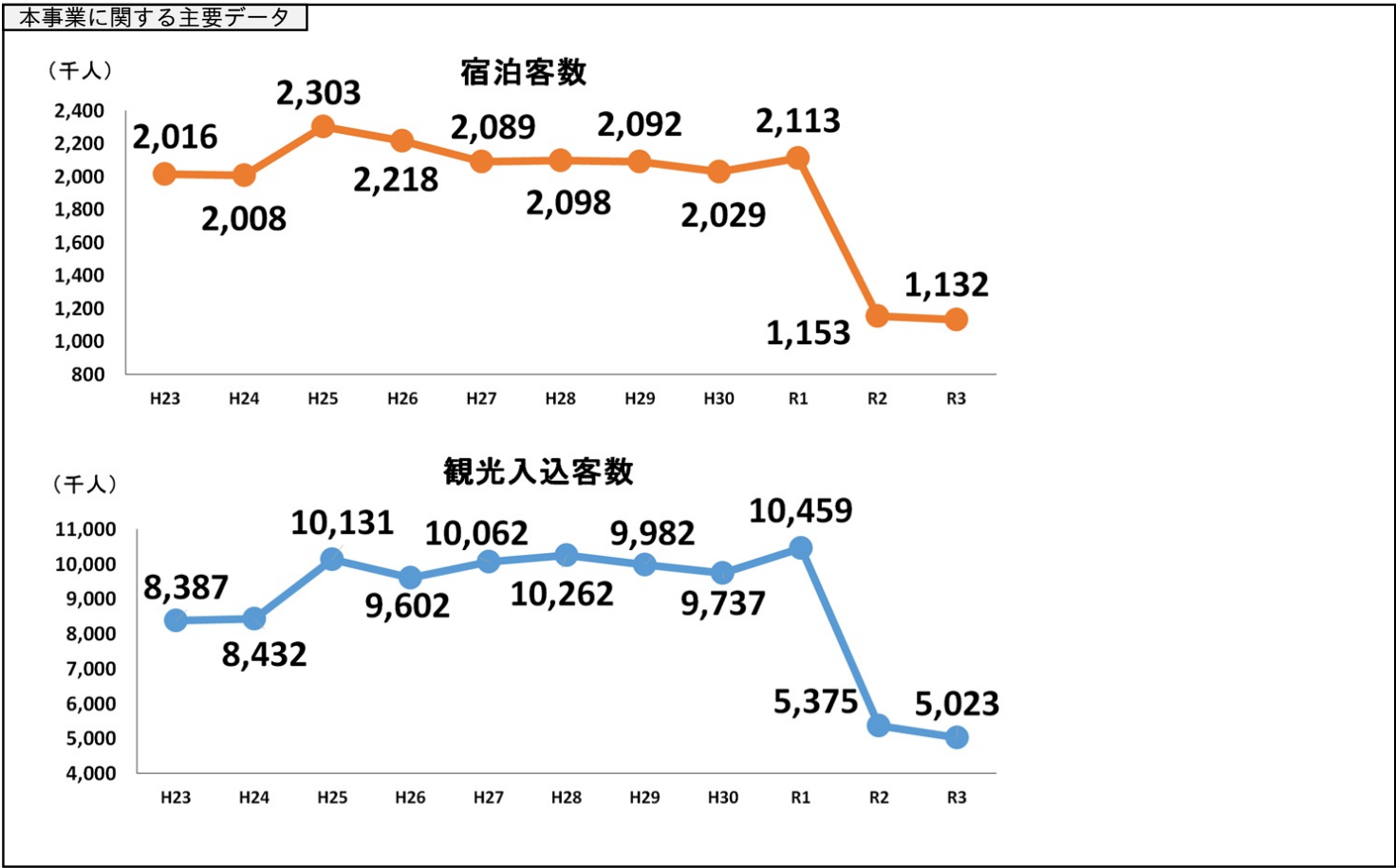
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			180,000
財源内訳	国・県支出金		180,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	0
歳入合計		0	180,000

課題	○コロナ禍の状況を見極め、適時適切な施策を展開する必要がある。 ○アフターコロナを見据え、将来にわたるブランド力向上を図る必要がある。	方向性	○新型コロナウイルスの感染状況や変動する旅行動向を把握しながら、スピード感を持ち、効果的な施策展開を行う。 ○松江の魅力発信を強力に推し進め、観光需要の早期回復を目指すとともに、アフターコロナを見据え、ブランド力を向上させていく。
----	--	-----	--

観光部観光振興課 観光需要V字回復事業費（新型コロナ対策事業）（観光文化課分）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	各事業実施		
	随時	検証		
	11月	次年度予算検討		
	3月	実績報告		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	180,000		
事業費計		180,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費（企業人材活用）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中海・宍道湖・大山圏域の歴史、文化、自然、食など多彩な観光資源を活用し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江市宿泊者数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	松江市観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年 ①本事業は総務省の地域活性化企業人制度（企業人材派遣制度）を活用することから、松江市が受入自治体として企業から人材を受入れ、（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣する。 ②中海・宍道湖・大山圏域観光局は、専門知識、旅行業のノウハウ、人脈を生かし、圏域の観光資源を活用した観光誘客を図るもの。 ○人材派遣元企業：旅行会社 ○受入期間：1年（令和4年度。最長令和6年度まで延長あり） ○経費：負担金5,600千円（特別交付税措置あり）
------	---

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進
	達成度		

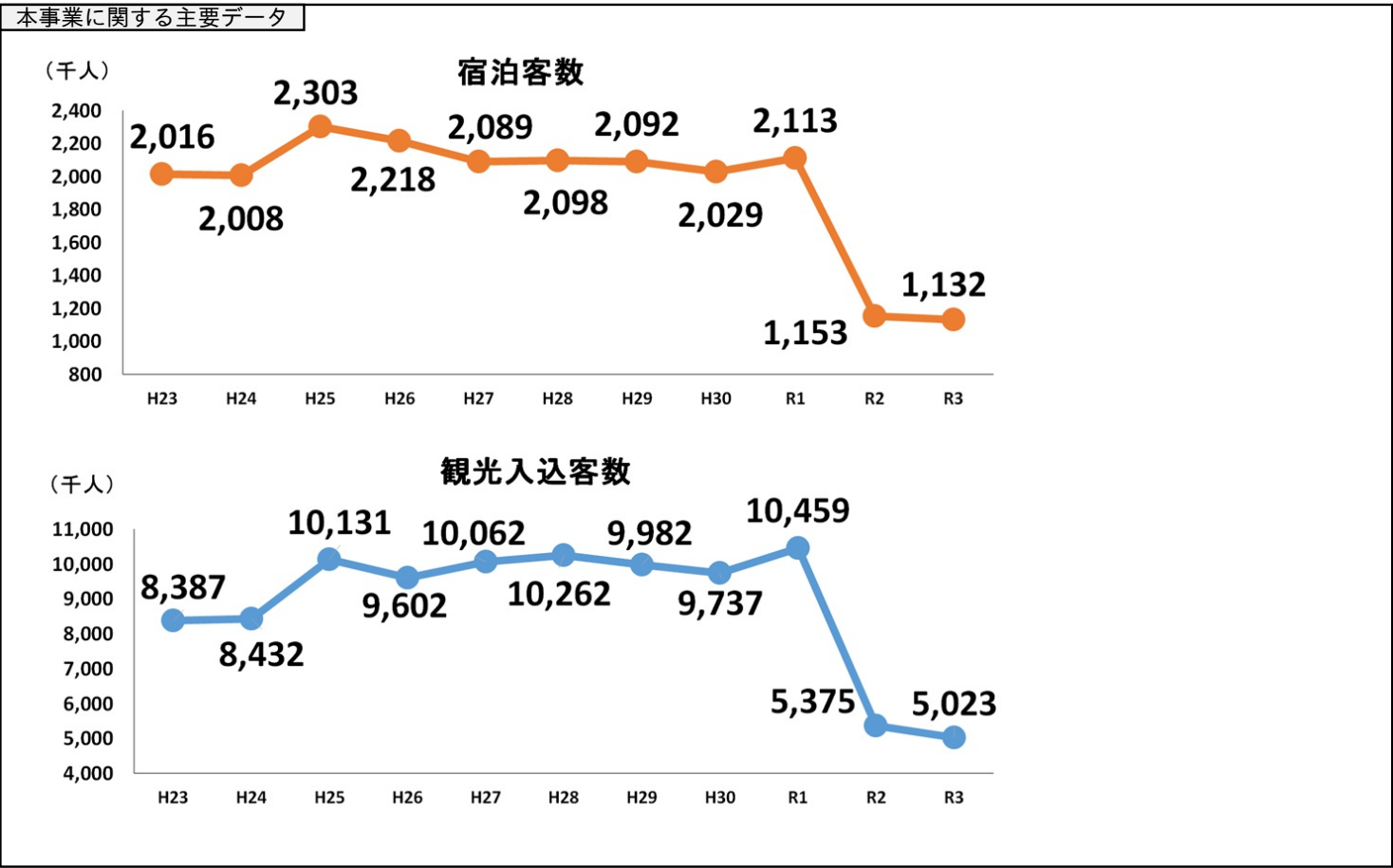
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	5,600
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	5,600
歳入合計		0	5,600

課題	○圏域への国内外からの誘客を促進するため、観光資源の掘り起こしやテーマ性・ストーリー性の構築などを図る必要がある。	方向性	○旅行会社のノウハウを生かし、国内外の観光マーケットや旅行ニーズの把握、圏域の潜在する観光資源の掘り起こし、活用を通して誘客を図る。
----	---	-----	--

観光部観光振興課 広域観光推進事業費（企業人材活用）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	3月末	圏域包括的パートナーシップ協定締結（予定）		
	4月～	プロジェクトスタート		
	随時	検証		
	3月	実績報告		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,600		
事業費計		5,600	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	国宝松江城観光誘客対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図るほか、松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図る。	項目（成果指標） 年間宿泊客数（万人）	R3実績見込 113	R4計画 169	R5計画 190	目標値 250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	○国宝松江城への観光誘客の推進。 ○宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	○国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図る ○松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図るため、誘導案内看板の設置と警備委託及び繁忙日の観光客の安全確保を行う ○GWに交通規制に伴う誘導及び警備を実施する ○繁忙期には無料臨時駐車場を開設する ○松江城周辺駐車場の満空情報を車載型カーナビやスマートフォンのカーナビ等に情報提供して観光客の利便性向上を図る

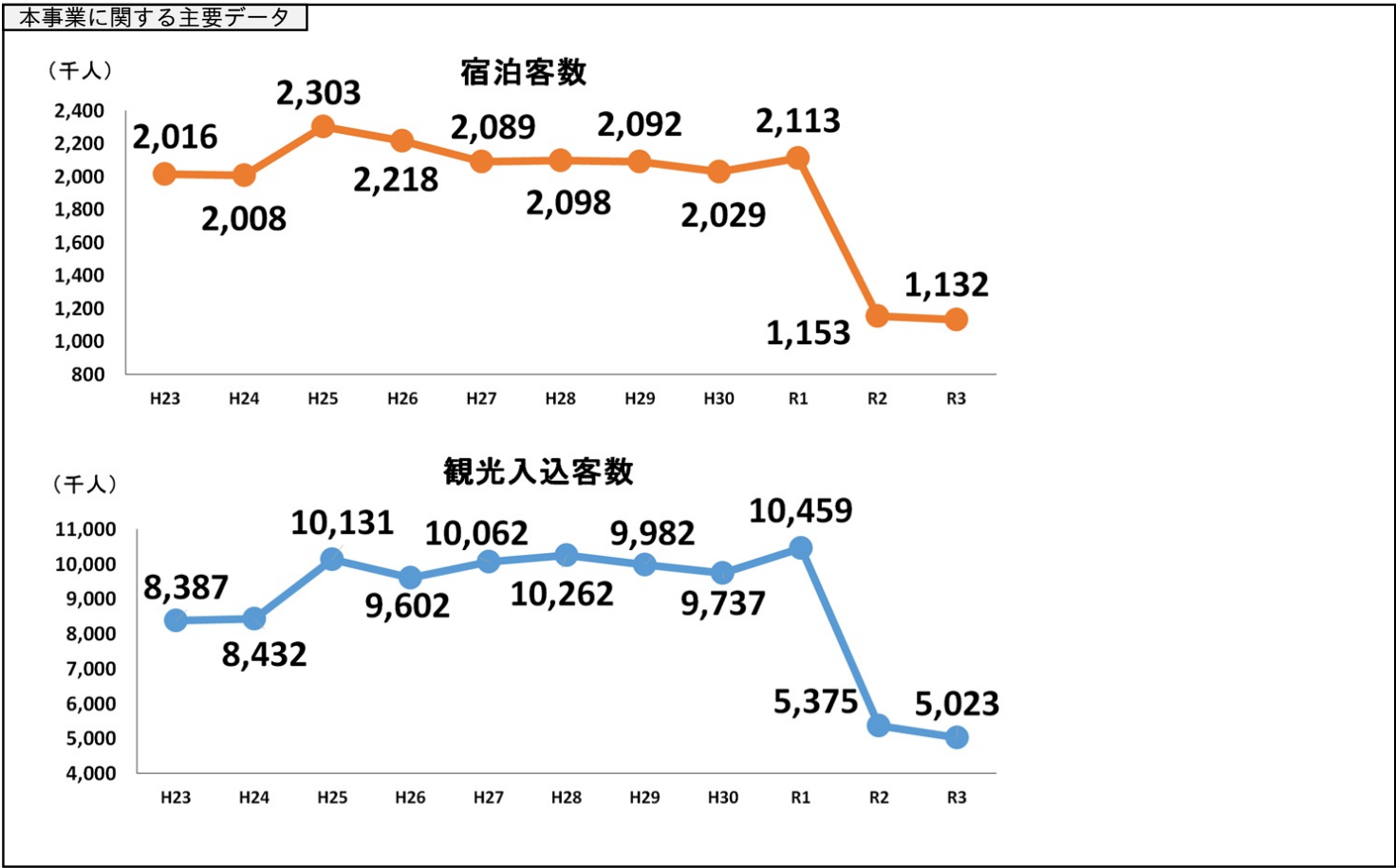
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○オンラインによる国宝城郭都市観光協議会での意見交換や、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○新型コロナウイルス感染拡大による観光客の減少及び感染予防対策のため、GW期間中の交通規制及びシャトルバスの運行を中止 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 ○松江城周辺駐車場への誘導看板の更新		○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の交通規制看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 ○松江城周辺駐車場への誘導看板の更新		○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の交通規制看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 ○松江城周辺駐車場への誘導看板の更新	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		6,886	9,431
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	6,886	9,431
歳入合計		6,886	9,431

課題	○松江城の国宝化を活かした更なる認知度向上。 ○大手前周辺の交通渋滞緩和のため、引き続きスムーズな駐車場への誘導が必要。 ○駐車場の満空情報システムをより広く周知し、事前に駐車場を分散できるような仕掛け作りが必要。	方向性	○国宝城郭都市観光協議会に参画する他の国宝4城と連携したプロモーションを実施することで、国宝松江城の認知度の向上を図る。 ○松江城周辺の駐車場を有効に活用し混雑の緩和を図るため、誘導や警備を実施するほか、駐車場情報を観光客に提供する。 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報発信の充実を図る。 ○大型連休など繁忙日の無料臨時駐車場開設により交通渋滞の緩和を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～11月	松江城周辺駐車場警備体制	2月	国宝城郭都市観光協議会 担当課長会
	5月	GW対策	3月	松江城周辺駐車場警備体制
	7月～9月	連休対策	通年	松江城周辺駐車場満空情報配信
	8月	国宝城郭都市観光協議会 総会		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	60		
委託料	8,395		
使用料及び賃借料	476		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計		9,431	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	JRとの連携強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の地域資源を活かして、JRを利用した観光誘致への取り組みと駅を核としたまちづくりを促進する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（目標数値の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	JR西日本米子支社と平成25年8月に締結した「地域振興のための連携協力に関する協定」にもとづき松江市の地域資源を活かした観光誘致への取組と駅を核とした魅力あるまちづくりを促進するため、JR京阪神主要駅において、JR松江駅、島根県、出雲市等と協働で誘客パンフレットの配布を行って、さらに無償でポスター掲示やパンフレットの設置を依頼している。 また、JR松江駅において、観光客のおもてなしを充実させるため待合室西側トイレのトイレットペーパーの提供を行うもの。

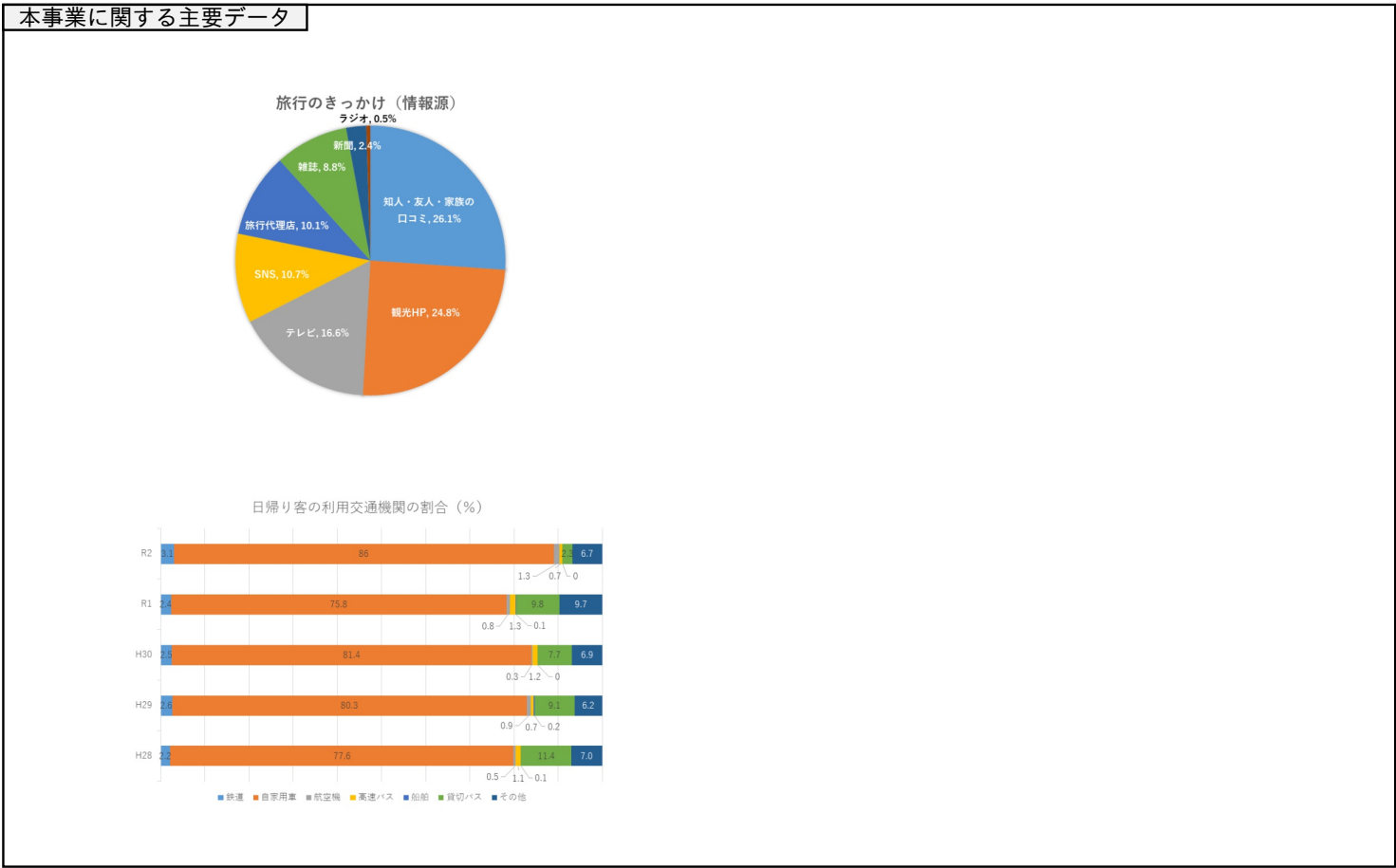
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う（令和3年度はコロナにより中止） ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給 ※銀河：令和3年3月26日～6月26日（第二期運行） ※瑞風：令和3年4月15日～令和4年3月31日（9月まではコロナにより一部運休）	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレットペーパー支給
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		766	1,824
財源内訳	国・県支出金		581
	地方債		
	その他		
	一般財源	766	1,243
歳入合計		766	1,824

課題	○連携協定を活かした効果的な観光PRの継続と拡大 ○島根県、中海・宍道湖・大山圏域市長会との連携強化 ○JR松江駅でのおもてなしの充実	方向性	○京阪神主要駅観光PRキャラバンなど 連携した誘客を継続して実施 ○松江駅を中心とした観光案内やおもてなしの充実を図ることで国際文化観光都市としてのイメージアップ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～9月	銀河おもてなし		
	通年	瑞風おもてなし		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	126		
需用費	535		
委託料	1,163		
事業費計		1,824	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光マーケティング事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光マーケティングによる観光施策のPDCAサイクル確立を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	観光施策におけるPDCAサイクルを確立し、観光宿泊客数250万人及び観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	島根県が実施している「観光動態調査」のうち、松江市分のデータ提供を受け、観光客の動向を分析・検証するため、松江市版の観光動態調査を行い、今後の観光施策を計画・立案するための基礎資料とする。 また、蓄積したデータを活用し、観光マーケティングによる戦略的かつ効果的な観光施策を実施し、PDCAサイクルの確立を図る。

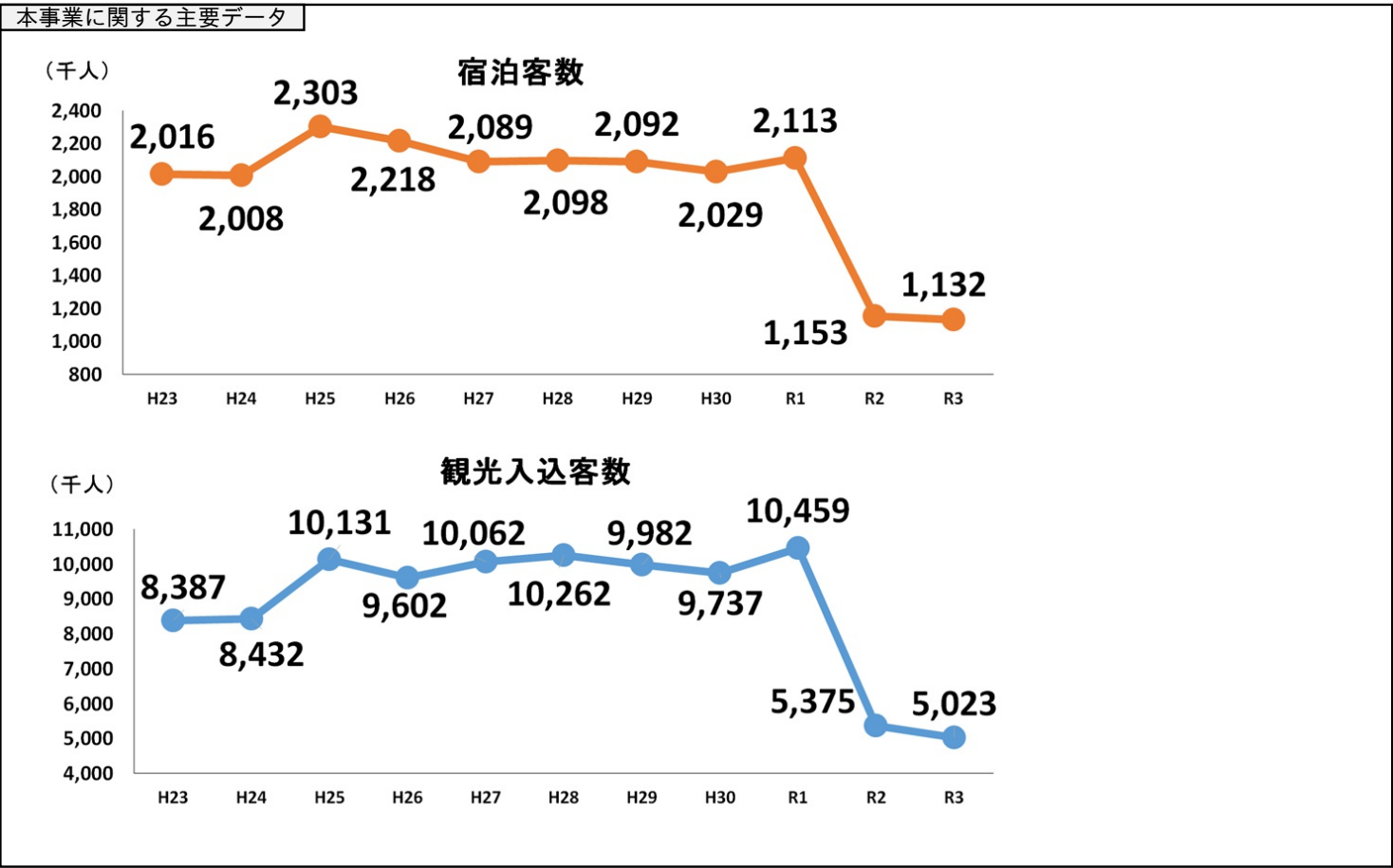
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		939	987
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	939	987
歳入合計		939	987

課題	○観光動向、変化する旅行スタイルやニーズを的確に捉え、観光施策に反映させる必要がある。	方向性	○マーケティングにより、効果的な施策を展開していく。
----	---	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	観光動態調査実施		
	//	マーケティング（市場調査・分析）		
	//	観光白書作成		
	//	IOTセンサー実証事業実施		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	90		
委託料	897		
事業費計		987	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町 A R ・ V R 体験環境整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）技術を活用したアプリケーションを提供する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	松江城を中心に城下町の魅力・情報を紹介するAR・VR技術を活用した多言語対応アプリケーション提供するために、保守・管理業務を委託するもの。 また、令和2年度に作成した「VRスコープ」を、観光協会や周辺観光施設に販売委託するもの。 (1) 既存のアプリの保守・管理 (2) V R スコープの販売委託

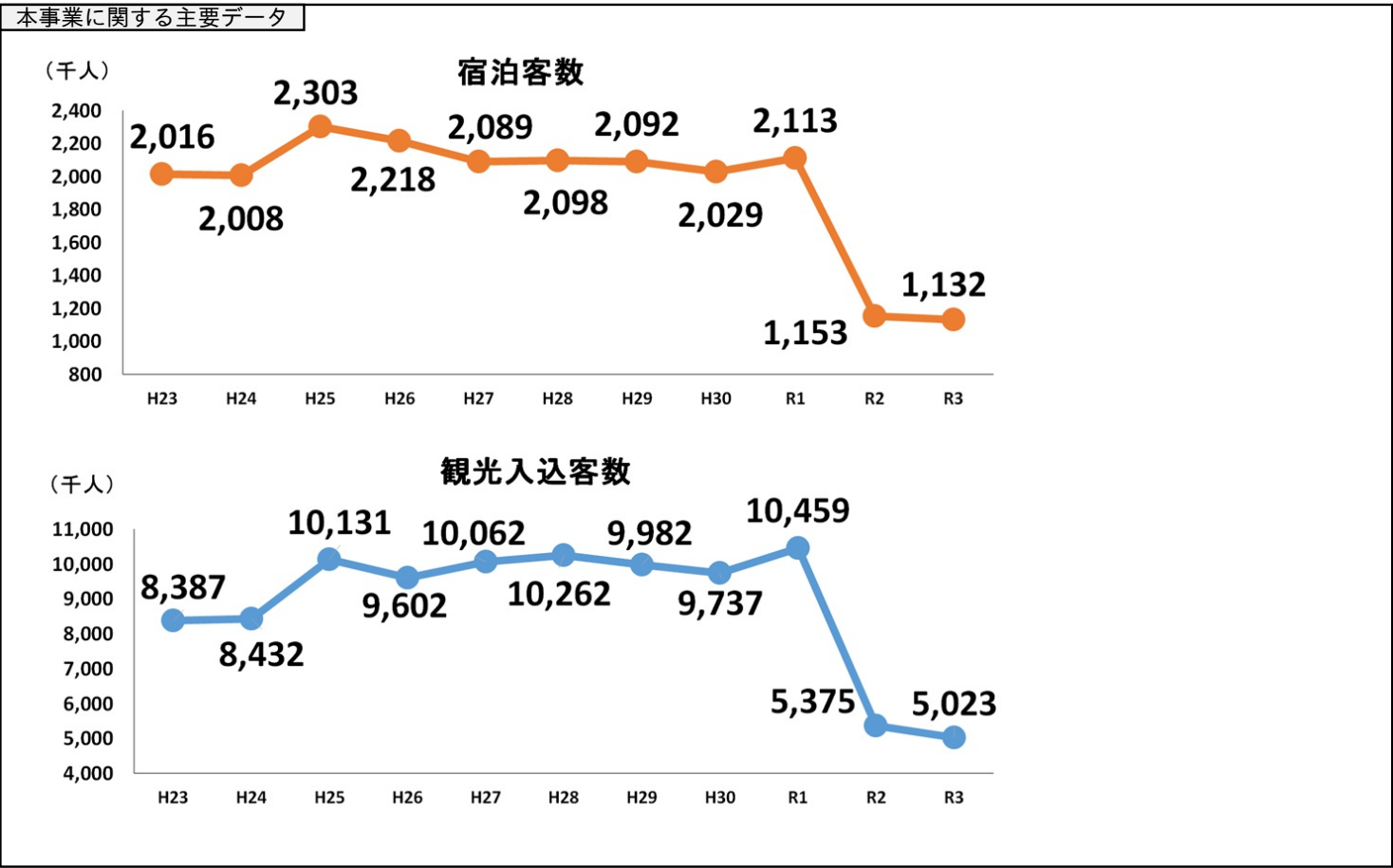
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	1. アプリの利活用に向けた広報 ・新聞、メディアでの広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R 周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 （令和3年4月～令和4年3月実績） V R ツアー体験者数：延べ約1,386名 松江城ページ閲覧数：延べ約7,285名 5. VRスコープの販売	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R 周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売	1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. A R 周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,045	1,430
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		80
	一般財源	1,045	1,350
歳入合計		1,045	1,430

課題	○海外・国内の観光客の方にとって使いやすく魅力的なアプリ・コンテンツを構築し、多くの方に利用いただき、松江城天守への登閣者数、塩見縄手周辺の観光施設への周遊に繋げる工夫を盛り込む必要がある。 ○登閣者数に対するアプリ利用者の割合が低いので、アプリ自体の認知度向上をしていく必要がある。	方向性	○海外・国内向けの効果的なプロモーションを実施する。 ○利用者増に向け、ボランティアガイドや観光協会ガイド事業等と連携し、幅広い利活用を図る。 ○新型コロナウイルスの影響で県外誘客やインバウンドがままならない昨今、市民や県民にも再度松江城の歴史的価値や構造的特徴を知ってもらうために周知していく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	アプリ提供		
	通年	VRスコープ販売		
	通年	広報		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,430		
事業費計		1,430	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光文化課分）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模であり、多様な産業や国内外につながる交通・物流インフラを有している。これらの高いポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代表する拠点づくりを進める。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江市宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域観光局が実施する観光振興事業に対する負担金 ○国内誘客対策事業（国内観光プロモーション、三大都市圏等への圏域PRプロジェクト、圏域観光再生支援プログラム） ○圏域観光の魅力アップ事業（観光客受け入れ体制の充実）
------	--

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業
	達成度		
	2計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		10,608	6,258
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		
	一般財源	10,608	6,258
歳入合計		10,608	6,258

課題	○圏域が有する多彩な観光資源を効果的に活用し、誘客につなげる必要がある	方向性	○圏域の魅力発信・誘客を図るため、5自治体、経済界、観光協会の連携を強化する
----	-------------------------------------	-----	--

観光部観光振興課 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光文化課分）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	産業・観光・環境等の連携事業		
	随時	理事会、担当課長会		

本事業に関する主要データ	
●中海・宍道湖・大山圏域市長会	
令和4年度 松江市負担金 計	34,692千円
(内訳) 産業振興事業（産業経済部）… 13,776千円 観光振興事業（観光振興部）… 12,890千円 その他の連携事業（政策部）… 8,026千円	
【参考】H28… 42,625千円（H27からの繰越26,000千円を含む） H29… 30,425千円 H30… 43,711千円 R01… 44,471千円 R02… 39,298千円 R03… 36,835千円	 ビジネスマッチング
令和4年度 圏域市長会 全体予算	126,000千円
(内訳) 産業振興事業 … 48,724千円 観光振興事業 … 45,110千円 その他の連携事業 … 32,166千円	
【参考】H28… 200,634千円（H27からの繰越130,000千円を含む） H29… 117,142千円 H30… 135,600千円 R01… 145,600千円 R02… 154,600千円 R03… 140,000千円	 山陰インド・ケララ州との経済交流
	 圏域交通ネットワークに関する国土交通省との意見交換会

共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,258		
事業費計		6,258	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光推進体制検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江観光協会などの組織をこれまで以上に機動的な組織として見直しを図ることによって、松江市の宿泊者数の増加を通じた観光産業の拡大を目指す。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		観光戦略プラン策定委員会開催回数（回）	0	4	0	4
	目標（何を達成するのか）					
	○松江観光協会の組織・人員体制の見直し ○松江市と松江観光協会の役割分担の明確化 ○財源確保とマーケティングなどの機能の充実					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光戦略プラン策定委員会開催回数：2022（R4）年度
	イベント中心の観光から、観光地としてのまちづくりや滞在時間を増やすための商品開発などにより「水の都・松江」のリブランディングを図り、新たな松江市の観光地域づくりを目指していく必要がある。 『松江市観光戦略プラン（仮称）』を策定委員会や観光関連事業者等との意見交換をふまえながら策定し、松江観光の目指すべき姿を明らかにする。 また、『松江市観光戦略プラン（仮称）』に基づく施策を実施するために、観光推進組織体制や財源確保についての検討も進めていく。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○「松江観光の明日を創る検討会議」の議論をふまえ、松江商工会議所との意見交換会を開催し、『松江市観光戦略プラン（仮称）』策定・観光協会の組織強化等の必要性を確認 ○先進事例である京都市・金沢市・長崎市等の観光振興財源の研究	○『松江市観光戦略プラン（仮称）』の策定 ○観光推進組織の体制や財源確保についての検討	○策定した『松江市観光戦略プラン（仮称）』に基づく施策実施
	達成度		
	3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	5,717
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	5,717
歳入合計		0	5,717

課題	○「観光地 松江」の目指す姿の明確化 ○目指す姿を具現化するための組織づくり、財源確保	方向性	○目指すべき「観光地 松江」の姿を明確にした『松江市観光戦略プラン（仮称）』を策定し、市民、観光関連事業者等と共有する ○観光推進組織の体制や財源確保について検討を進める
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	観光戦略プラン策定委員会設置		
	6月～12月	観光戦略プラン策定委員会開催（4回）		
	7月～8月	テーマ別意見交換会開催（4回）		
	12月	観光戦略プラン策定		

本事業に関する主要データ

「松江市観光戦略プラン(仮称)」の考え方

【テーマ】松江城を中心とした「水の都・松江」の再構築

観光戦略の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により観光産業が停滞する中、今後ますます厳しくなる観光地の地域間競争や人口減少問題等に対応し、アフターコロナを見据えた地域経済の持続的な発展を図ることが急務である。

2030年にこうありたいと思う「国際文化観光都市 松江」の姿を明確にし、市民・事業者・行政がこれを共有し、共感することによって同じ方向を目指し、共に創っていく。

目標数値

	2019年度	2030年度	
観光消費額	660億円	750億円	※総合計画と同じ数値
宿泊者数	211万人	250万人	

期 間

7年間（2023年度～2029年度）

※総合計画と同じ終期

★取り組みのポイント★
SDGs・広域連携
インバウンド・消費拡大

観光戦略の4つの柱（案）

① 魅力ある観光素材づくり

例えば・・・
○ユニークな観光資源や伝統文化の活用
「城下町」「水の都」「縁結び」「怪談」「茶の湯」「温泉」など
○まち歩きが楽しめる商店街
「体験・飲食・買い物」「本物がある職人商店街」
○食の磨き上げ・高付加価値化
「特産品」「郷土料理」
○夜の魅力向上
「ライトアップ」「水燈路」
○島根半島や周辺地域の豊かな地域資源の活用
「サイクリング」「アウトドア」「アクティビティ」

各分野の関係者による意見交換会を開催してプランに反映

② 快適に過ごせる環境づくりと利便性向上

例えば・・・
○歩きやすくなるまちなみ
「駅から城までのしずルート」「城下町のまちなみ」「公園や道路」
○快適に滞在できる環境づくり
「観光案内所」「交通」「駐車場」「サイン」「バリアフリー」
○アクセスの利便性向上
「鉄道」「国内・国際航空路線」「高速道路」「クルーズ客船」

③ 松江の魅力発信と誘客

例えば・・・
○ブランディング
「城下町」「水の都」「癒し」「縁結び」「神話の世界」
○マーケティング
「データ分析」「旅行動向・ニーズ把握」「観光コンテンツ開発」
○オフシーズン対策
「冬季対策」「梅雨期対策」
○MICEの活性化
「大会開催支援」「アフターコンベンション」「ユニークベニュー」
○エージェントへのアプローチ
「旅行商品造成・販売促進」
○インバウンド
「情報発信」「商談会・セールス」「旅行博等出展」

④ 観光地松江の土台づくり

例えば・・・
○観光推進組織づくり
「観光協会体制強化」「専門人材活用」「会員事業者支援」
○持続可能な観光のまちづくりのための財源確保
「観光目的税の検討」
○観光産業の活性化
「事業者支援」「各種業界団体との連携」

アクションプランによる進捗管理 戦略プランのうち優先度の高い事業について2～3年間の中期目標及び役割分担を定めたアクションプランを作成し、実現を目指す

共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	254		
旅費	492		
需用費	30		
委託料	4,875		
使用料及び賃借料	66		
事業費計		5,717	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光回復推進人材確保事業費（新型コロナウイルス対策事業）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	企業人材を受入れ、民間のノウハウを生かし、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ観光需要の回復を目指す。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		宿泊客数（万人）	113	169		250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837		1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	J R西日本から職員1名を（一社）松江観光協会へ受け入れ、民間のノウハウ、人脈、知識を生かした観光誘客事業を行う。 ○派遣期間 令和3年10月～令和5年9月（2年間） ○松江観光協会がJ R西日本に支払う負担金（人件費）に対して松江市が補助

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	2021(R3)年10月1日～JR西日本からの派遣職員1名を松江観光協会へ受け入れ。	引き続き、JR西日本からの派遣職員1名を松江観光協会へ受け入れ。	～2023(R5)年9月30日 引き続き、JR西日本からの派遣職員1名を松江観光協会へ受け入れ。
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

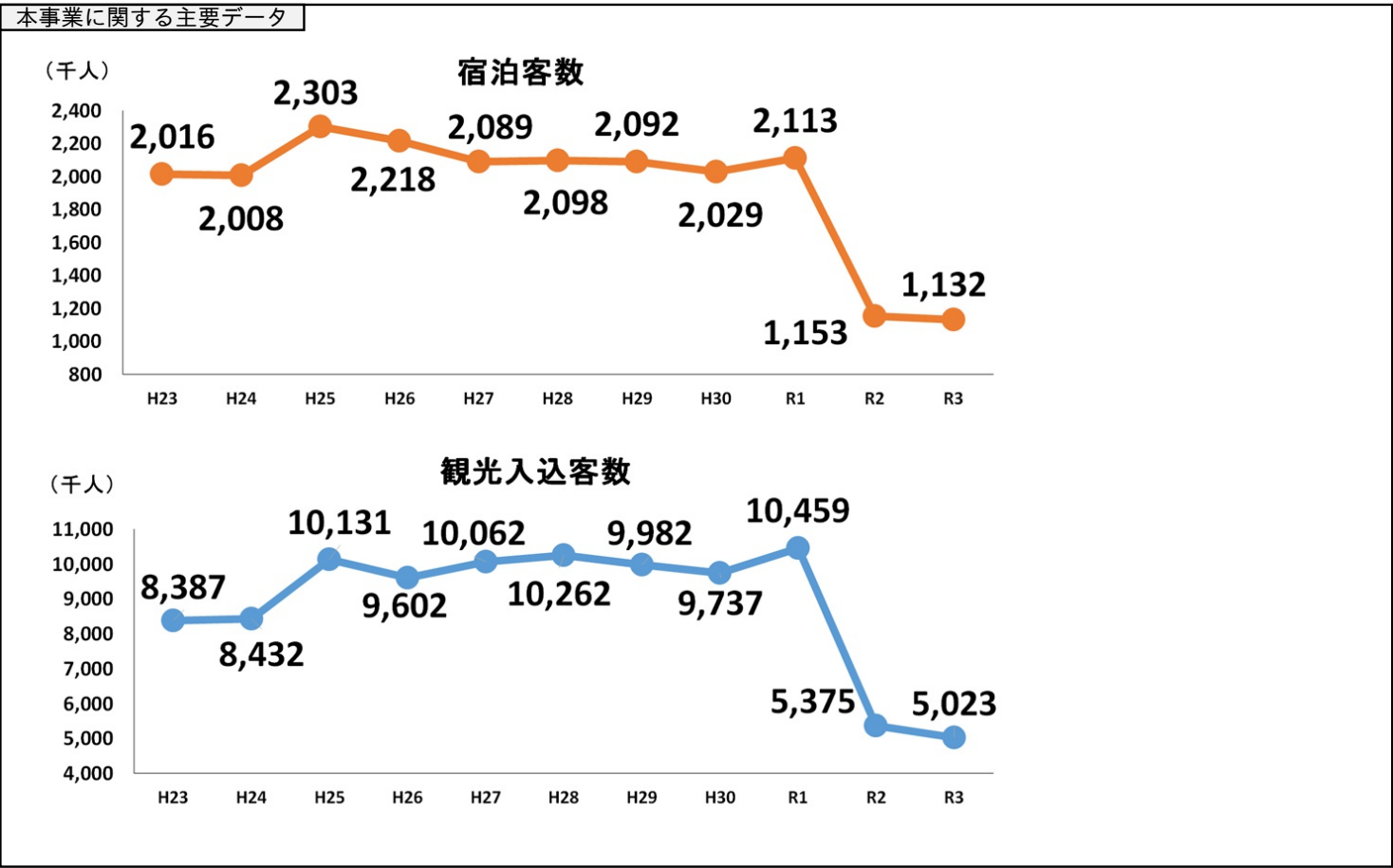
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		3,566	7,230
財源内訳	国・県支出金	3,566	7,230
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	0	0
歳入合計		3,566	7,230

課題	コロナ禍からの早期回復を図るため、民間のノウハウの導入が必要。	方向性	派遣職員と連携し、効果的な事業を実施することで、観光需要のV字回復を目指す。
----	---------------------------------	-----	--

観光部観光振興課 観光回復推進人材確保事業費（新型コロナウイルス対策事業）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金申請受理・交付決定		
	5月	補助金支払		
	3月	実績報告・精算		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	7,230		
事業費計		7,230	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水郷祭補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の祭りとして定着しているが、西日本最大級の湖上花火として県外へPRし観光誘客を図る。	項目（成果指標） 年間宿泊客数(万人)	R3実績見込 113	R4計画 169	R5計画 190	目標値 250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	松江市の最大の夏祭りである水郷祭は「水の都」松江にふさわしく、宍道湖岸に繰り広げる水辺を活かしたイベント。夏の風物詩で、松江市の活性化、観光客誘致には不可欠なイベントとして定着している。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とし、代替花火事業として小規模・分散型の「松江GENKI花火」を企画。しかし、夏場に感染拡大したことから全日程（6日間）を全て中止とした。 ＜令和4年度＞ 令和4年度は、8月6日(土)・7日(日)を開催予定日として準備を進めていくが、花火の規模、関連イベントの開催、有料観覧席設置については、コロナ禍の状況を踏まえ、松江水郷祭推進会議において検討をしていく。 ○実施団体（補助金交付先）：松江水郷祭推進会議（松江市・商工会議所・観光協会・青年会議所ほか）
------	--

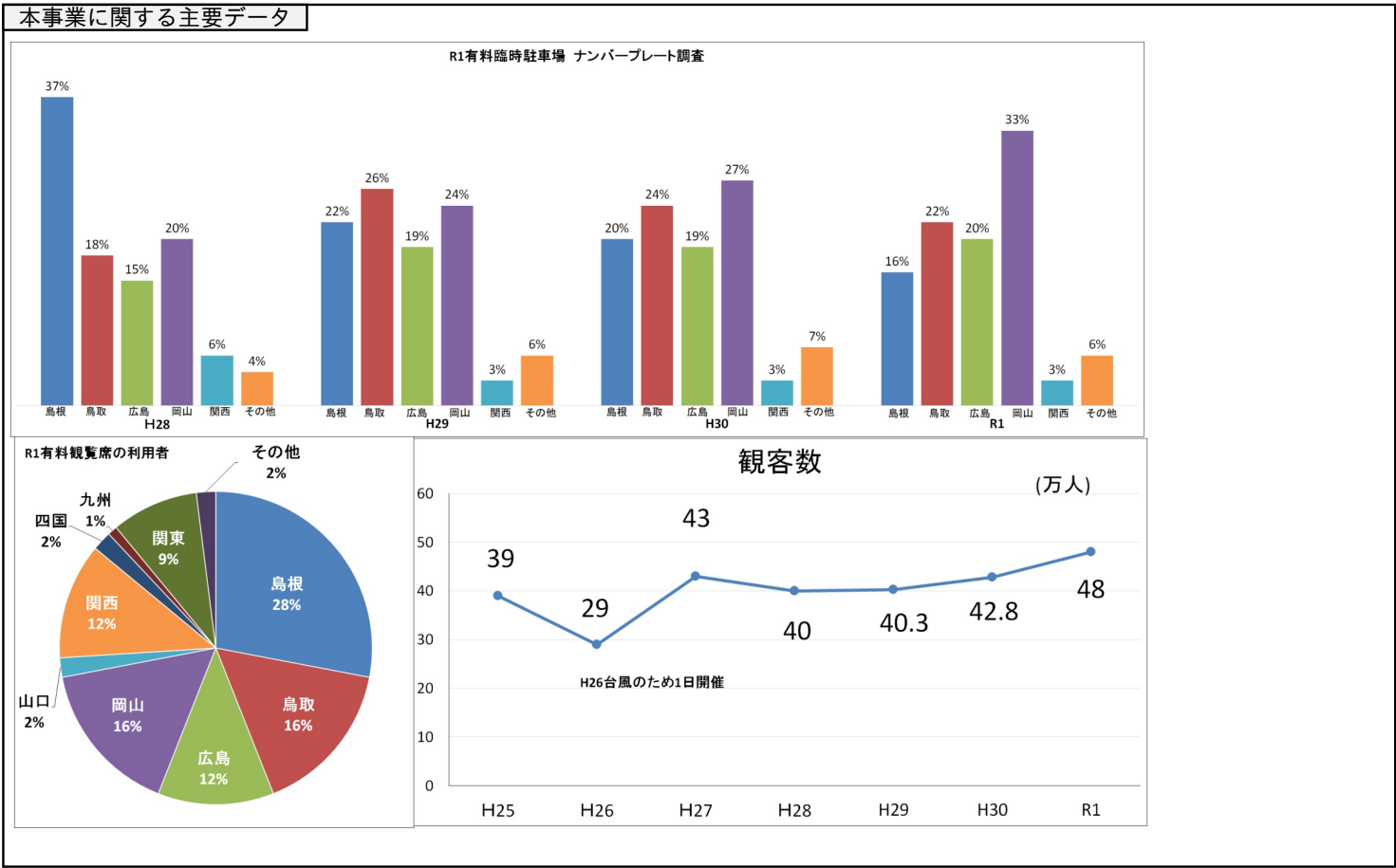
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、松江水郷祭は中止。代替花火事業として小規模・分散型の「松江GENKI花火」を企画。しかし、夏場に感染拡大したことから全日程（6日間）を全て中止とした。		○開催予定日 8月6日(土)・7日(日) ○コロナ禍前の規模の維持を基本に次の内容を検討 ・花火の規模、関連イベントの開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ・有料観覧席の検討（運営方法、経費、販売方法など）		○開催予定日 推進会議にて決定 ○R4年規模を基本に次の内容を検討 ・花火の規模、関連イベントの開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ・有料観覧席の検討（運営方法、経費、販売方法など）	
	達成度					
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		6,319	17,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	1,000	5,000
	一般財源	5,319	12,000
歳入合計		6,319	17,000

課題	コロナ禍の状況を注視し、市民の安心安全を最優先に開催内容、方法を検討する必要がある。	方向性	新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に開催内容、方法を検討する。まずは3年ぶりとなる花火打上を安全に実施し、地域の活性化を図る。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	ワーキング会議、実行委員会		
	5月24日	水郷祭推進会議開催		
	8月6・7日	松江水郷祭開催		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	17,000		
事業費計		17,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江武者行列事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	桜咲く春の城下町ならではの時代行列を行うことで、城下町松江の観光PRにつなげ、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	平成15年度より、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城するシーンを表現した市民参加型イベント。毎回、前年度に参加者募集、練習会、着付け講習会などを実施し、本番に向けた準備を行う。 ※H31年度：観客数14万人、行列参加者数255人

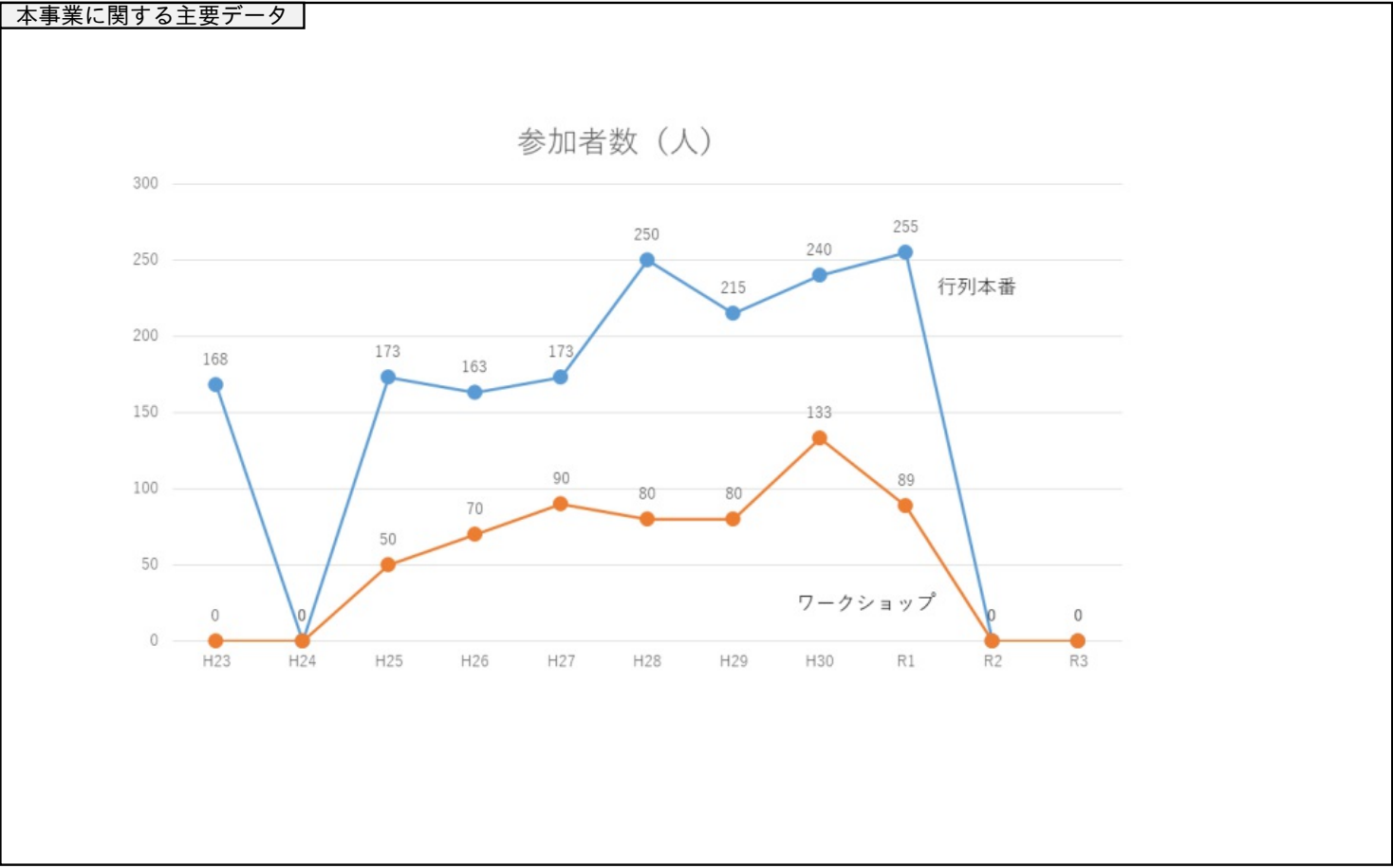
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○新型コロナウイルス感染症拡大により中止 ○R4春の開催に向けた準備（練習会等）中止	○新型コロナウイルス感染症拡大により中止 ○R5開催に向けた検討・準備	○武者行列開催
	達成度		
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		2,200	9,800
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		2,000
	一般財源	2,200	7,800
歳入合計		2,200	9,800

課題	○城下町松江のPRや観光誘客につながるよう、イベント内容・方法を検討する必要がある。	方向性	○市民や観光事業者と連携し、より効果的な誘客イベントとなるよう見直しを行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	開催方法の検討、開催準備		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	9,800		
事業費計		9,800	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水燈路事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	城下町松江の夜の賑わいを創出し、宿泊客数の増加及び夜の消費喚起につなげる	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江城や塩見縄手周辺のライトアップ、市民の手作り行灯などで灯りの演出を行うとともに、音楽や伝統芸能などのイベント、屋台などによる賑わい創出を行う。

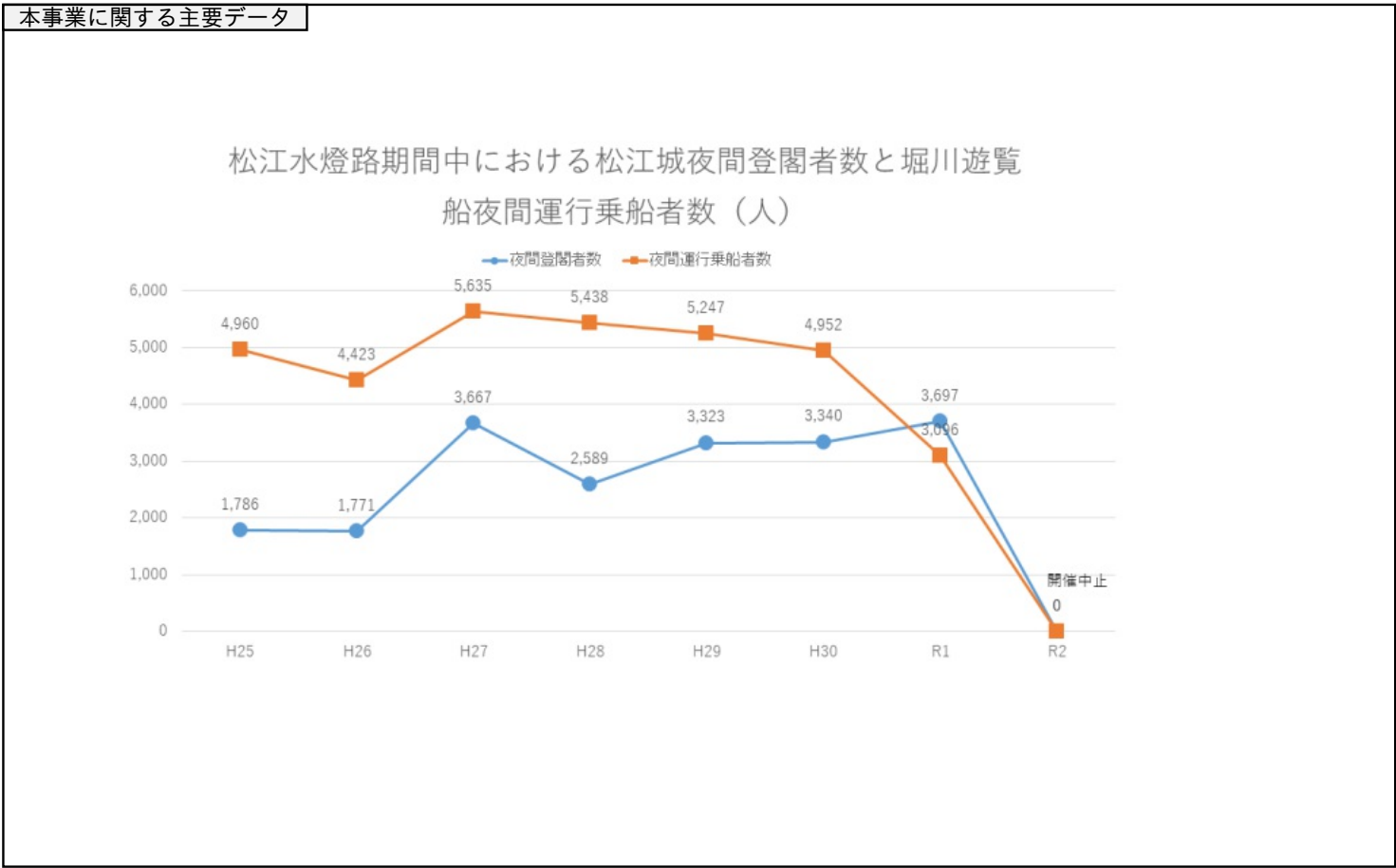
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○新型コロナウイルス感染症拡大により中止 ○手作り行灯を設置し、動画配信を実施 ○手作り行灯出展者限定で観覧会実施（2日間で500人来場）	＜灯りの演出＞ ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 ＜賑わいづくり＞ ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置	＜灯りの演出＞ ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 ＜賑わいづくり＞ ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		8,138	22,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		2,500
	一般財源	8,138	19,500
歳入合計		8,138	22,000

課題	○訪れた観光客の満足度を高めるため、更なる磨き上げが必要	方向性	○観光客の満足度アップを図るため、イベント内容の検討を行う。 ○夜の賑わい創出に向け、各種団体、観光事業者等との連携を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	実行委員会開催		
	9月～10月	松江水燈路実施		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,000		
事業費計		22,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江境港隠岐観光振興促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江・境港・隠岐を一つの圏域ととらえ、一体となって観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	境港市及び隠岐4町村との連携強化及び松江市への誘客数増加 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市、境港市、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村の6市町村で松江境港隠岐観光振興協議会を組織し、連携したプロモーションを実施する。

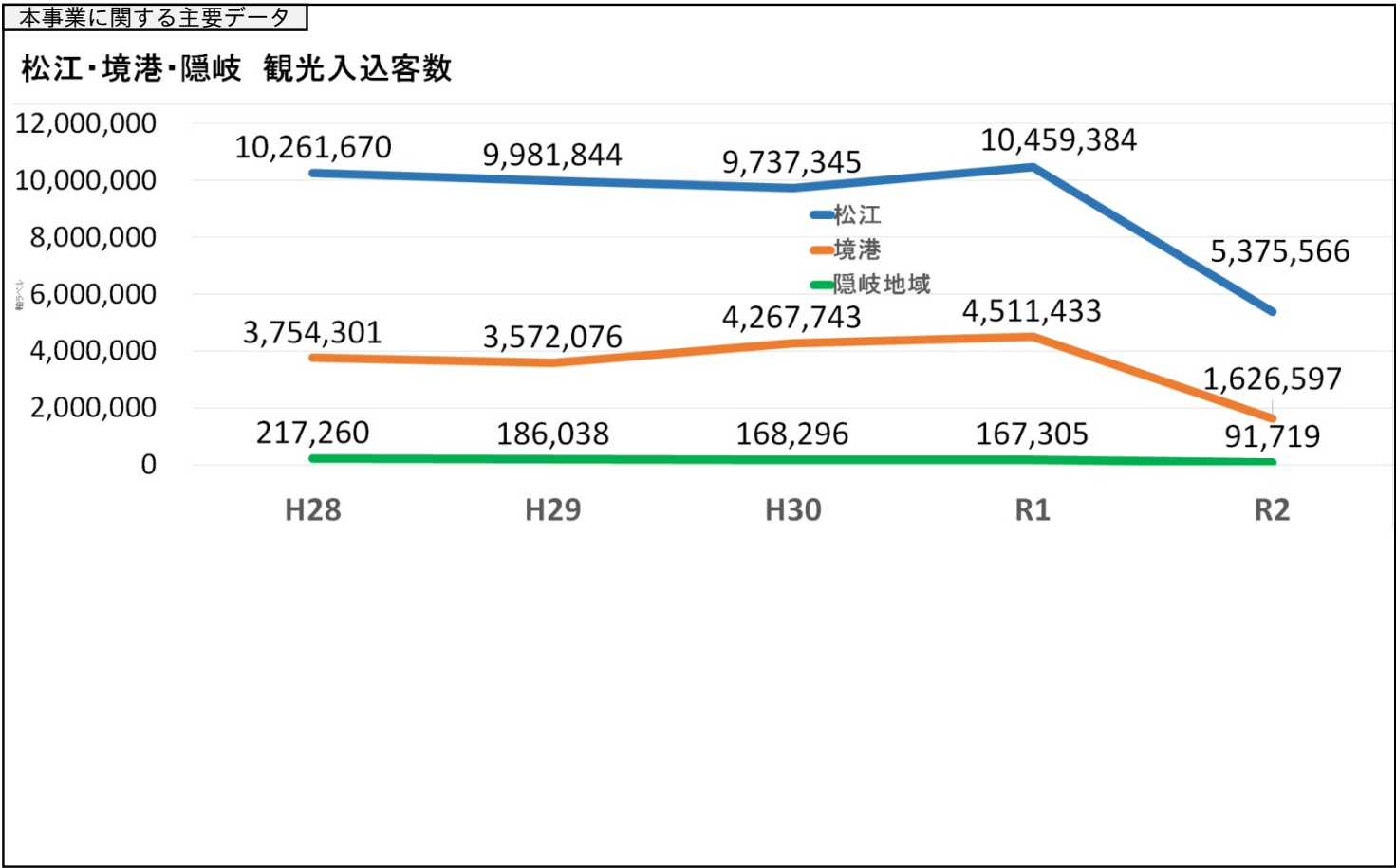
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○サイクリングYouTuberを活用した情報発信		○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信		○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		300	321
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	300	321
歳入合計		300	321

課題	松江、境港から隠岐への旅につなげる効果的な情報発信が必要。	方向性	協議会との連携を強化し、効果的な誘客企画を実施する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	担当課長会		
	7月	総会		
	8月～3月	事業実施		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	21		
負担金補助及び交付金	300		
事業費計		321	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	嫁ヶ島活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	宍道湖や嫁ヶ島を活用し、水の都松江の知名度向上を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	1. 嫁ヶ島への渡航イベントやPR事業など嫁ヶ島を活用した観光振興事業に補助。 ・万灯会（6月） ・歩いて渡る嫁ヶ島（8月） ・仲秋の嫁ヶ島（10月） 2. 嫁ヶ島ライトアップ常設化に伴いライトアップを実施（4月～11月）するための渡船と発電、及び機器の管理を業務委託。

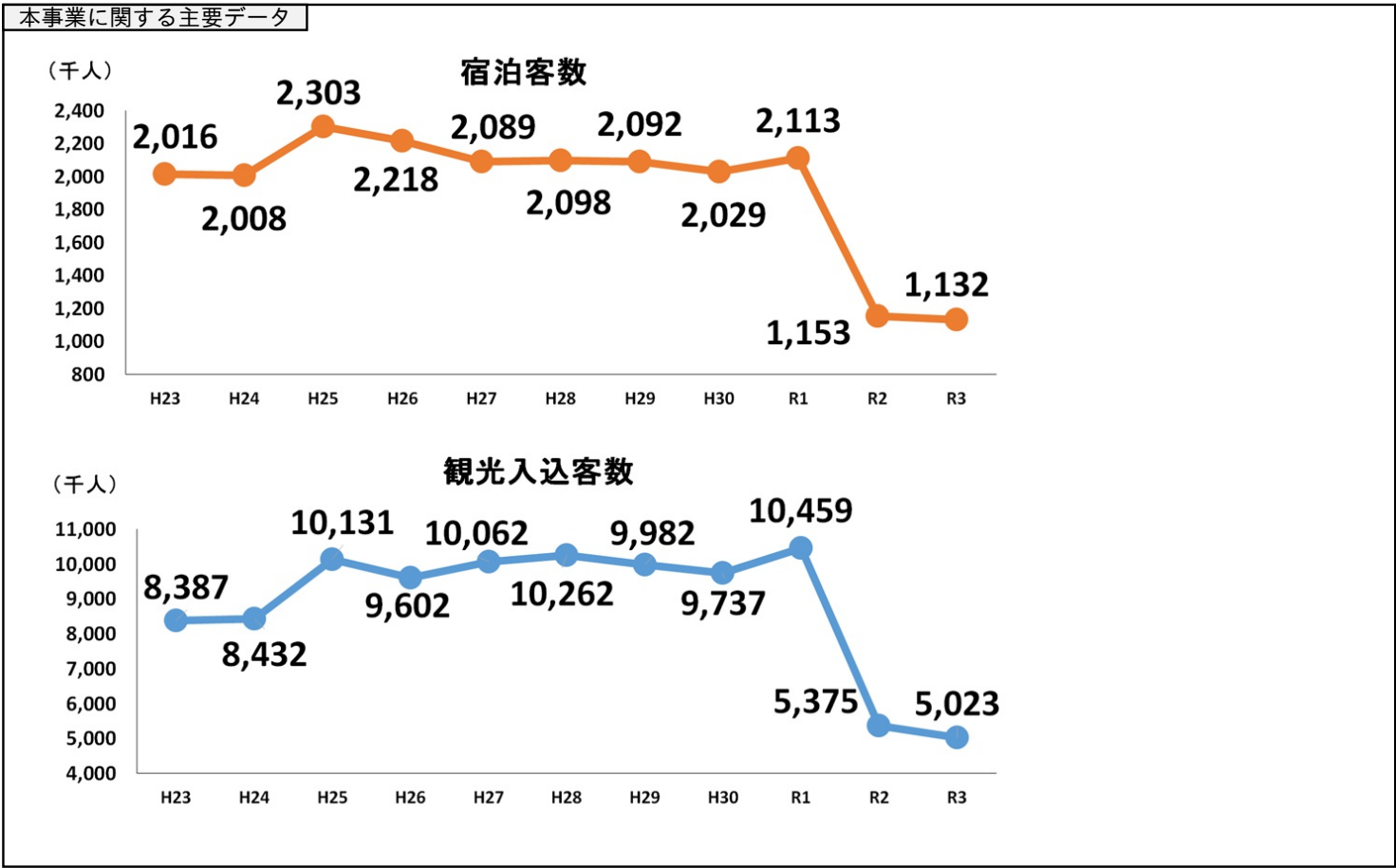
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会（参加者250名） 歩いて渡る嫁ヶ島（参加者190名） 仲秋の嫁ヶ島（参加者300名） ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託		・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託		・嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。 万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 ・嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 ・常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		2,606	2,768
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,606	2,768
	一般財源	0	0
歳入合計		2,606	2,768

課題	・嫁ヶ島を中心とした観光イベントを行い、水郷祭、大茶会、水燈路など市のイベントとの連携した事業で、嫁ヶ島の観光活用を図る。 ・市も連携してPRなどの取り組みを行い、更なる集客を図る必要がある。	方向性	・嫁ヶ島の景観維持・観光活用を目的に行われる各種事業を広く市民や観光客にPRし、水の都松江の観光スポットとしての活用を図っていく。 ・大橋川の改修にともない水辺の利活用について、さまざまな検討、取り組みがなされており、関係する団体との連携を図っていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～11月	嫁ヶ島ライトアップ	10月	仲秋の嫁ヶ島
	5月	補助金交付申請、交付決定		
	6月	万灯会		
	8月	歩いて渡る嫁ヶ島		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,268		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計		2,768	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光客おもてなし事業補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝松江城にふさわしい甲冑姿の武者による観光客のおもてなしを通して、松江城や城下町のイメージを発信する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	観光入込客数年間1,100万人、宿泊客数年間250万人の達成 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	○観光客おもてなし事業を実施する松江観光協会に補助金を交付 ・松江城及びその周辺での武者によるおもてなし ・土日祝日等に常駐し、観光客を出迎える ○観光客動向調査（聞取りによる情報収集）

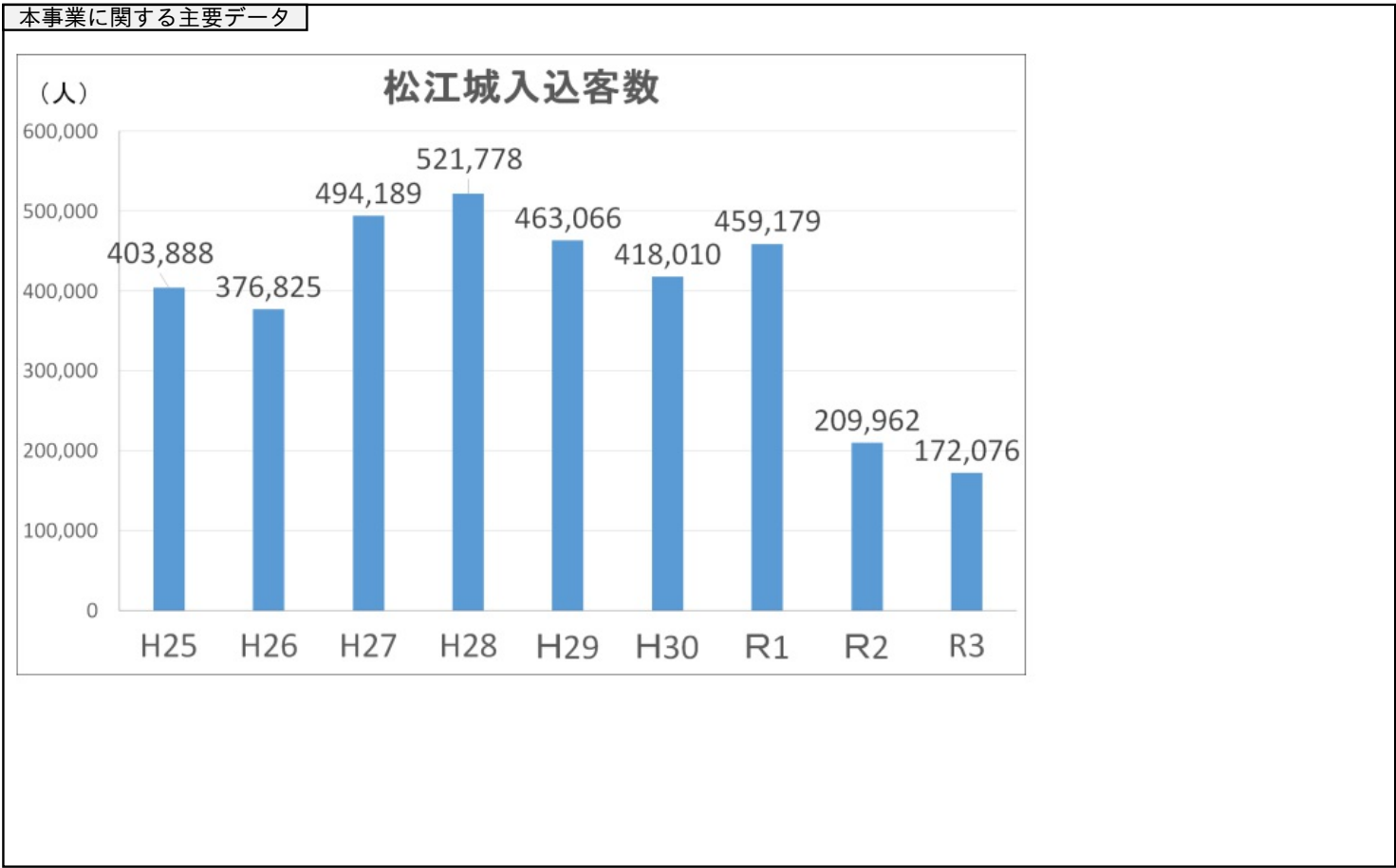
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○松江城・武者のおもてなし 実績：140日 ○観光客動向調査（聞取りによる情報収集）		○松江城・武者のおもてなし ○観光客動向調査（聞取りによる情報収集）		○松江城・武者のおもてなし ○観光客動向調査（聞取りによる情報収集）	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		3,600	3,600
財源内訳	国・県支出金		1,800
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,600	1,800
歳入合計		3,600	3,600

課題	○武者役の人材が不足しており、おもてなしの充実が難しい	方向性	○人材の確保、運営方法の検討を進める

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江城周辺におけるおもてなし案内・動向調査		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,600		
事業費計		3,600	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江しんじ湖温泉振興対策事業補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江しんじ湖温泉のブランド力向上と温泉街の環境整備を行い、観光誘客を促進する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人の達成、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江しんじ湖温泉の情報発信及び温泉街の環境整備を実施する2団体に補助金交付 ○松江しんじ湖温泉旅館協議会 ○松江しんじ湖温泉振興協議会

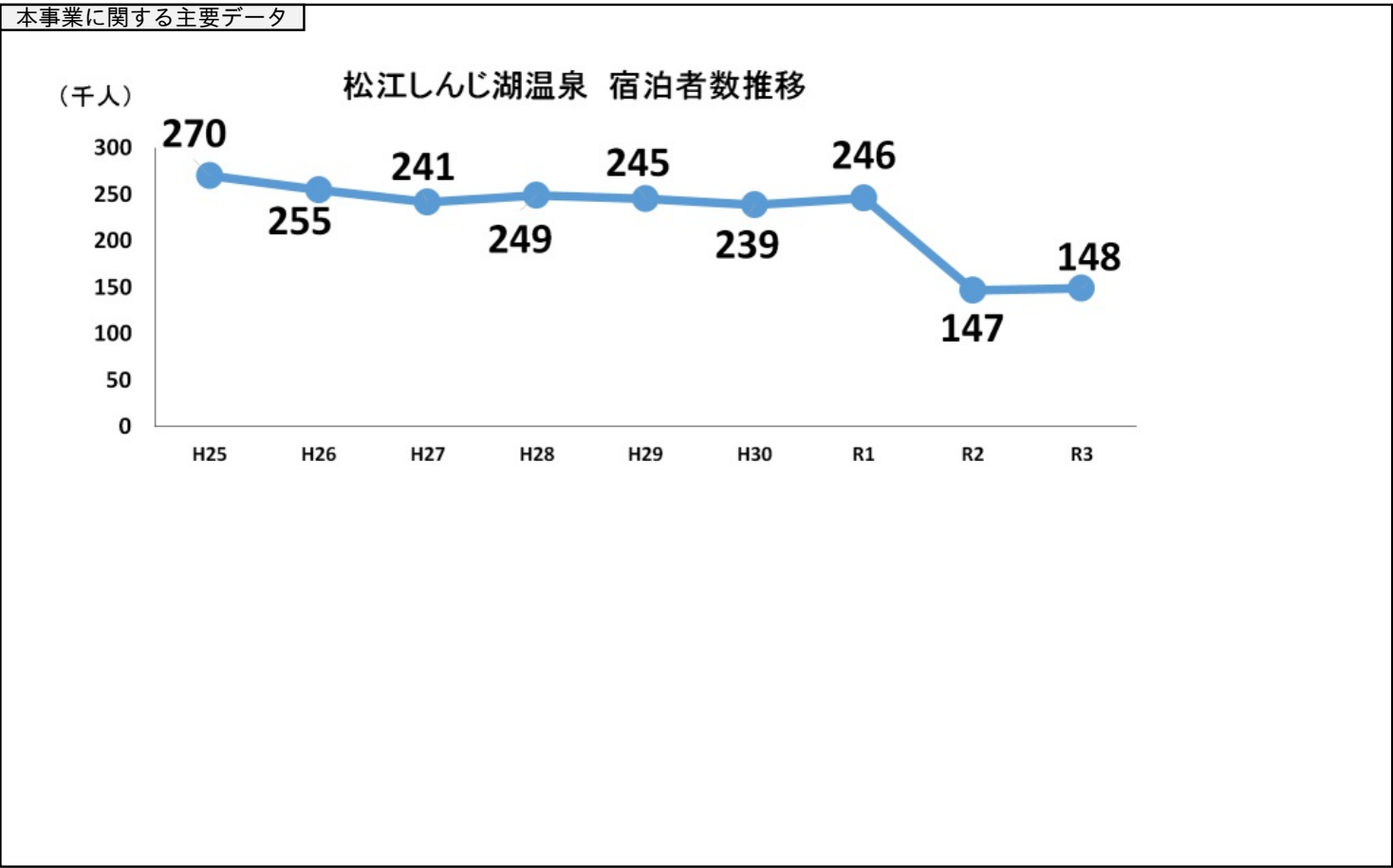
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置	○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置
	達成度		
	2計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,922	1,922
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,922	1,922
歳入合計		1,922	1,922

課題	○松江しんじ湖温泉の宿泊客数の増につなげるため、ブランド力を高める必要がある	方向性	○宿泊施設等との連携を図り、効果的な誘客企画やプロモーションを実施する

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	補助金交付		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,922		
事業費計		1,922	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	島根半島等地域魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かし、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かした観光誘客を図るために、行政、地元の関係団体で組織する大山隠岐国立公園満喫プロジェクト島根半島東部協議会の取組み（ソフト事業）に対し補助金を交付する。

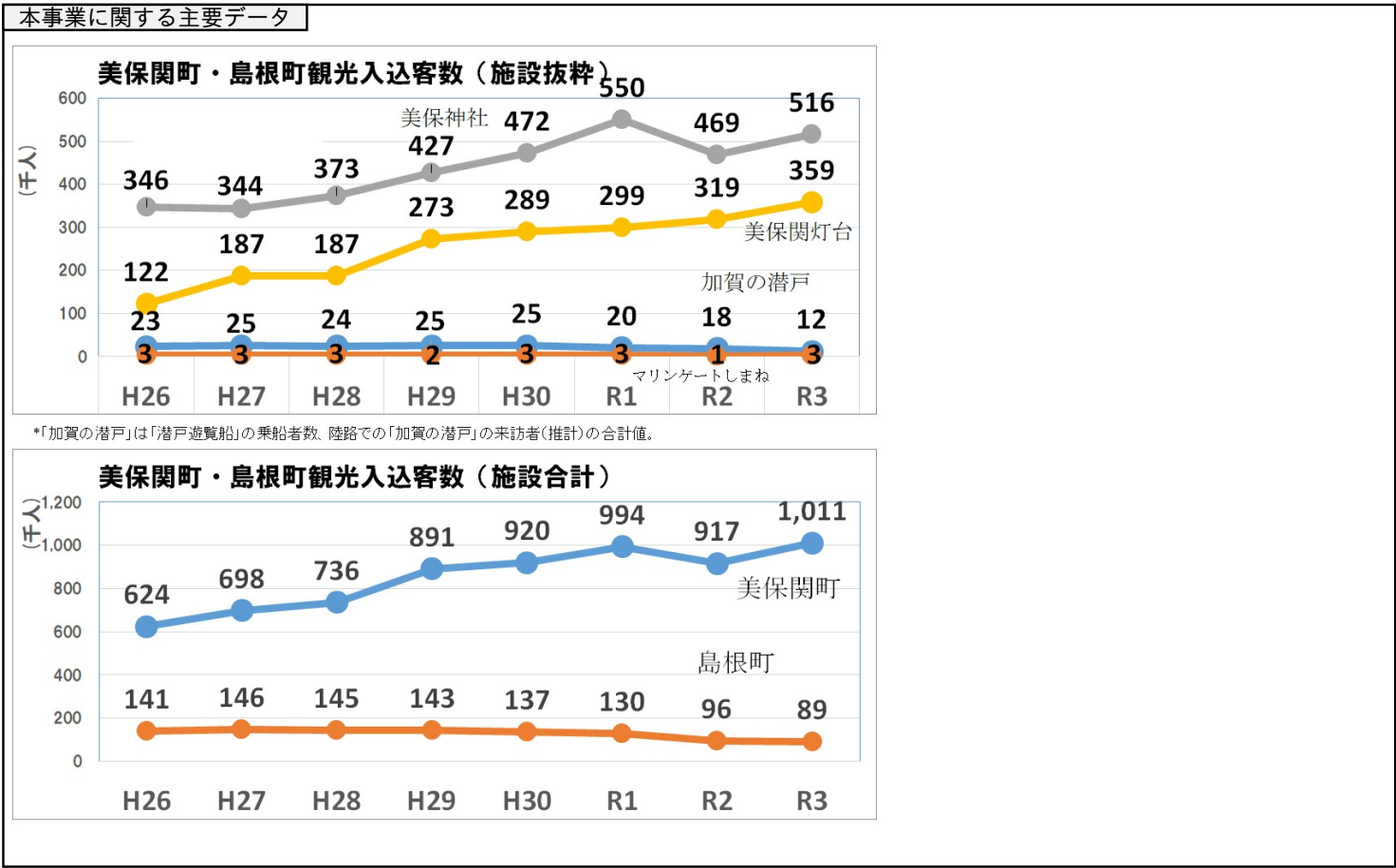
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業	○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施 ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	1,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	1,000
歳入合計		0	1,000

課題	○観光客受入環境の整備、地元関係団体との連携強化が必要 ○島根半島・宍道湖中海ジオパークの事業との連携を図る必要がある	方向性	○地元関係団体等との連携を図り、効果的なプロモーションや誘客企画、受入環境整備を進める

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	総会		
	6月～3月	事業実施		



共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,000		
事業費計		1,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課ジオパーク推進室	ジオパーク推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ジオパークの取組を通じて、大地の成り立ちと歴史文化を学び、見つめ直すことで、ふるさとへの誇りと愛着を高めるとともに、その魅力を発信して交流人口の拡大を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		松江ビジターセンター年間来場者数（人）	4,554	4,600	4,700	5,500
		認定ガイド総数（人）	45	55	65	100
	目標（何を達成するのか）	ジオサポ年間登録者数（人）	356	450	460	500
	観光誘客の拡大とともに、郷土愛の醸成や環境意識の向上を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 松江ビジターセンター年間来場者数及び認定ガイド総数、ジオサポ年間登録者数：2029（R11）年度
	本ジオパークは、ふるさとへの誇りと愛着を高め、人材育成を促進するため、保全・保護や教育などの活動に取り組むとともに、観光や産業などの地域振興につなげる活動に取り組んでいる。神話の地ならではの「出雲国風土記の自然と歴史に出合う大地」をテーマに、新たに策定する推進行動計画（令和4年度から4年間の計画期間）や保全管理計画にもとづき官民挙げた取り組みを推進していく。 また、令和3年度の再認定審査で指摘された課題などについて、次回の再認定審査までに改善を図る必要がある。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○推進協議会事業 ・日本ジオパーク再認定審査 ・次期推進行動計画（令和4年～7年度）及び保全管理計画の策定準備 ・ジオガイドの養成（10人） ・看板整備（3枚） ・ジオパークサポーター登録（344人） ・パートナーシップ協定締結（1件） ・小学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金交付（27校） ・地域活動補助金交付（10件） ○全国大会実行委員会事業 ・10月3日～5日、第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会開催 全国のジオパーク関係者はオンライン参加（参加登録者数643人） 出雲市ビッグハート出雲でのプログラムは島根県民に限定して開催（来場者数206人） ・令和4年3月28日、実行委員会解散	○推進協議会事業 ・次期推進行動計画（令和4年～7年度）及び保全管理計画の策定 ・主なジオサイトのモニタリングなど、地球環境の保全活動 ・地球環境の保全に向けた地域、学校での教育活動 ・島根半島を横断するロングトレイルコースの検討 ・ジオガイドの養成、スキルアップ ・ジオツアーの造成、実施 ・看板整備 ・ジオパークサポーター登録 ・パートナーシップ協定締結 ・小学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金交付 ・地域活動補助金交付 など	○推進協議会事業 ・主なジオサイトのモニタリングなど、地球環境の保全活動 ・地球環境の保全に向けた地域、学校での教育活動 ・ロングトレイルコースの検討 ・ジオガイドの養成、スキルアップ ・ジオツアーの造成、実施 ・看板整備 ・ジオパークサポーター登録 ・パートナーシップ協定締結 ・小学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金交付 ・地域活動補助金交付 など
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

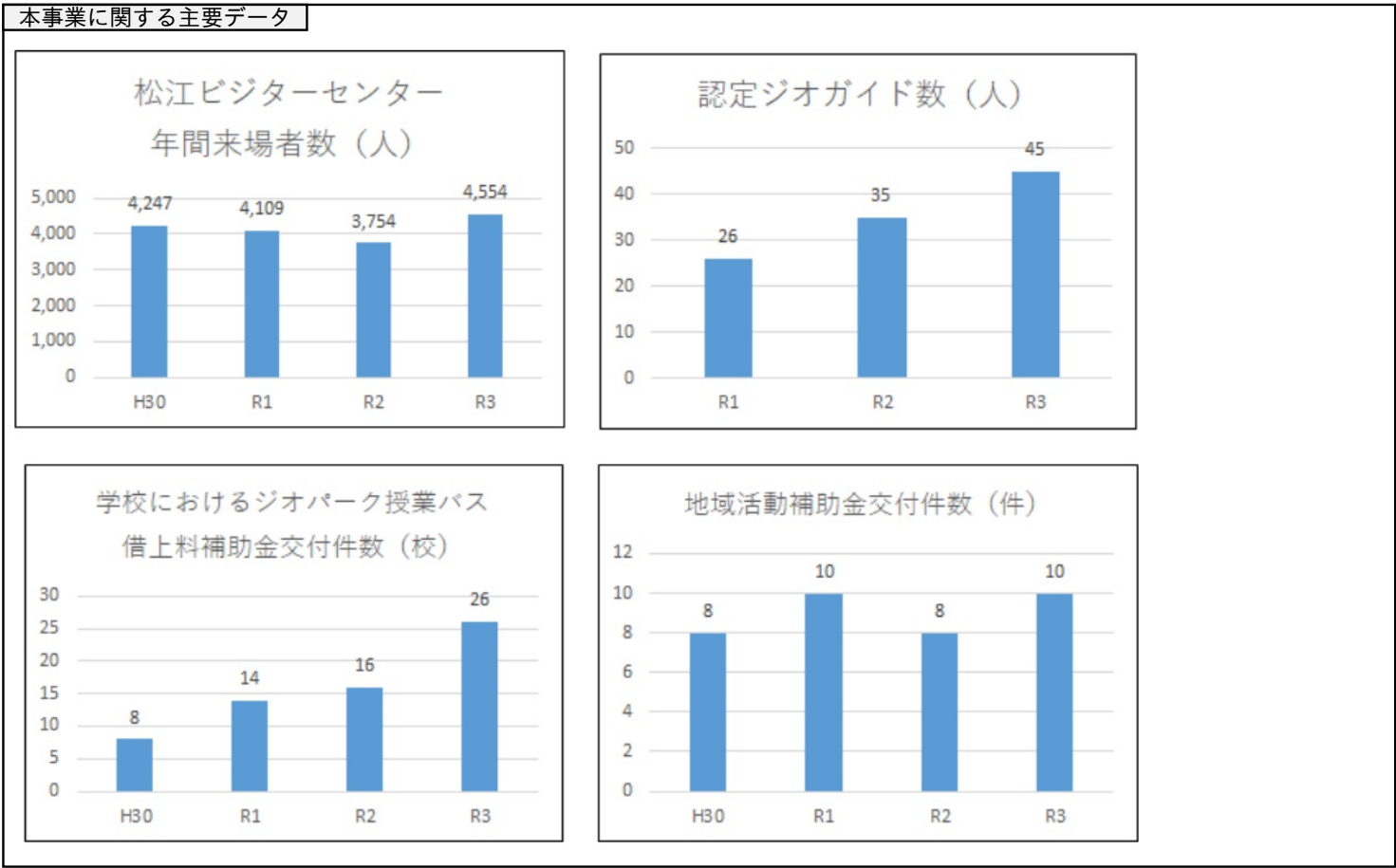
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		19,650	10,635
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	19,650	10,635
	一般財源	0	0
歳入合計		19,650	10,635

課題	令和3年度の日本ジオパーク再認定審査で指摘された課題について、次回再認定審査までに改善を図る必要がある。 また、令和4年度に策定予定の新たな推進行動計画や保全管理計画にもとづき、着実に活動を実行する必要がある。	方向性	再認定審査で指摘された課題の改善を図るとともに、新たな推進行動計画や保全管理計画にもとづき、地域住民や他ジオパークとさらに連携し、持続可能な地域づくりや保全、教育などの活動の推進により観光や産業などの地域振興につなげる。

文化スポーツ部文化振興課ジオパーク推進室 ジオパーク推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	ジオパーク推進協議会臨時総会開催	年1回	主なジオサイトのモニタリング実施
	7月	新たな推進行動計画策定	随時	関係団体とのパートナーシップ協定締結
	3月	ジオパーク推進協議会定例総会開催	随時	小学生などへのジオパーク教育実施
	随時	ジオサイトの見直し	随時	パートナーシップ協定締結



共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,750		
職員手当等	358		
共済費	347		
旅費	180		
負担金補助及び交付金	8,000		
事業費計		10,635	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	W i - F i スポットサービス管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市内にフリーW i - F i スポットを設置し、国内外からの観光客の利便性を高める	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	○市内にフリーW i - F i スポットを設置し、観光客が情報収集や発信しやすい環境を整える スポット数28カ所

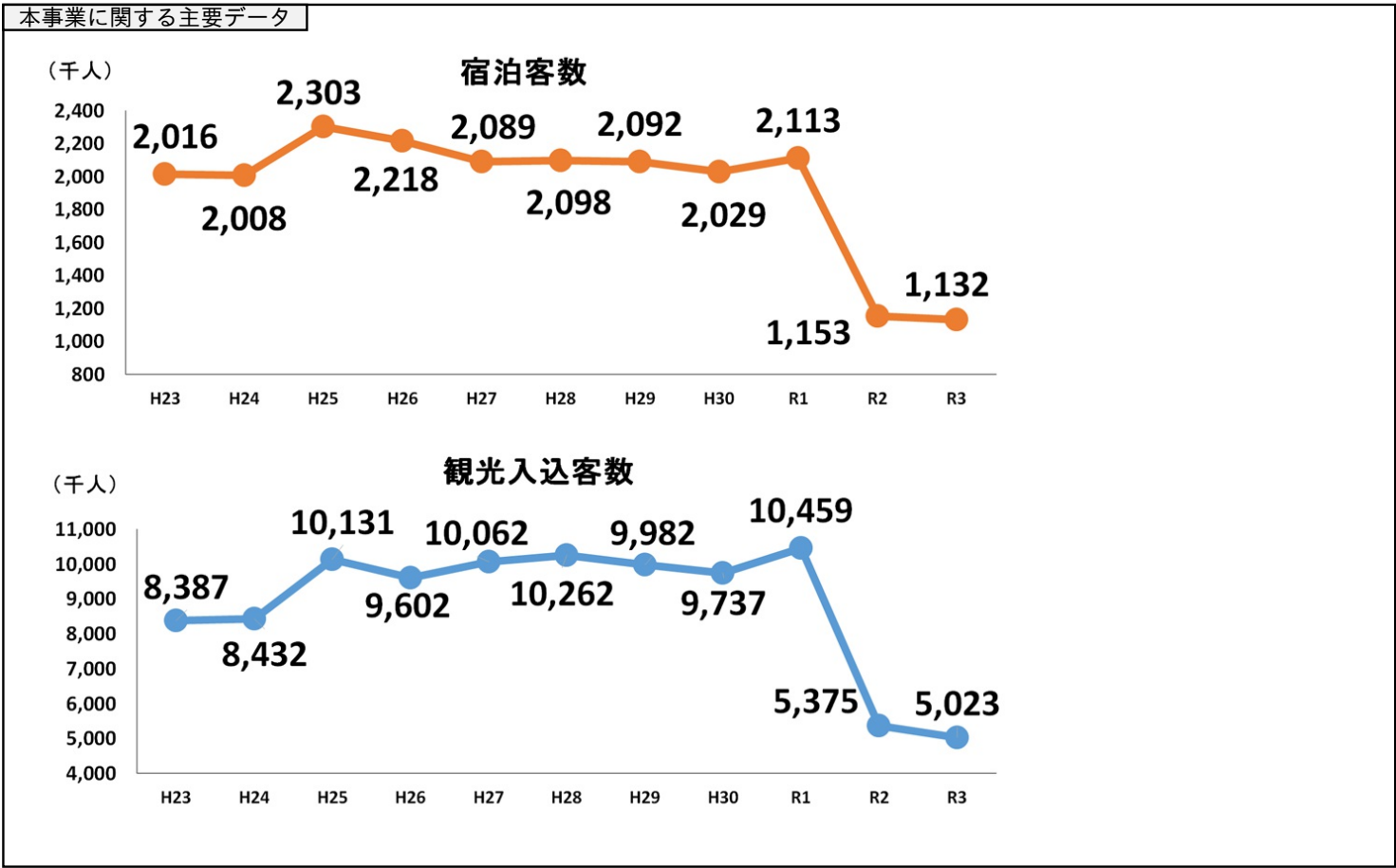
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○フリーW i - F i スポット28カ所分の運営		○フリーW i - F i スポット28カ所分の運営		○フリーW i - F i スポット28カ所分の運営	
	達成度					
	1	計画目標に向けて順調に推移				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,827	1,828
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,827	1,828
歳入合計		1,827	1,828

課題	通信速度や同時接続数が十分でないスポットもあり、増強・増設の検討が必要。	方向性	利用状況の分析やニーズの把握を行い、必要に応じて増強・増設を検討する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	Wi-Fi環境提供		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	861		
負担金補助及び交付金	967		
事業費計		1,828	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	美保関観光振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	美保関町の観光振興を目的とする美保関地域観光振興協議会に対し、事業及びその実施に必要な人件費などの経費への補助を行う。美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。美保関特有の自然環境や美保神社、青石畳通りなどの既存観光資源の魅力を再認識し、未活用資源の顕在化を図るとともに、体験プログラムの充実など観光客のニーズに合わせた新たな付加価値を加えるなど、滞在型観光の促進を図る。

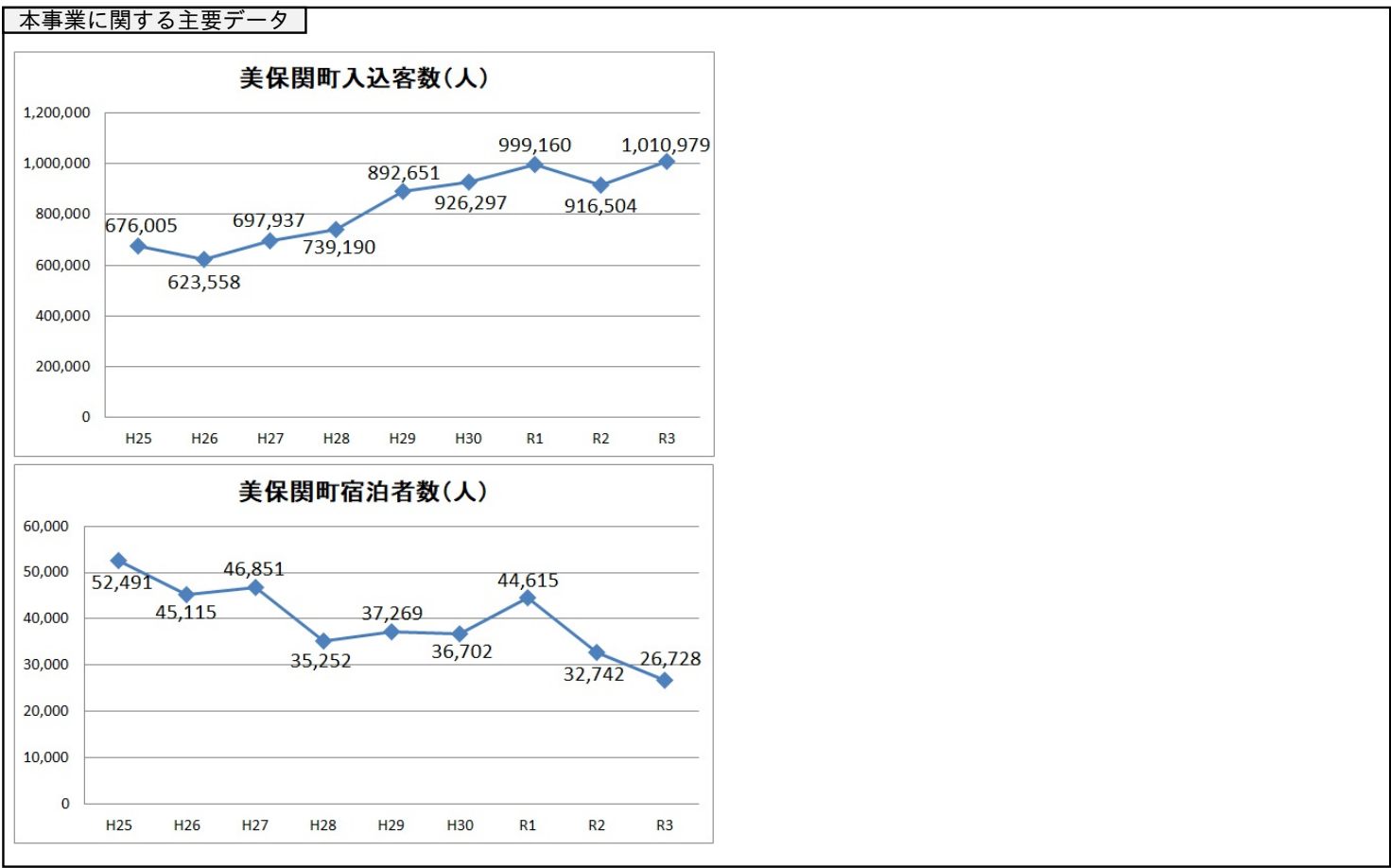
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業	【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		11,610	11,610
財源内訳	国・県支出金		
	地方債	11,610	0
	その他		
	一般財源	0	11,610
歳入合計		11,610	11,610

課題	○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行っていくため、地域住民との連携強化が求められる。 ○地域における消費拡大の仕掛けづくり。	方向性	○美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。 ○自然資源を活かした体験型観光の推進。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	毎月	美保関地域観光振興協議会委員会		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,610		
事業費計		11,610	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	「怪談のふるさと松江」事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「怪談」という新しいテーマによる観光素材を利用して効果的に情報発信することで、新たな観光客層からの観光誘客を推進する。※令和元年度の松江怪喜宴来場者のうち52.6％が県外客（来場者アンケートより）。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	「松江怪喜宴」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）の開催。 ①松江怪談談義：小泉凡氏と観光大使木原浩勝氏による怪談対談 平成25年度開始 ②酒林堂八雲：観光大使茶風林氏（声優）企画演出による怪談朗読会 平成26年度開始 ○主催：実行委員会（観光振興課が事務局） ○補助金：2,200千円 ■補助金交付先 ○松江怪喜宴実行委員会

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂 八雲）の開催中止 令和3年9月予定を令和4年3月に延期したが、年明けからの新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。	○松江怪喜宴 松江怪談談義 9/16開催予定 酒林堂 八雲 9/17・18開催予定 ○SNSや動画配信サイトなども活用して県外への周知を図っていく ○小泉八雲の”怪談”のほか、”新作怪談”も活用する	○開催方法、会場等は実行委員会で検討 ○SNSや動画配信サイトなども活用して県外への周知を図っていく ○小泉八雲の”怪談”のほか、”新作怪談”も活用する
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

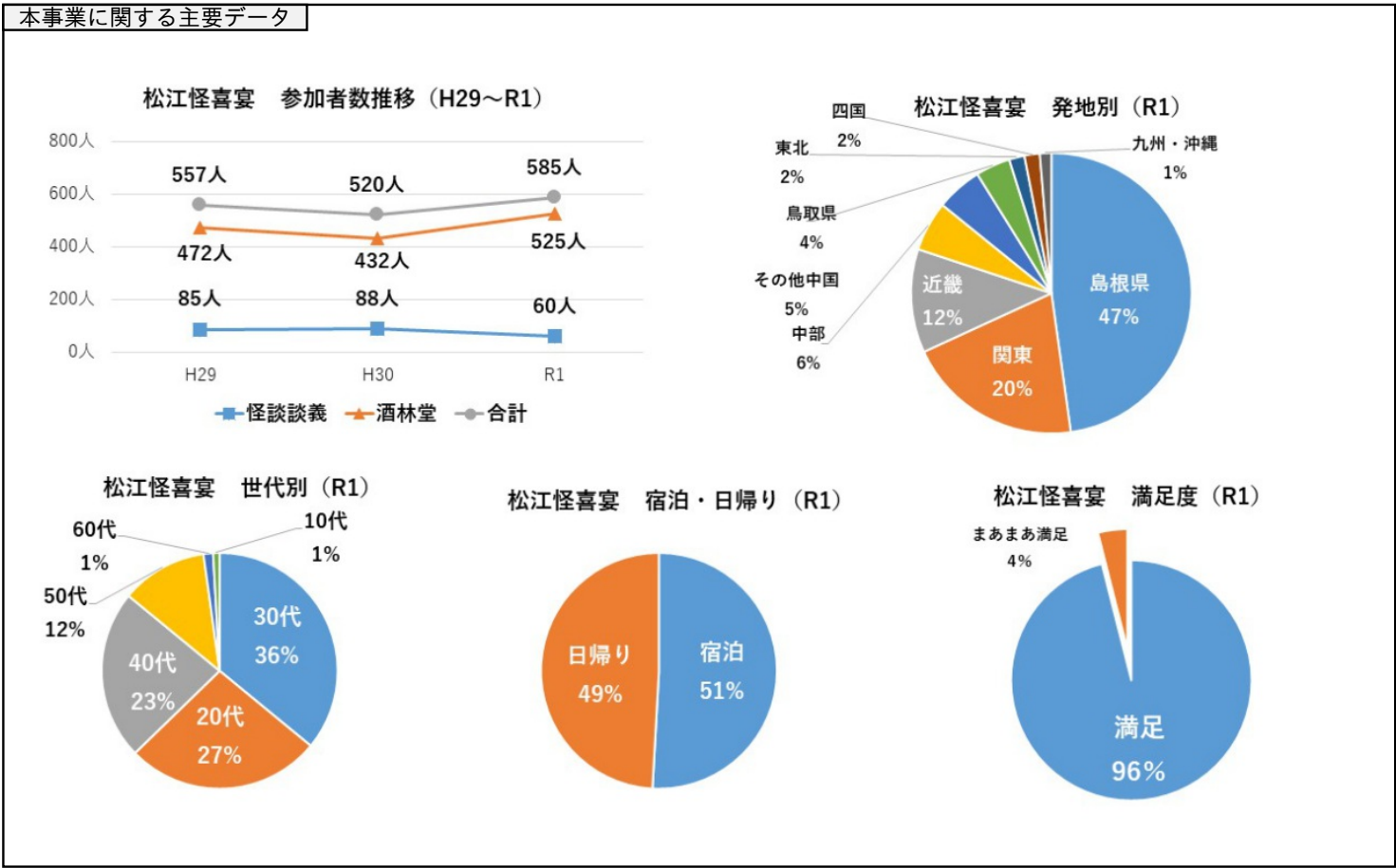
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,311	2,200
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,311	2,200
歳入合計		1,311	2,200

課題	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂八雲）の参加者は5割以上の参加者が県外観光客であり、「怪談を活用した新たな観光誘客」という目的を達成しているものの、まだ「怪談のふるさと松江」の認知度が高いとは言えない。	方向性	○平成26年度から継続実施し、「怪談のふるさと松江」を広く発信する事業として定着してきている。今後も人気の声優を活用し、怪喜宴の付加価値を高めたり、新たな企画を展開することで、「怪談のふるさと松江」の知名度を高める必要がある。
----	--	-----	---

観光部観光振興課 「怪談のふるさと松江」事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	内容について関係者との協議	9月	松江怪喜宴の開催
	5月	関係者現地視察		
	6月	プレスリリース		
	7月	チケット販売開始		



共創の状況	実行委員会
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,200		
事業費計		2,200	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲記念館管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲の功績を後世に伝える施設として、小泉八雲の遺品、図書、資料等を収集、保管、展示を行う。多様な市民のニーズに応え、交流、発表、学びの場を提供する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		来館者数	29,877	64,000	72,000	88,000
	目標（何を達成するのか）					
	・小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 ・適切な施設管理、運営を行う。 ・企画展などを開催し、情報発信を行う。					

事業概要	・本施設は、指定管理制度を活用し施設の活用を図っている。 ・小泉八雲の遺品、図書、資料等を活用し、企画展を開催する。 ・法定点検等施設管理を行う。
------	---

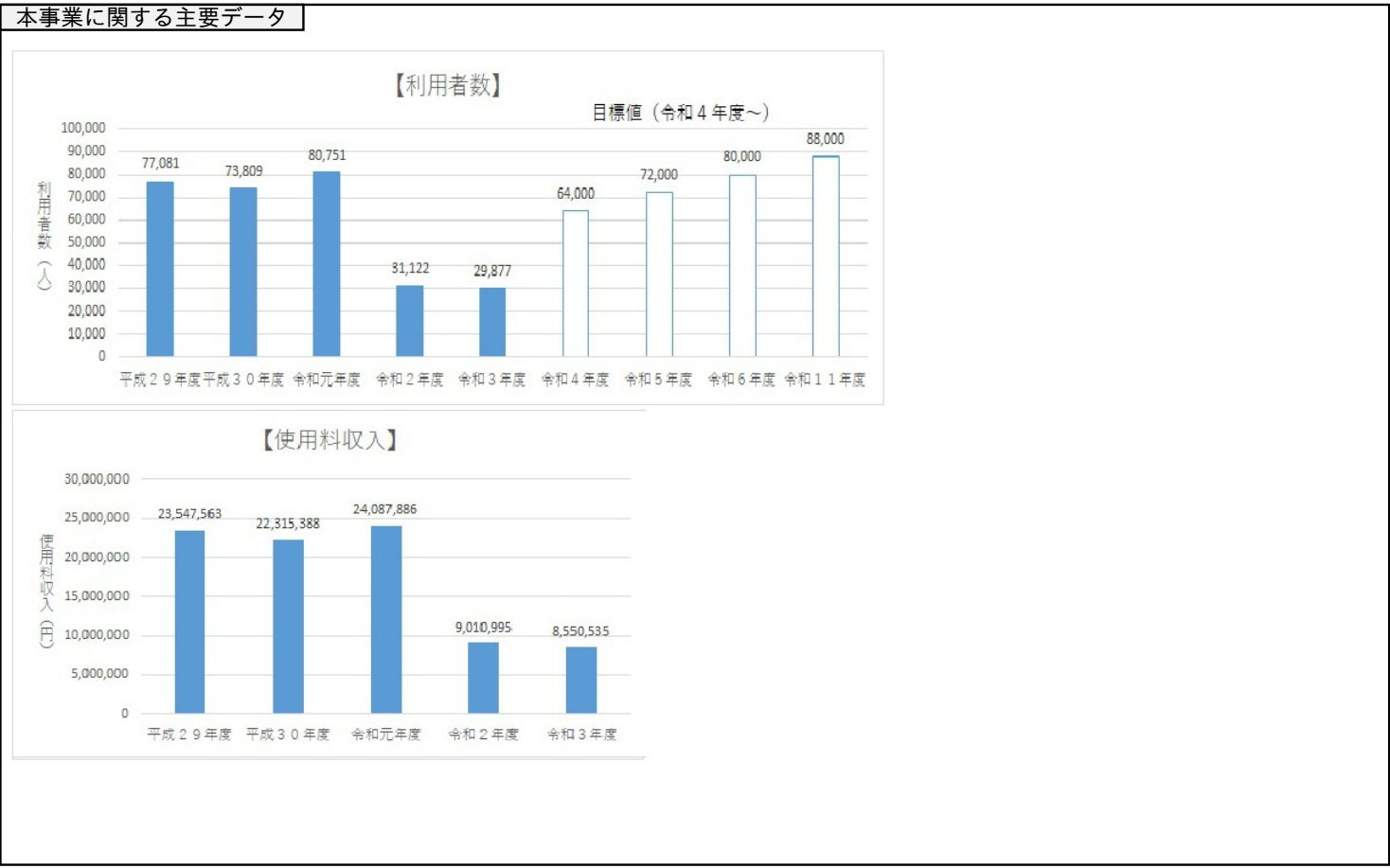
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	企画展「神々の国の首都に住まふ443日」 開催：令和3年6月27日～令和4年6月12日	企画展「虫の詩かそけきものの声を愛す」 開催：令和4年6月26日～令和5年6月11日	企画展開催（内容未定）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		34,890	35,012
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	4,751	35,012
	一般財源	30,139	0
歳入合計		34,890	35,012

課題	小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。	方向性	・松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化施設として位置付ける。 ・入館者数の目標値として、令和6年度には、令和元年度（80,000人）並みの入館者数への回復を目指す。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	企画展開始		
	6～7月	令和5年度指定管理(非公募)に向けて事前協議		
	7～8月	令和5年度指定管理(非公募)手続き準備		
	11月	令和5年度指定管理(非公募)11月議会議案提出		



共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,432		
共済費	550		
需用費	50		
役務費	174		
委託料	30,806		
事業費計		35,012	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲旧居管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲が暮らした武家及び庭を保存し、その一部を観覧用に供することにより、小泉八雲に対する知識と理解を広め、文化振興に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		来館者数	12,197	30,000	34,000	41,000
	目標（何を達成するのか）					
	・小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 ・適切な施設管理、運営を行う。 ・広く情報発信を行う。					

事業概要	・本施設は、指定管理制度を活用し施設の活用を図っている。 ・国の史跡であることから、文化財保護法に基づき、適切な施設管理を行う。
------	---

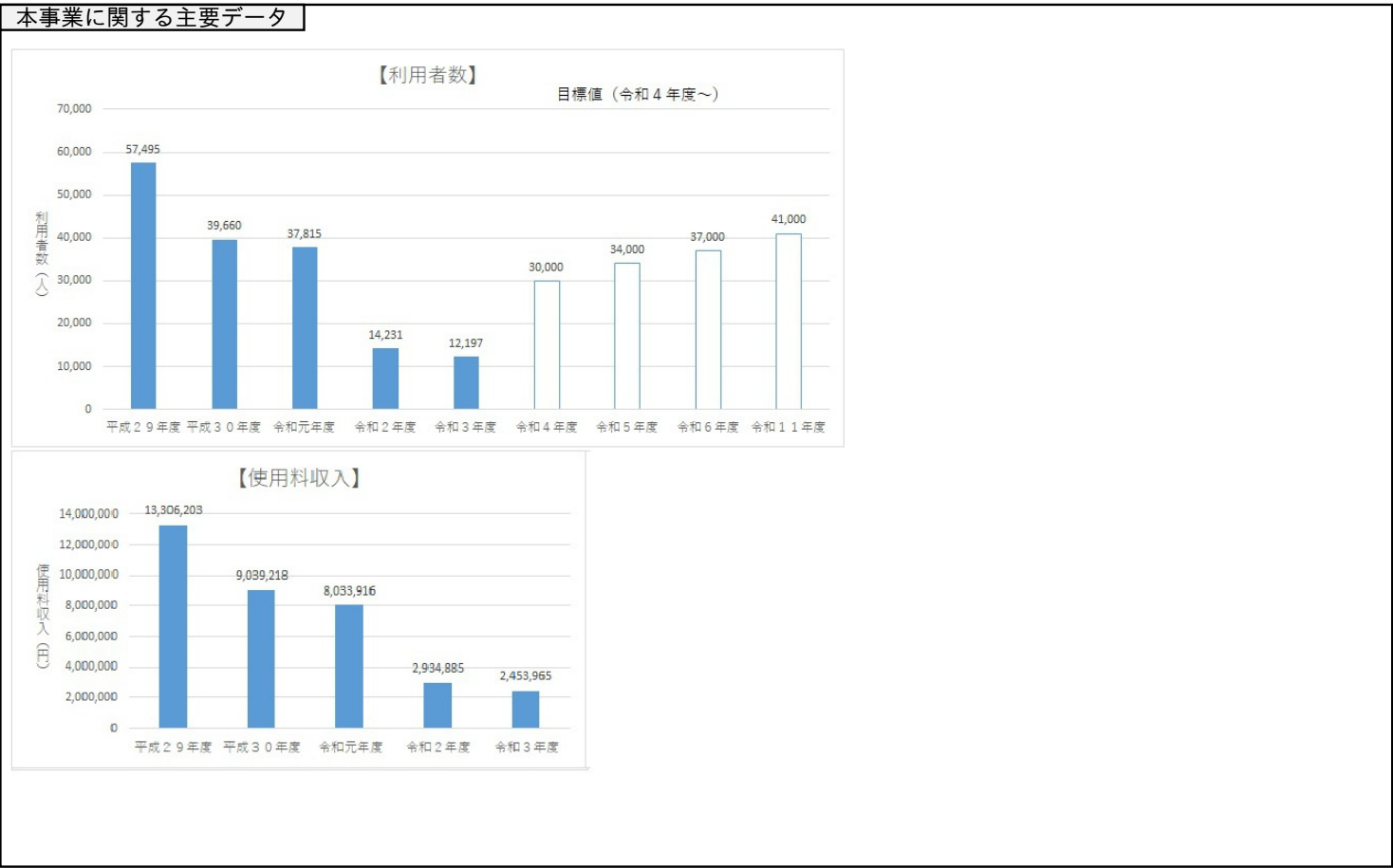
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	史跡小泉八雲旧居土堀保存修理工事	・修繕必要箇所調査及び修繕 ・施設の非公開部分の活用の検討	・修繕必要箇所調査及び修繕 ・施設の非公開部分の活用の検討及び調査
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	8,745	8,423
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,052	7,976
	一般財源	6,693	447
歳入合計		8,745	8,423

課題	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の非公開部分の活用に向けた整理をする必要がある。	方向性	・松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化施設として位置付ける。 ・入館者数の目標値として、令和6年度には、令和元年度（37,000人）並みの入館者数への回復を目指す。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6～7月	令和5年度指定管理(非公募)に向けて事前協議		
	7～8月	令和5年度指定管理(非公募)手続き準備		
	11月	令和5年度指定管理(非公募)11月議会議案提出		



共創の状況	
-------	--

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	135		
役務費	87		
委託料	8,201		
事業費計		8,423	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	インバウンド観光推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海外に向けたプロモーション、情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行い、更なる誘客につなげる。	項目（成果指標） 外国人観光宿泊客数（人）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
			1,047	10,000	40,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕				
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

事業概要	（数値目標の目標年）外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	1 海外に向けたプロモーション （1）重点市場 東アジア・欧米豪・東南アジア （2）事業内容 ①旅行会社への営業、商談会への参加による商品造成促進（現地営業代行業者（レップ）の活用） ②SNS等を活用した情報発信やイベント等への出展によるPR活動 2 国内在住外国人等の発信力を活用した国内外へのアプローチ 3 受入環境整備 外国語パンフレット、マップ作成等

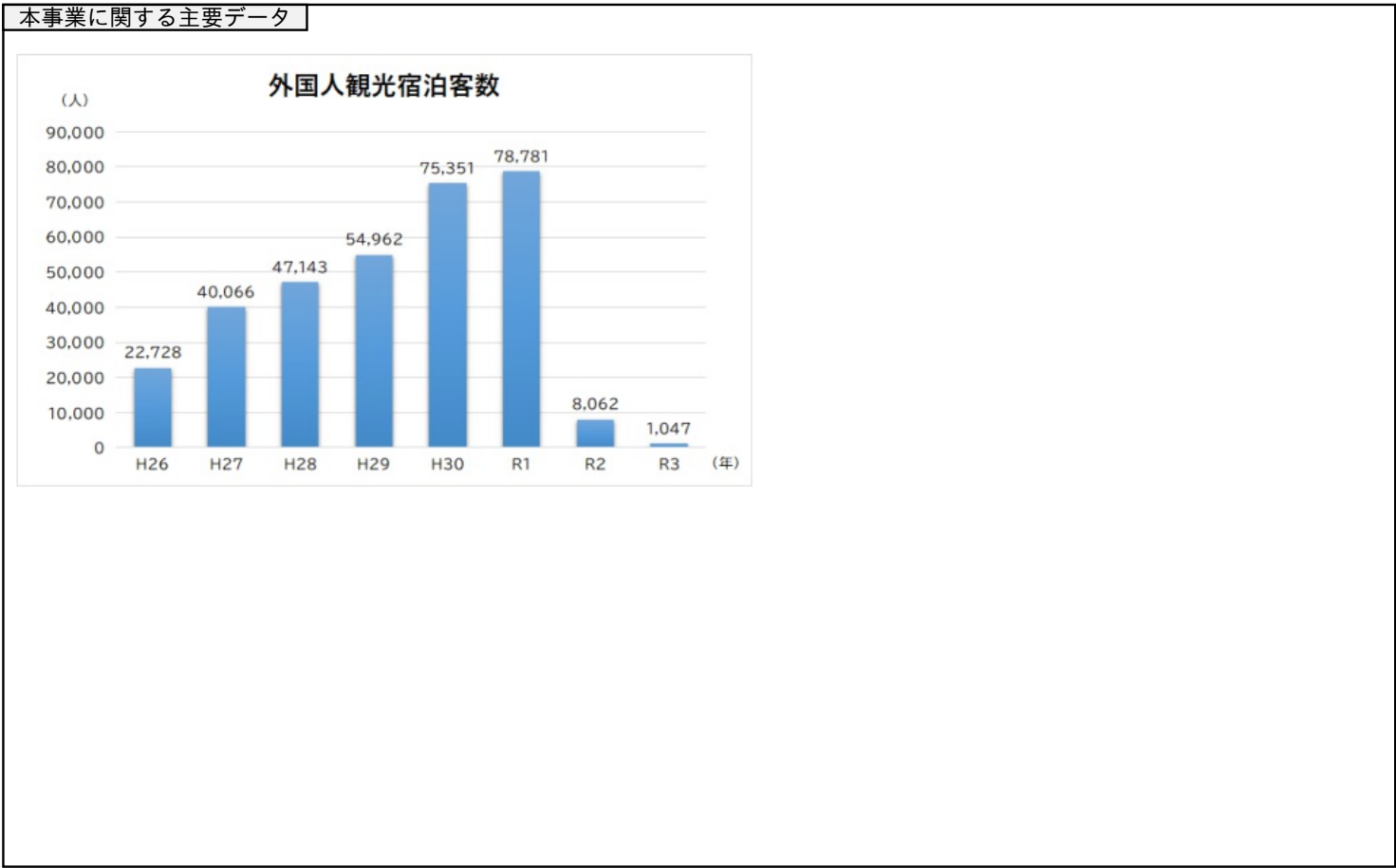
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○台湾 SNS等での情報発信、イベント出展、リモートセールス ○香港 Web等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置 ○フランス 旅行博出展 ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 日本在住キーパーソン・国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信、オンライン商談会 ○受入環境整備 外国語パンフレット作成	○台湾 SNS等での情報発信、イベント出展、商談会参加 ○香港 Web等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、商談会参加 ○フランス 旅行博出展 ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 日本在住キーパーソン・国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信、オンライン商談会 ○受入環境整備 外国語マップ作成	○台湾 SNS等での情報発信、イベント出展、商談会参加 ○香港 Web等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、商談会参加 ○フランス 旅行博出展 ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 国際交流員による情報発信、JNT0を活用した情報発信、オンライン商談会 ○受入環境整備 外国語パンフレット作成
	達成度		
	4 計画目標に向け進捗は遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		17,607	13,003
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	17,607	13,003
歳入合計		17,607	13,003

課題	コロナ禍収束後の訪日旅行再開に備え、継続的な情報発信と旅行会社へのアプローチが必要不可欠である。 コロナ禍で海外市場でのプロモーション活動が制限される中、新たに取り組み始めた認知度向上施策の継続とともに、さらなる施策の検討が必要。	方向性	SNS等の活用や対面、あるいはオンラインセールスなど、その時々でのベストな手法により情報発信や営業活動を実施していく。 渡航制限が解除となった市場から順次、速やかに誘客を進めていく。 日本から海外に向けた発信で実績を有する人との連携等を通じ、その発信力を活用して国内外に向けたアプローチを継続していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種情報発信		
	通年	受入環境充実		
	下期	商談会・イベント等によるPR		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	1,969		
需用費	600		
役務費	100		
委託料	9,482		
使用料及び賃借料	40		
負担金補助及び交付金	812		
事業費計		13,003	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	広域観光周遊ルート整備促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広島を中心に多くの外国人観光客が訪れる山陽方面と当市を縦軸で結ぶ周遊ルートを確立し、当市への外国人観光客誘致につなげる。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	1,047	10,000	40,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕				

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	多くの外国人観光客が訪れる広島からの誘客を図るため、外国人観光客を対象に広島松江間高速バスのワンコイン（500円）化を実施する。

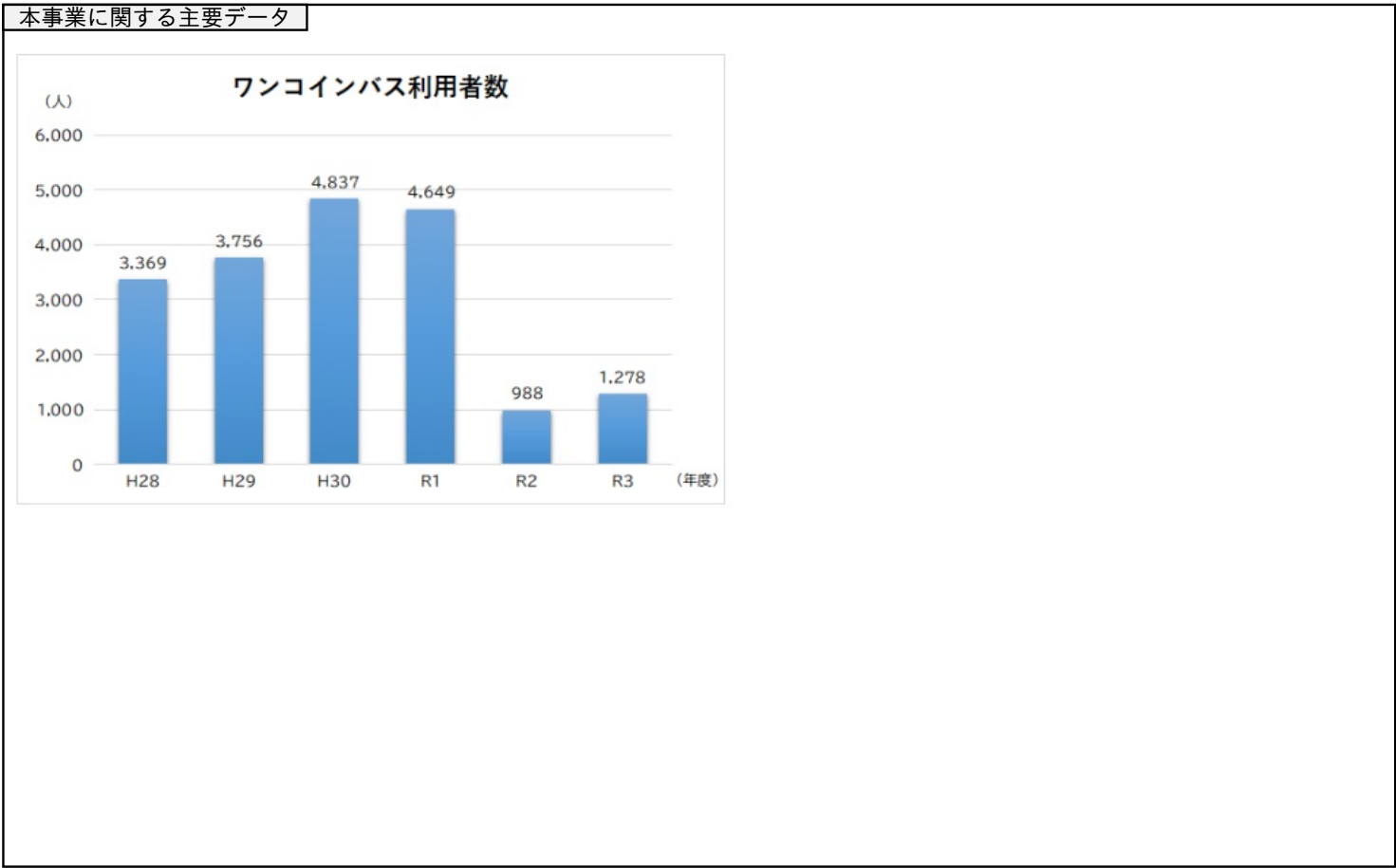
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R3年度利用者数 1,278人 高速バスを活用した広島・山陰への周遊観光促進事業への参画（観光庁補助事業）	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R4年度利用見込み者数 1,500人	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R5年度利用見込み者数 2,200人
	達成度		
	4 計画目標に向け進捗は遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,949	1,749
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,949	1,749
歳入合計		1,949	1,749

課題	新しいデスティネーションとして本市を選んでもらい、観光地としての評価を高めていくことが必要。	方向性	山陽方面の関係機関や山陰インバウンド機構と連携し当該事業を展開していく。
----	--	-----	--------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	広島松江間高速バスワンコイン事業		



共創の状況	その他（協力、連携など）
-------	--------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	249		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計		1,749	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	観光需要V字回復事業費（新型コロナ対策事業）（国際観光課分）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国内外の誘客対策の促進によって観光需要を喚起し、コロナ禍で落ち込んだ観光需要のV字回復を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	1,047	10,000	40,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕				

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	インバウンド再開時に遅滞なく海外需要を取り込み、コロナ禍で落ち込んだ観光需要をV字回復させるため、積極的なプロモーションを展開する。 ①台湾市場に向けたオール松江セールスキャラバン ②フランス市場に向けたトップセールス ③訪日旅行商品を造成する国内旅行会社へのアプローチ

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
		○台湾 市内観光関連事業者と連携したオール松江セールスキャラバン ○フランス 市長によるトップセールス ○国内 訪日旅行商品を造成する国内旅行会社の担当者招請	
	達成度		

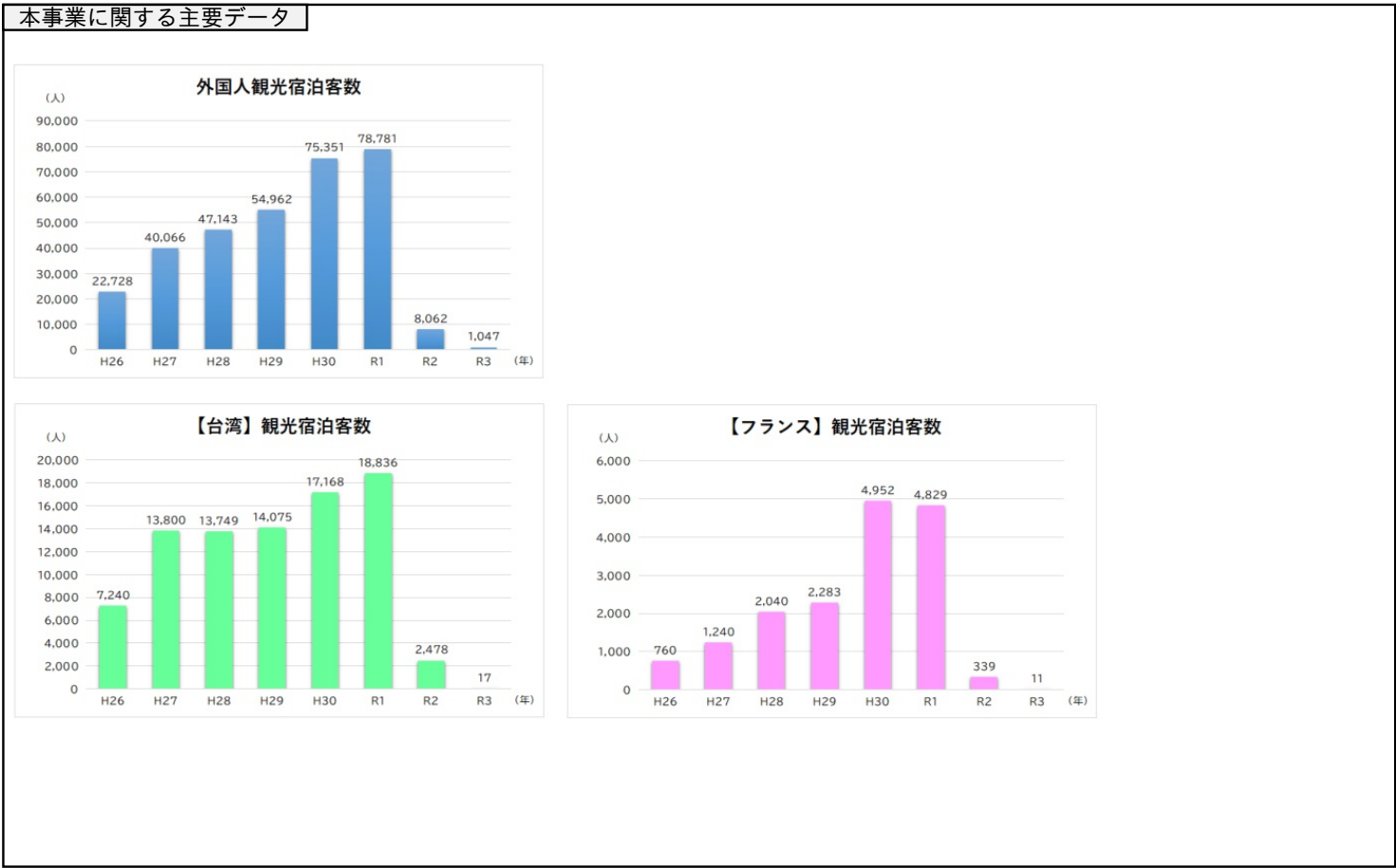
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			8,260
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	8,260
歳入合計		0	8,260

課題	コロナ禍でインバウンドが停止してから2年が経過し、海外において訪日旅行需要が高まる中、インバウンド再開時には国内各地で外国人旅行者獲得に向けた取組みが加速していくことが考えられるため、本市においても積極的に取り組む必要がある。	方向性	観光需要のV字回復を図るため、コロナ禍前の宿泊者数が多い国・地域に集中的にプロモーションを実施するとともに、さまざまな国・地域で販売される商品を造成する国内旅行会社に対して積極的に働きかけていく。
----	---	-----	--

観光部国際観光課 観光需要V字回復事業費（新型コロナ対策事業）（国際観光課分）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	渡航制限解除後	台湾市場向けオール松江セールスキャラバン		
	渡航制限解除後	フランス市場向けトップセールス		
	12月～	国内旅行会社造成担当者招請		



令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	外国人滞在型観光促進事業費（新型コロナウイルス対策事業）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市への訪日旅行客の増加を図ることにより、観光事業の振興・発展に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		外国人観光宿泊客数（人）	1,047	10,000	40,000	150,000
	目標（何を達成するのか）	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕				

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	松江観光協会が訪日団体旅行誘致のために行う事業に対し補助金を交付する。 ＜事業内容＞ 市内宿泊施設を利用する訪日団体旅行を企画・実施、手配する旅行者に対し、１人1泊あたり2,000円を補助する。

事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 0人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 1,850人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 4,850人・泊分
	達成度		

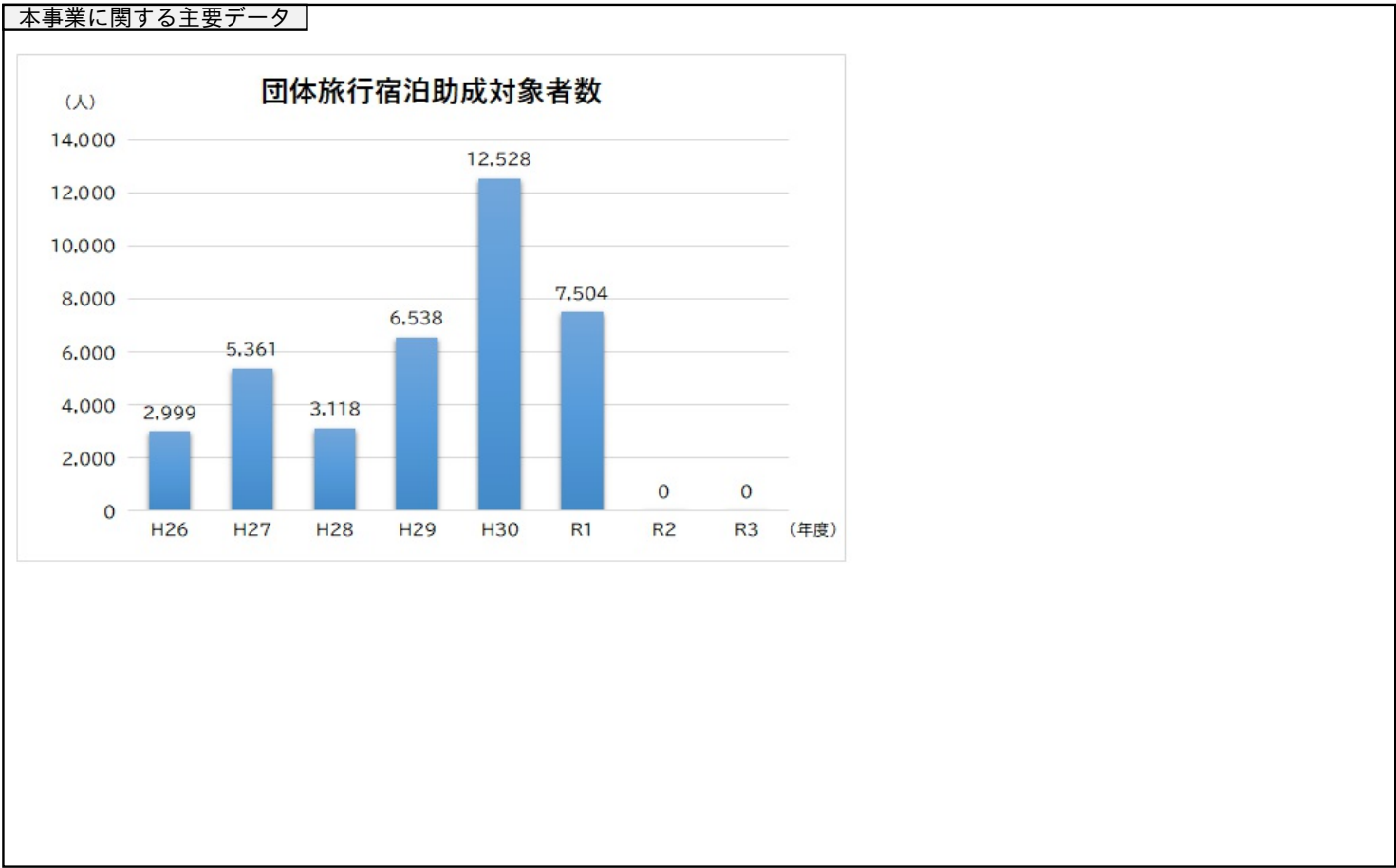
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
財源内訳	事業費	0	3,000
	国・県支出金		3,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	0
歳入合計		0	3,000

課題	新しいデスティネーションとして松江を選んでもらい、観光地としての評価を高めていくことが必要。	方向性	訪日旅行を取り扱う旅行会社に対し補助金を交付することで、旅行商品の新規造成を促進するとともに、既存旅行商品の継続販売を促していく。
----	--	-----	---

観光部国際観光課 外国人滞在型観光促進事業費（新型コロナウイルス対策事業）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	補助金受理申請～交付手続き		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,000		
事業費計		3,000	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広域連携によるプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	県内、中海・宍道湖・大山圏域、山陰、中国地方などの自治体等と広域連携し、プロモーションを実施して誘客を図る。

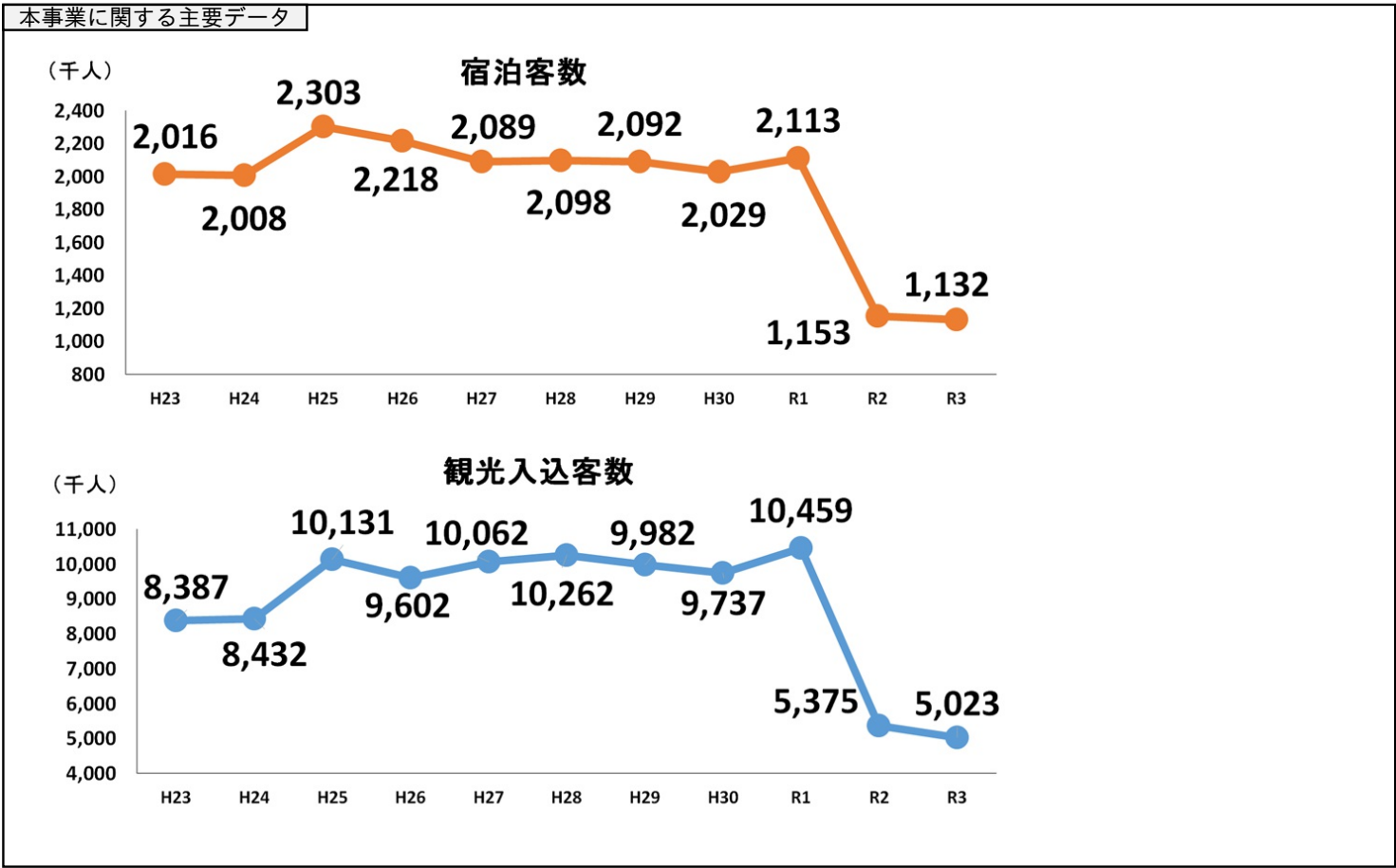
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	<広域連携> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会	<広域連携> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会	<広域連携> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会
	達成度		
	2計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		13,622	15,317
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,622	15,317
歳入合計		13,622	15,317

課題	○広域連携を図り、より効果的な事業を実施する必要がある	方向性	○県内や隣県自治体等との連携を強化し、観光誘客、周遊促進を図る

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	関係自治体、関係団体と連携した観光情報発信		
	通年	各県人会市人会		



共創の状況	共創の手法になじまない
-------	-------------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	400		
需用費	30		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	14,882		
事業費計		15,317	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	大会団体受入経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンション誘致促進を図るため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能の提供を行う。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市で開催されるコンベンション誘致を進めるため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能を提供するもの ○委託開始：平成17年度～ ○委託先：（一財）くにびきメッセ ○委託目的：コンベンション主催者の利便性確保と事業の効率化を図る

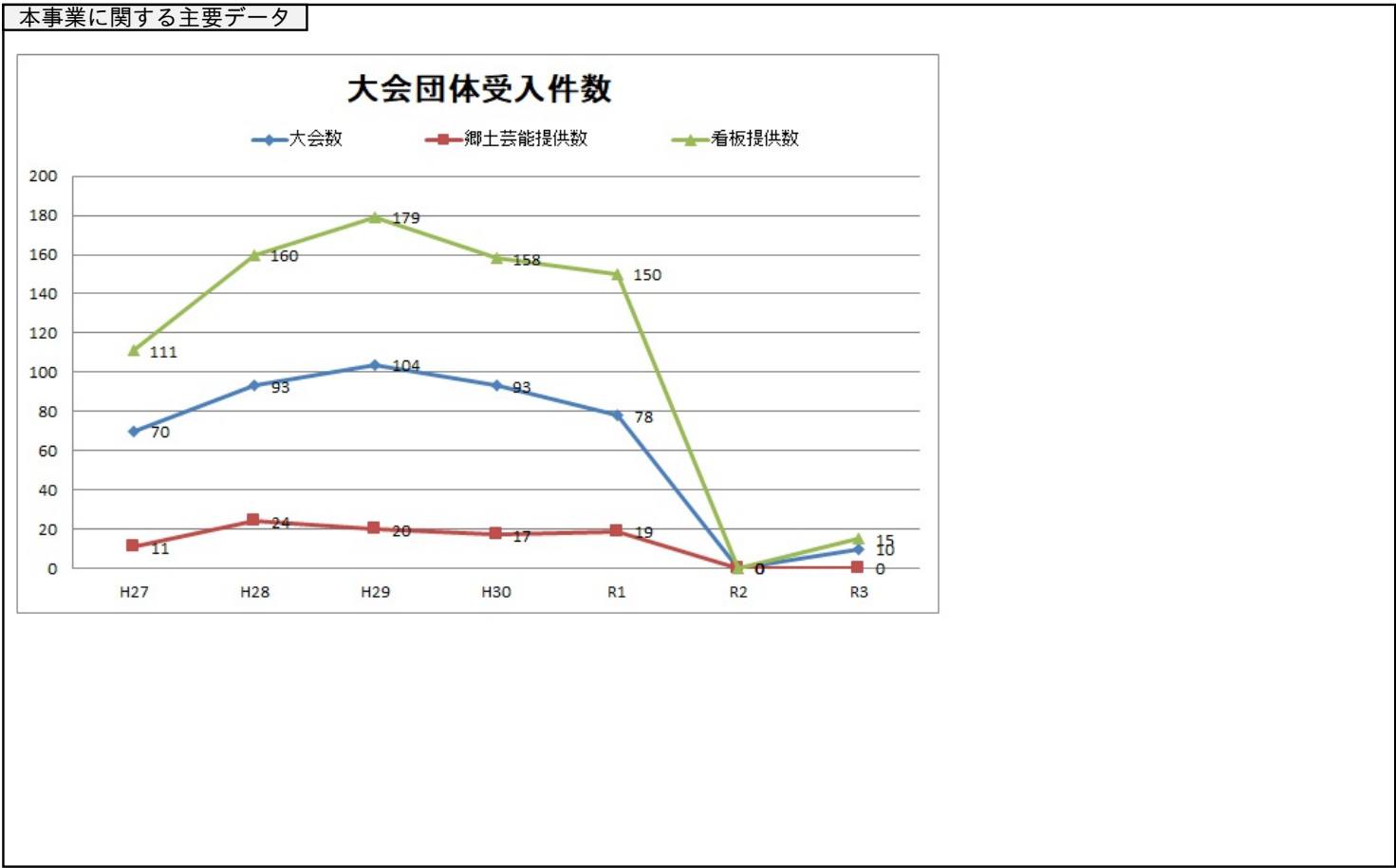
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○歓迎看板の提供 15件 ○郷土芸能の提供 0件		・ 歓迎看板の提供 ・ 郷土芸能の提供		・ 歓迎看板の提供 ・ 郷土芸能の提供	
達成度						
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている					

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		142	1,349
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	142	1,349
	歳入合計	142	1,349

課題	大会主催者、参加者のニーズを把握し、満足度を高める必要がある。	方向性	誘致活動を行うくにびきメッセと連携を密にし、開催地としての魅力を高める。
----	---------------------------------	-----	--------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	大会開催時の看板、芸能提供		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,349		
事業費計		1,349	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	ボランティアガイド事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れる国内外の観光客の満足度向上	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊者客数（万人）	113	169	190	250
			観光入込客数	502	837	941
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江市観光ガイド活動推進協議会を組織し、「松江ボランティアガイドの会」「松江グッドウィルガイド連絡会」の活動を支援することで、観光客へのおもてなしの充実を図る。 ※松江ボランティアガイドの会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料） 松江グッドウィルガイド連絡会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料）

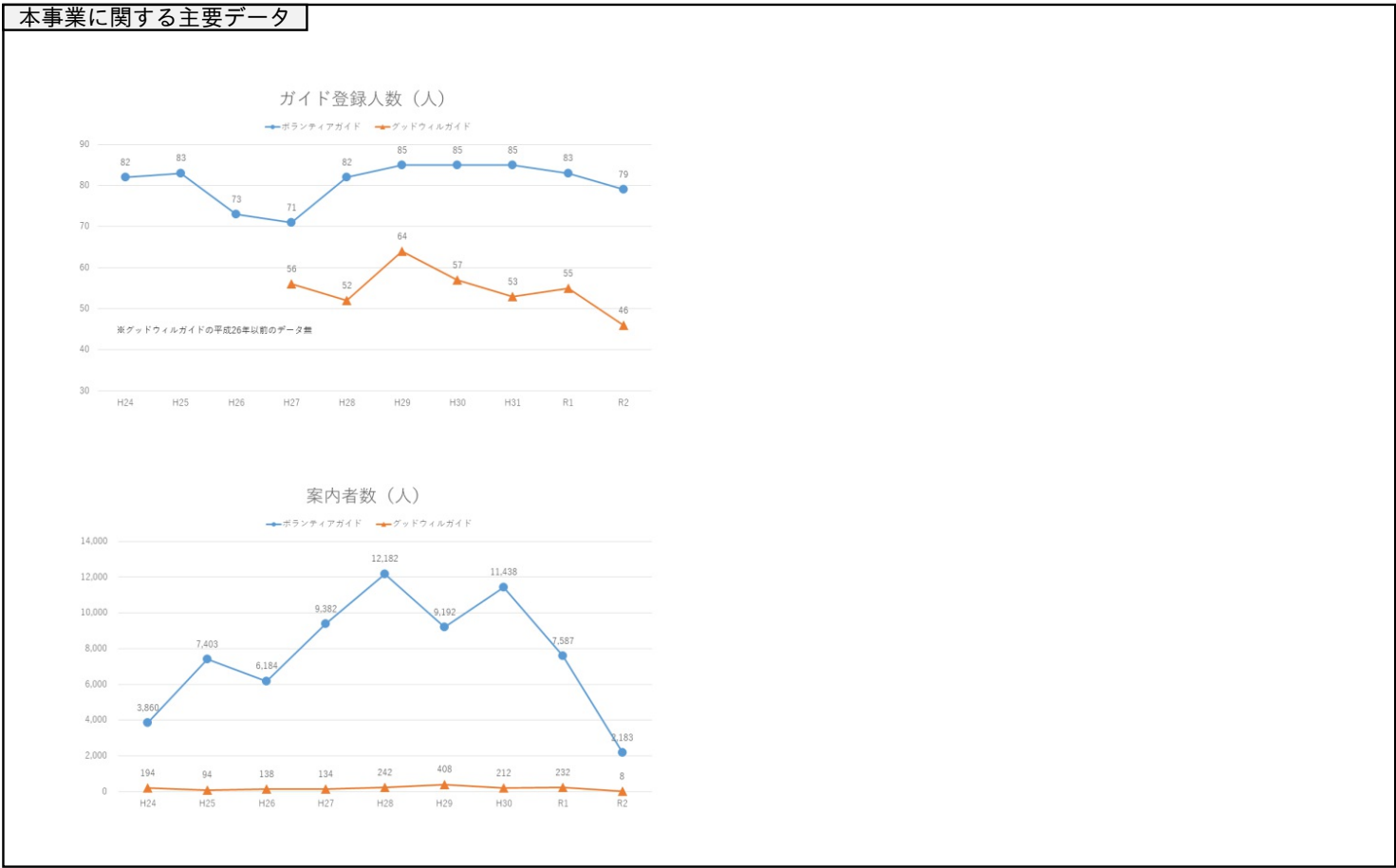
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江観光ボランティアガイドの会支援（研修会） ○松江グッドウィルガイド支援（研修会）	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援
	達成度		
	2計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		175	175
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	175	175
歳入合計		175	175

課題	ガイドのニーズが高まっていることから、新たなガイドの確保が必要。	方向性	ガイドの活動を市民に知ってもらい、ガイド会員数を増やす。
----	----------------------------------	-----	------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	日曜日	松江城での無償ガイド		
	随時	有償のオーダーガイド		
	随時	外国人観光客向け通訳ガイド		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	175		
事業費計		175	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江国際観光案内所管理運営委託費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江国際観光案内所において、観光客への情報提供や各種案内を行い、国内外の観光客が安心して過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の8割を目指す。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江国際観光案内所の管理運営を松江観光協会に委託。国内外の観光客への情報提供、案内を行う。 日本政府観光局により常時英語での対応が可能なカテゴリー2に認定されている。

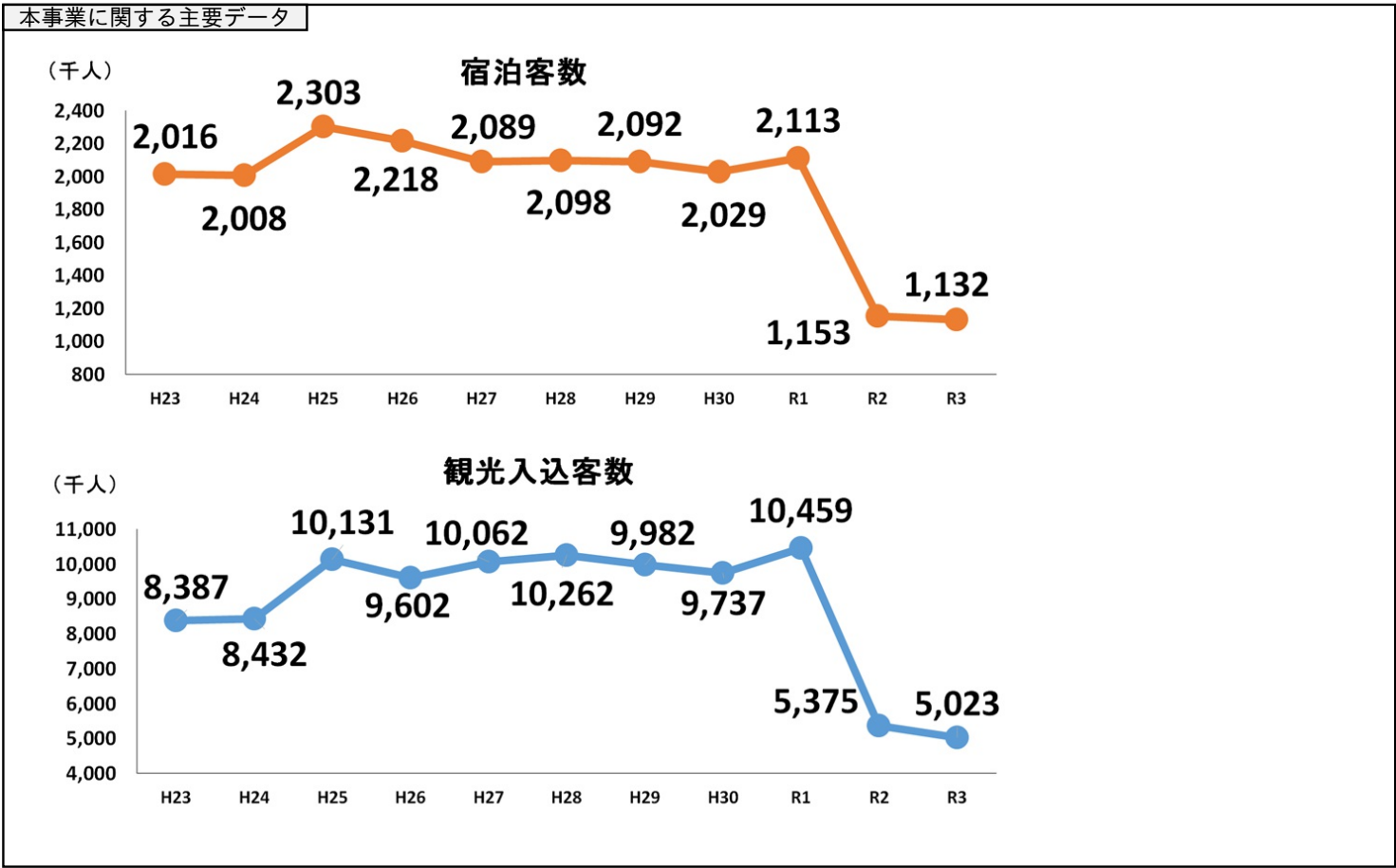
事業計画	R3実績見込		R4計画	R5計画
	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内 利用実績 33,856人（うち外国人595人）		○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内
	達成度			
	2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		16,958	22,001
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	16,958	22,001
歳入合計		16,958	22,001

課題	○松江市の情報に加え、より広範囲な情報提供が求められる	方向性	○他の自治体の観光案内所とも連携し、広範囲な観光案内を目指す。 ○インバウンドに対応し、外国語での情報提供の充実を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	JR松江駅北口案内所にて観光案内		
	通年	インバウンド対応		



共創の状況	委託
-------	----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	22,001		
事業費計		22,001	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	コンベンション対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンションを誘致し、地域経済の活性化を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029年（R11）年
	○コンベンション開催支援補助：大会規模、延べ宿泊者数に応じて主催団体へ補助金交付 ○コンベンション観光バス運行補助：エクスカーションや懇親会会場への移動に利用するバスの借上げ経費を補助 ○くにびきメッセ負担金（人件費）

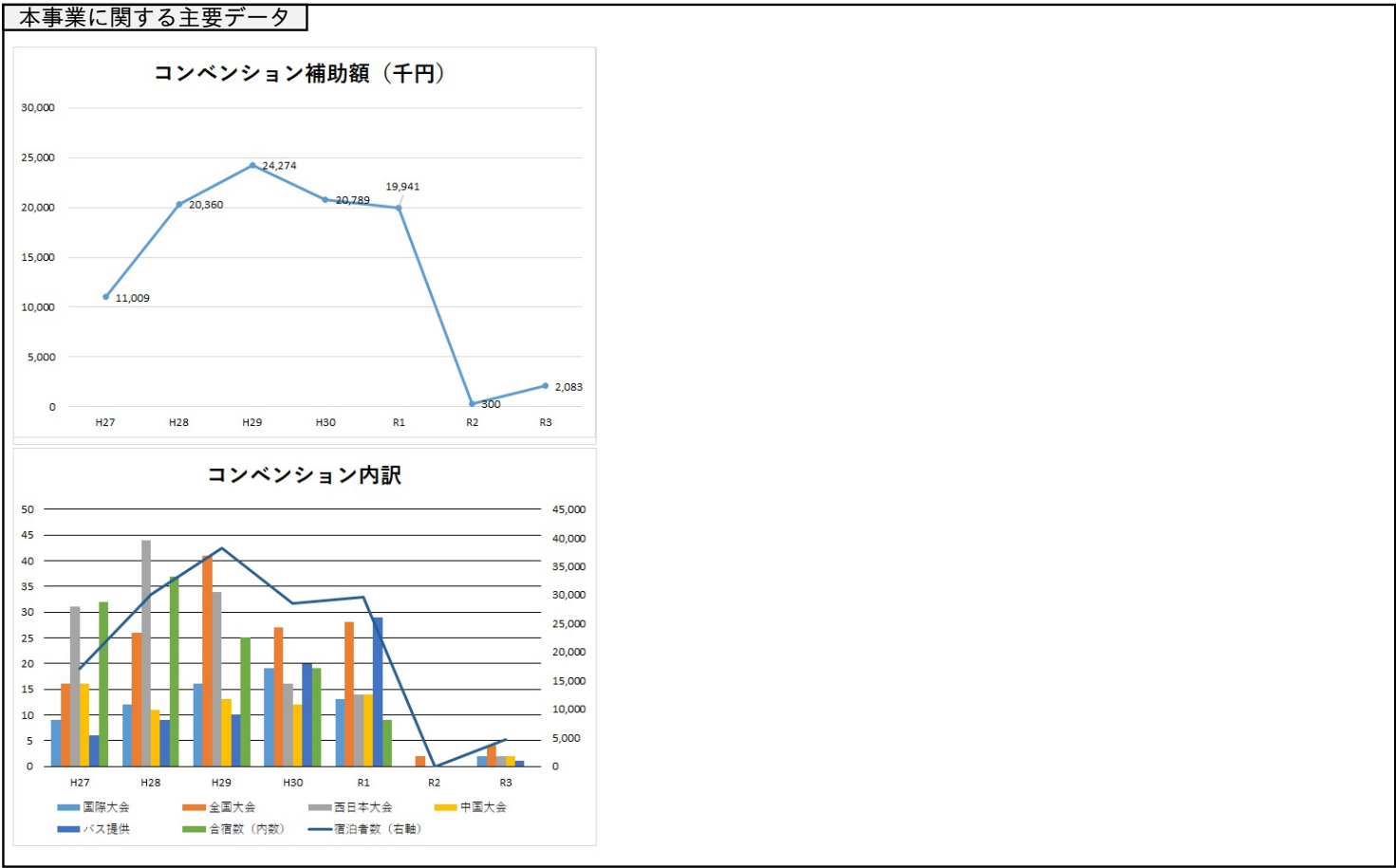
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○コンベンション開催支援補助 10件 ○コンベンション観光バス運行補助 1件 ○くにびきメッセ負担金 ※開催件数10件（国際2件・全国4件、西日本2件、中国2件、合宿0件）	○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催予定54件（国際11件・全国11件、西日本1件、中国6件、合宿25件）	○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金
	達成度		
	3計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		9,005	24,754
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,005	24,754
歳入合計		9,005	24,754

課題	○主催団体や参加者のニーズを捉え、開催地としての魅力を高める。 ○アフターコンベンションの消費拡大を図る仕掛けづくりが必要。	方向性	○エクスカーションやユニークベニユーの充実を図ることで、誘致を促進する。 ○民間事業者や関係機関との連携を図り参加者の消費拡大を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	大会開催団体に対する補助		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	24,754		
事業費計		24,754	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光客受入事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	旅行会社へのレイクライン1日乗車券提供による旅行商品の販売促進、映画やテレビ番組のロケ誘致による情報発信を通して誘客を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度） 観光宿泊客数：2029(R11) 年、観光入込客数：2029(R11)年
	①エージェント旅行商品タイアップ事業 観光客の誘致と認知度向上を図る為、レイクラインや松江市の観光素材・旅行商品を旅行パンフレットなど募集媒体に掲載することを条件に、レイクラインの1日乗車券を提供する ②松江フィルムコミッション協議会負担金 松江市のイメージアップに繋がる映像や画像等を露出しロケ地巡り等観光客の誘客を図る為、松江市近郊で行う映画、ドラマ等の撮影先や雑誌の取材先紹介及び同行してのサポート

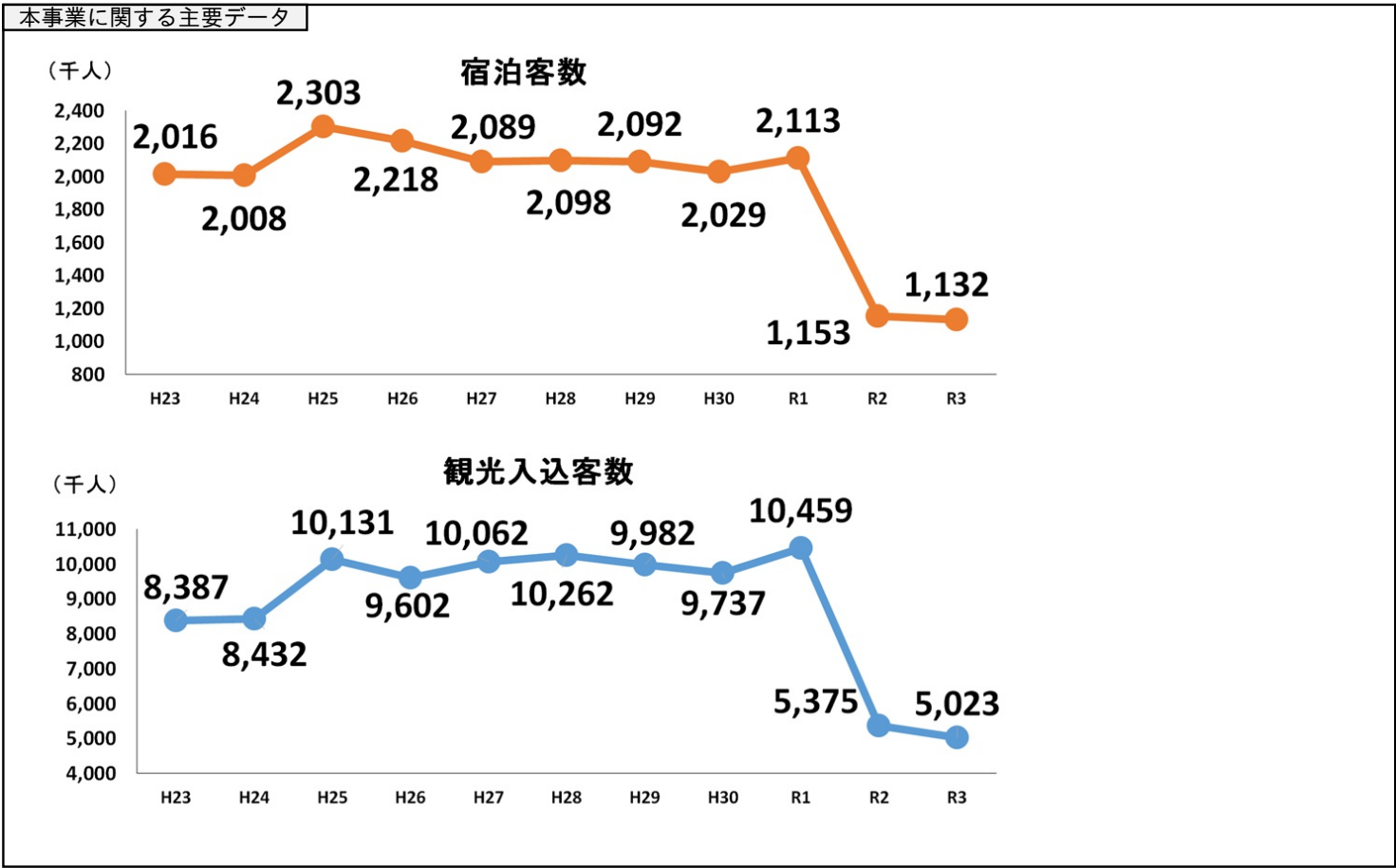
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○レイクライン1日乗車券提供 15商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 47件		○レイクライン1日乗車券提供 目標30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援		○レイクライン1日乗車券提供 ○ロケ、取材の誘致・支援	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		3,345	13,416
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,345	13,416
歳入合計		3,345	13,416

課題	○旅行会社の商品造成、販売を促進することで誘客を図る必要がある ○映画やテレビ番組のロケ、メディアの取材のニーズを把握する必要がある	方向性	○旅行会社への営業ツールとしてレイクライン乗車券提供を効果的に活用 ○フィルムコミッション協議会構成団体等の連携を強化し、誘致を促進する

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	旅行会社への営業		
	通年	JRとの連携		
	通年	松江FCとの撮影支援等		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	13,266		
負担金補助及び交付金	150		
事業費計		13,416	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光バリアフリー推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れるすべての観光客が快適に過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江バリアフリースターセンターを運営し、観光バリアフリーを推進するNP0法人プロジェクトゆうあいに対して補助金を交付する。

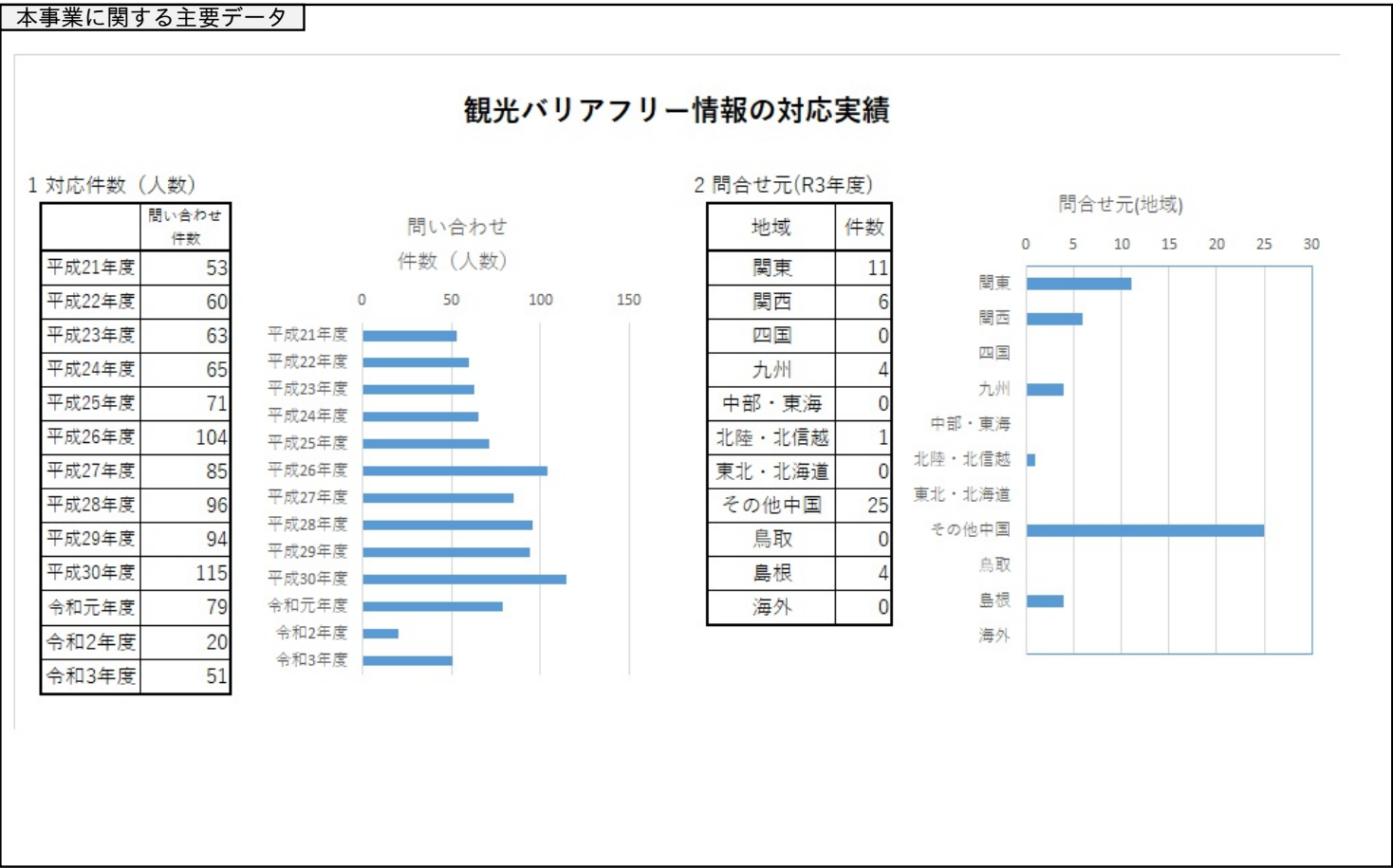
事業計画	R3実績見込	R4計画	R5計画
	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート 51件	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネート
	達成度		
	2 計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		800	800
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	800	800
歳入合計		800	800

課題	○障がい者、高齢者等が快適に滞在できる環境づくりのため、ニーズや課題の把握が必要 ○バリアフリー観光地づくりのために観光関連事業者の連携が必要	方向性	○松江バリアフリースターセンターや観光関係機関と連携して取り組む
----	--	-----	----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江バリアフリースターセンター運営補助		



共創の状況	補助・助成
-------	-------

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計		800	

令和4年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	閑散期誘客対策事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	年間の観光入込客数1,100万人、年間宿泊客数250万人を達成するため、観光客の落ち込む梅雨時期、冬期、平日の閑散期の誘客を強化する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	113	169	190	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	502	837	941	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す					

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	年間の観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人を達成するためには、梅雨時季や冬季などの閑散期の誘客を強化する必要がある、官民で組織する松江市誘客推進協議会や（一社）松江観光協会とともに事業に取り組む。

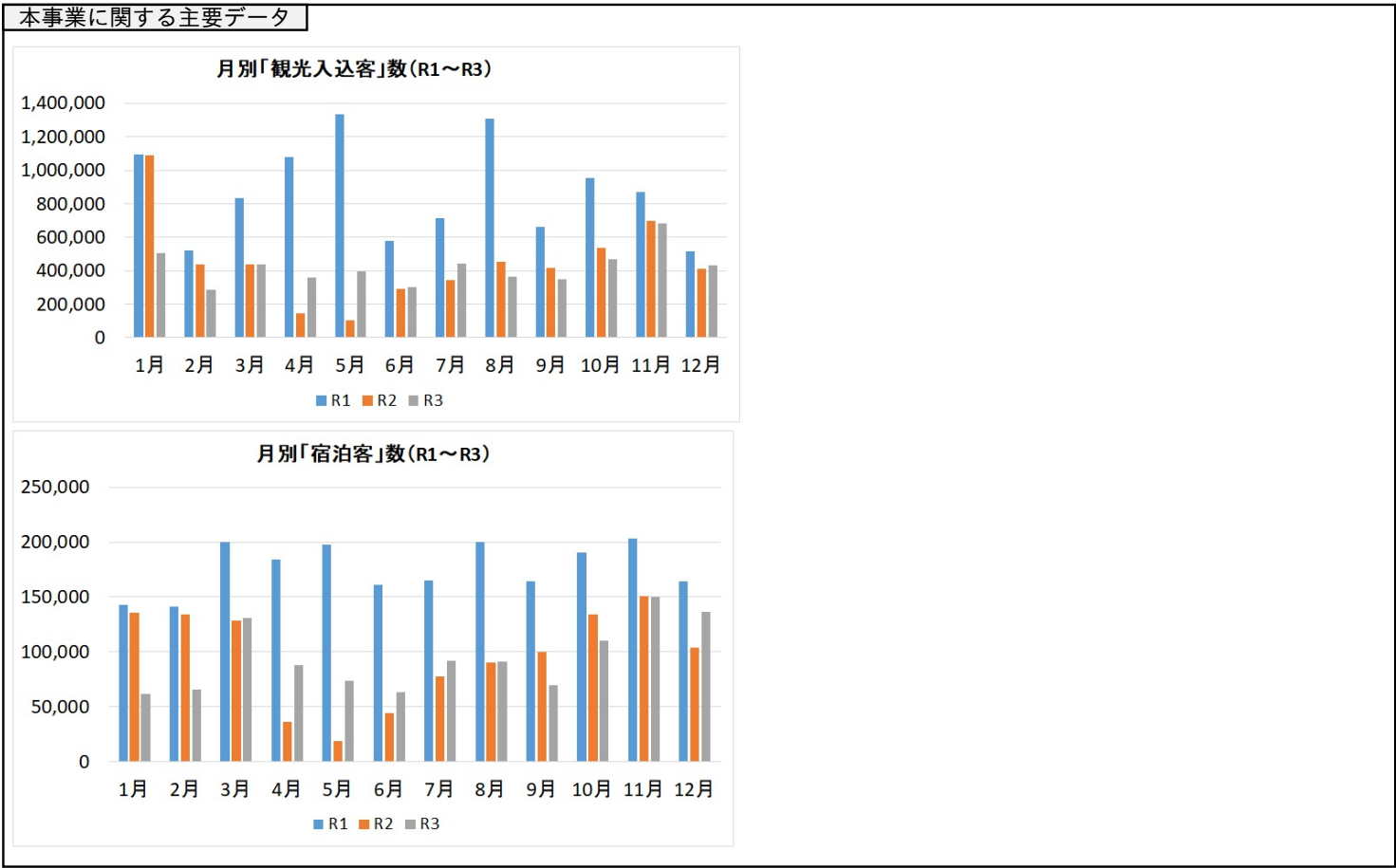
事業計画	R3実績見込		R4計画		R5計画	
	○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江市誘客推進協議会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する。 ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施。		○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江市誘客推進協議会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する。 ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施。		○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江市誘客推進協議会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する。 ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施。	
	達成度					
	2	計画目標に向かって概ね順調				

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		589	1,569
財源内訳	国・県支出金		537
	地方債		
	その他		
	一般財源	589	1,032
歳入合計		589	1,569

課題	○閑散期に旅行を行うターゲットに絞り込んだ効果的なプロモーション ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上でのプロモーション展開	方向性	○目標達成に向けて重要課題として継続して実施 ○官民が連携して情報共有し、常に新たな視点で営業戦略を実施する ○SNSマーケティングの結果及び松江市誘客推進協議会ワーキング会議の議論の結果をもとに、ターゲット層の見直し及びプロモーションを継続して行う ○年度当初から県・市・観光事業者等が連携して取り組む

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	梅雨の「縁雲」事業および平日の誘客対策		
	通年	9月および平日の誘客対策		
	11月～	冬季誘客対策プロモーション		
	12～3月	冬季誘客対策、学生旅行の誘客		



共創の状況	協議会
-------	-----

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,569		
事業費計		1,569	